

ソリッドステート メモリーカムコーダー

取扱説明書

PXW-Z190V

お買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



目次

概要

各部の名称と働き	6
本体	6
画面表示	11
液晶画面 / ビューファインダー画面	11
ステータス画面	13

準備

電源	16
バッテリーパックを使う	16
コンセントにつないで使う	17
電源を入れる / 切る	17
時計を合わせる	18
機器を取り付ける	18
レンズフードを取り付ける	18
大型アイカップを取り付ける	18
画面を調節する	19
液晶画面を調節する	19
ビューファインダーを調節する	19
アサインボタンで液晶画面 / ビューファインダー画面の 明るさを調節する	19
メモリーカードを使う	20
メモリーカードについて	20
メモリーカードを入れる	20
メモリーカードを取り出す	20
使用するメモリーカードを切り替える	20
メモリーカードをフォーマット（初期化）する	20
残りの記録可能時間を確認する	21
メモリーカードを修復する	21

撮影

基本操作手順	23
撮影手順	23
ズームする	24
フォーカスを調節する	25
撮影中に音声を聞く	26

基本設定を変更する	27
ビデオフォーマット	27
明るさを調節する	27
自然な色合いに調節する（ホワイトバランス）	29
記録する音声を設定する	31
手ぶれ補正	33
タイムデータ	33
便利な機能を使う	34
ダイレクトメニュー操作	34
顔検出 AF	35
カラーバー / 基準音声信号	36
レックレビュー	36
アサインابلボタン	37
インターバルレック	37
クリップコンティニューアスレック	38
ピクチャーキャッシュレック	39
スロー&クイックモーション	40
2 スロット同時記録	41
ハイダイナミックレンジ（HDR）撮影	42
設定データの保存と呼び出し	42
測位情報を取得する（GPS）	45
プロキシー記録をする	46
プロキシー記録に使用可能な SD カード	46
SD カードをフォーマット（初期化）する	46
残容量を確認する	47
プロキシー記録する	47
プロキシー記録時の設定を変更する	47
記録されるファイルについて	47
ファイルの保存先について	47
ファイル名について	47
プロキシーデータのみ記録する	48
デバイスと LAN 接続する	48
ワイヤレス LAN アクセスポイントモード（Access Point モード） で接続する	49
ワイヤレス LAN ステーションモード（Station モード）で接続す る	50
ネットワーク接続による対応機能一覧	53
Web リモコンを使用する	54

サムネイル画面

サムネイル画面の構成	56
クリップの再生	57
記録したクリップを再生する	57
選択したクリップ以降のクリップを連続再生する	57

再生中の音声を聞く	57
クリップ操作	58
Thumbnail メニューの操作方法	58
クリップの詳細情報を表示する	59
クリップを保護する	60
クリップをコピーする	60
クリップを削除する	61
エッセンスマークサムネイル画面でクリップ（フレーム） を絞り込む	61
サムネイル画面の情報を変更する	61

外部機器接続

外部モニターや記録装置を接続する	63
パソコンでクリップを管理・編集する	64
USB ケーブルを使って接続する	64
外付け HDD / USB メディアを接続する	65

メニュー表示と詳細設定

セットアップメニューの構成と階層	67
セットアップメニューの階層	67
セットアップメニューの操作方法	68
User メニューの編集	71
セットアップメニュー一覧	72
User メニュー	72
Edit User Menu	72
Camera メニュー	73
Paint メニュー	76
Audio メニュー	82
Video メニュー	83
LCD/VF メニュー	84
TC/UB メニュー	87
Recording メニュー	88
Thumbnail メニュー	90
Media メニュー	90
File メニュー	92
Network メニュー	93
System メニュー	95

付録

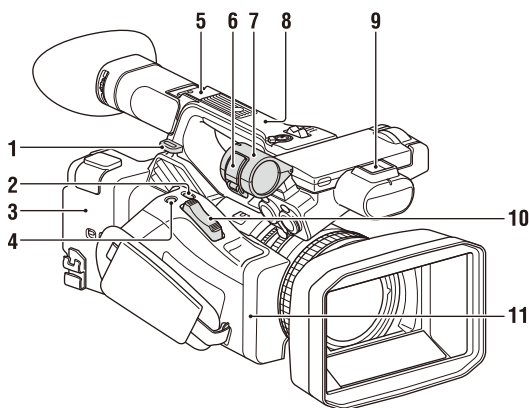
使用上のご注意	99
海外で使う	99



ビデオフォーマットについて	104
記録メディアについて	104
特殊記録の対応	104
クリップの最大記録時間	105
出力のフォーマットと制限	106
ビデオフォーマットと出力信号	106
記録機能間の制約	108
トラブル時の対処	109
電源	109
記録・再生	109
外部機器	110
ワイヤレス LAN 使用時	110
エラー / 警告表示	111
エラー表示	111
警告表示	111
注意・動作確認表示	112
ブロックダイアグラム	114
保証書とアフターサービス	117
保証書	117
アフターサービス	117
主な仕様	117
一般仕様	117
レンズ	118
カメラ部	119
ワイヤレス LAN	119
入出力	119
表示部	120
内蔵マイク	120
メディアスロット部	120
付属品	120
索引	122

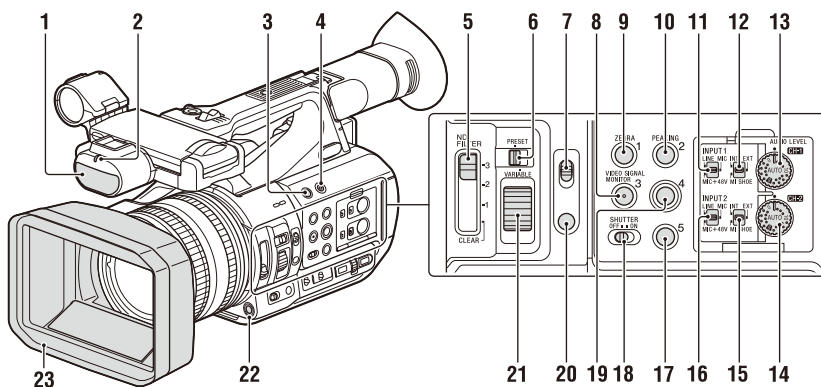
各部の名称と働き

◆それぞれの機能・使いかたについて詳しくは、() 内のページをご覧ください。

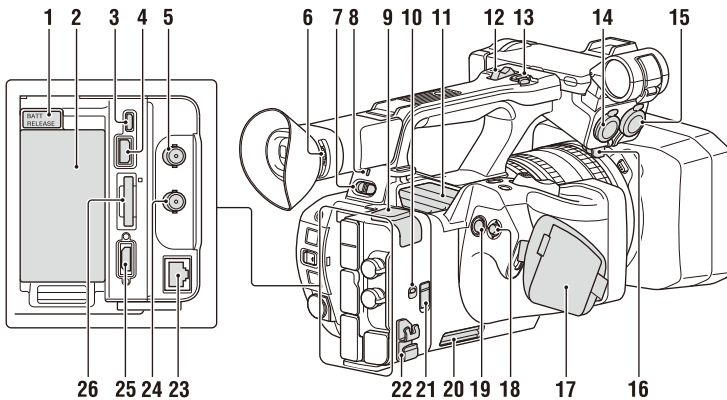
本体



- | | |
|---|---------------------------|
| 1. ショルダーストラップ取り付け部 (9) | 8. GPSアンテナ |
| 2. ASSIGN7ボタン/DIRECT MENUボタン (37) | 9. マルチインターフェースシュー (Front) |
| 3.  (Nマーク) | 10. ズームレバー (24) |
| <ul style="list-style-type: none"> • NFC機能搭載のスマートフォンと本機を無線接続するときにタッチします。一部のおサイフケータイ対応のスマートフォンはNFCに対応しています。詳しくはスマートフォンの取扱説明書でご確認ください。 • NFC (Near Field Communication) は近距離無線通信技術の国際標準規格です | 11. Wi-Fiアンテナ |
| 4. ASSIGN8ボタン/FOCUS MAGボタン | |
| 5. マルチインターフェースシュー (Rear) | |
| 
マルチインターフェースシュー対応アクセサリーについては販売店にお問い合わせください。 | |
| 6. マイク固定用クランパー | |
| 7. マイクホルダー (32) | |



1. 内蔵マイク (31)
2. 記録/タリーランプ (Front) (97)
記録メディアやバッテリー残量が少なくなると点滅します。
3. ASSIGN6ボタン
4. FULL AUTOボタン (23)
5. ND FILTERスイッチ
6. ND FILTERモード切り替えスイッチ
7. FOCUSスイッチ (25)
8. ASSIGN3ボタン/VIDEO SIGNAL MONITORボタン
9. ASSIGN1ボタン/ZEBRAボタン
10. ASSIGN2ボタン/PEAKINGボタン
11. INPUT1スイッチ (31)
12. CH1 (INT/EXT/MI SHOE) スイッチ (31)
13. AUDIO LEVEL (CH1) ダイアル (31)
14. AUDIO LEVEL (CH2) ダイアル (31)
15. CH2 (INT/EXT/MI SHOE) スイッチ
16. INPUT2スイッチ (31)
17. ASSIGN5ボタン
18. SHUTTERスイッチ
19. ASSIGN4ボタン
20. FOCUS PUSH AUTO/HOLDボタン (25)
21. NDコントロールダイアル
22. WB SETボタン
23. レンズカバー付きフード (18)



1. BATT RELEASEボタン (16)
2. バッテリーパック装着部 (16)
3. マルチ/マイクロUSB端子 (64)
4. USB3.0 (HOST) 端子 (Aタイプ)
5. SDI OUT端子 (63)
6. 視度調節ダイヤル (19)
7. 電源スイッチ (17)
I : ON
⏻ : STANDBY
8. 電源ランプ
9. USB2.0 (HOST) 端子 (Aタイプ) (バージョンアップにより対応)
10. IN/OUT (入出力切り替え) スイッチ
11. 排気口
ご注意
 - 排気口周辺は、高温になるおそれがあります。
 - 排気口をふさがないでください。
12. ハンドルズームレバー (24)
13. ハンドル録画ボタン
HOLD位置にするとハンドル録画ボタンが効かなくなります。
14. AUDIO INPUT1端子 (31)
15. AUDIO INPUT2端子 (31)
16. ケーブルホルダー
マイクケーブルなどを固定するときに使います。
17. グリップベルト
18. マルチセレクター (⬆/⬅/➡/⬆/SETボタン)

19. 録画ボタン (23)
20. 吸気口

ご注意

- 吸気口をふさがないでください。

21. REMOTE端子

REMOTE端子は、ビデオ機器と周辺機器をつなぎ、録画のスタート/ストップなどをコントロールできるようにした端子です。

22. ケーブルクランパー

ご注意

- ケーブル保持以外の用途には使用しないでください。

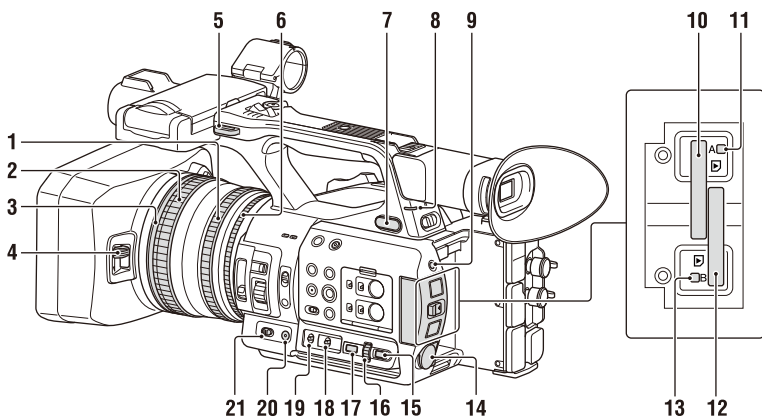
23. 有線LAN端子 (バージョンアップにより対応)

24. TC IN/OUT端子

25. HDMI OUT端子 (63)

26. UTILITY SD/MSスロット/アクセスランプ

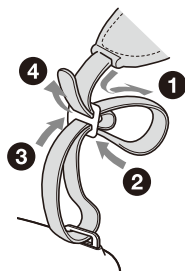
プロキシー記録、設定内容の保存・読み出し (File機能) と、将来のバージョンアップ (ソフトウェアアップデート) 時に使用します。

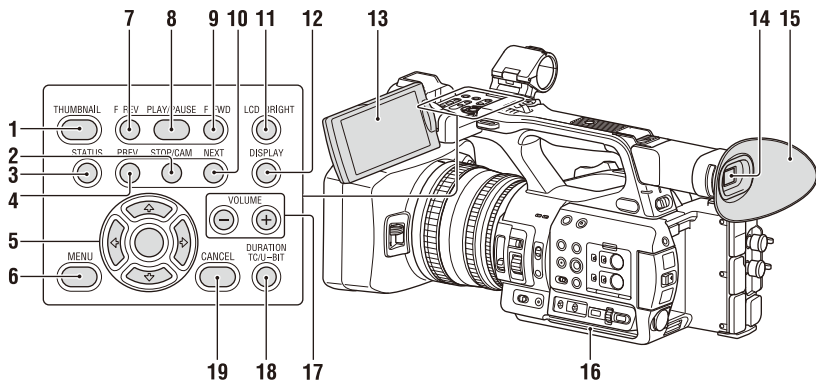


- 1. ズームリング (25)
- 2. フォーカスリング (25)
- 3. Full MFスイッチ (25)
フォーカスリングを前後に動かすことで、ON/OFFが切り替わります。
- 4. レンズカバーレバー (18)
レンズカバーを開閉します。
- 5. ショルダーストラップ取り付け部
- 6. アイリスリング (27)
- 7. ♪ (ヘッドホン) 端子
ヘッドホンを使うときは、ステレオミニジャックのものを使ってください。
- 8. 記録/タリーランプ (Rear) (97)
記録メディアやバッテリー残量が少なくなると点滅します。
- 9. SLOT SELECTボタン
- 10. メモリーカードスロットA
- 11. メモリーカードAアクセスランプ (20)
- 12. メモリーカードスロットB
- 13. メモリーカードBアクセスランプ (20)
- 14. DC IN端子
- 15. CANCEL/BACKボタン (68)
- 16. SEL/SETダイヤル (68)
- 17. MENUボタン (68)
ボタンに凸バー (突起) が付いています。操作の目印としてお使いください。
- 18. WHT BALスイッチ (30)
- 19. GAINスイッチ (28)

- 20. IRIS PUSH AUTOボタン
- 21. IRISスイッチ (27)

ショルダーストラップを取り付けるには、ショルダーストラップ取り付け部に図のように取り付けてください。





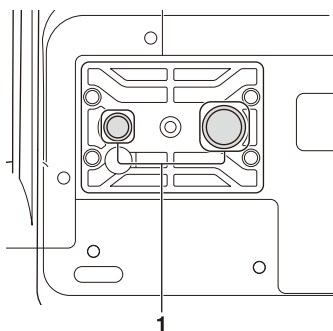
1. THUMBNAILボタン (56)
2. STOP/CAMボタン (57)
3. STATUS CHECKボタン (13)
4. PREVボタン (57)
5. ⬅/➡/⬅➡/SETボタン (68)
6. MENUボタン (68)
7. F REVボタン (57)
8. PLAY/PAUSEボタン (57)
9. F FWDボタン (57)
10. NEXTボタン (57)
11. LCD BRIGHTボタン (19)
12. DISPLAYボタン (11)
13. 液晶画面 (19)
14. ビューファインダー (19)
15. 大型アイカップ
16. 吸気口

ご注意

- 吸気口をふさがらないでください。

17. VOLUMEボタン (26)
18. DURATION/TC/U-BITボタン (34)
19. CANCEL (キャンセル) ボタン (68)

底面



1. 三脚用ネジ穴 (1/4インチ、3/8インチ)
1/4-20UNC、3/8-16UNCのネジに対応
三脚 (別売、ネジの長さ5.5mm以下) を
取り付けます。

画面表示

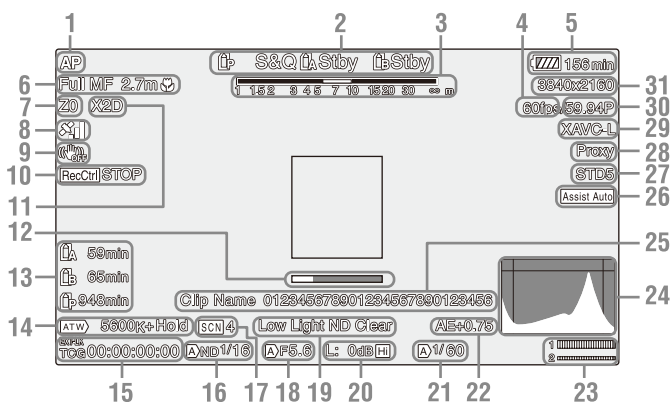
液晶画面/ビューファインダー画面

撮影中（記録中/記録待機中）および再生中は、液晶画面/ビューファインダー画面の映像に本機の状態や設定が重ねて表示されます。

表示/非表示の切り替えは、DISPLAYボタンで行います。

また、項目ごとに表示/非表示を選択することもできます（86ページ）。

撮影中の画面に表示される情報



1. ネットワーク状態表示（13ページ）

ネットワーク接続の状態がアイコンで表示されます。

2. 記録モード/スロットA/B/動作状態表示

●Rec	記録中
Stby	記録待機中

3. 被写界深度表示

4. スロー&クイックモーション撮影フレームレート表示

5. バッテリー残量/DC IN電圧表示

6. フォกัสモード表示（35ページ）

Full MFモード	Full MF
MFモード	MF
AFモード	AF
顔検出AF (AF/☒/Only/※/□)	
顔検出アイコン	☒
顔限定AFアイコン	Only
登録顔ありアイコン	※
顔限定AF中のAF一時停止アイコン ^{a)}	□

a) 顔が登録されていない状態で顔が検出されないとき、または顔が登録されているが登録顔が検出されないときに表示されます。

7. ズームポジション表示

ズームの位置が0（広角端）～99（望遠端）の範囲で表示されます。

8. GPS状態表示
9. 手ぶれ補正モード表示
10. SDI出力/HDMI出力のRec Control状態表示

LCD/VFメニューのDisplay On/OffのSDI/HDMI Rec Controlと、VideoメニューのSDI/HDMI Rec ControlのSettingがともにOnのときに表示されます。

11. デジタルエクステンダー表示 (96ページ)
12. フォーカスアシスト表示
13. メディア残量表示
14. ホワイトバランスモード表示

ATW	自動モード
ATW Hold	自動モード一時停止
W:P	プリセットモード
W:A	メモリー A モード
W:B	メモリー B モード

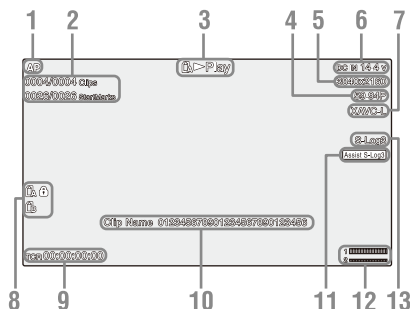
15. タイムコード表示 (34ページ)
16. NDフィルター表示 (28ページ)
17. シーンファイル表示 (42ページ)
18. アイリスポジション表示
19. 映像レベル注意表示
20. ゲイン表示 (28ページ)
21. シャッターモード/シャッタースピード表示
22. AEモード/AEレベル表示 (29ページ)
23. オーディオレベルメーター
24. VIDEO SIGNAL MONITOR表示 (波形モニター/ベクトルスコップ/ヒストグラム表示)
25. クリップ名表示
26. ガンマ表示アシスト表示 (42ページ)
27. ガンマ表示 (78ページ)
ガンマ設定値を表示します。
28. プロキシー状態表示
29. 記録フォーマット (コーデック) 表示 (95ページ)
メモリーカードに記録されるフォーマット名称を表示します。
30. システム周波数とスキャン方式表示

31. 記録フォーマット (画サイズ) 表示 (95ページ)

メモリーカードに記録される画サイズを表示します。





再生中の画像に表示される情報

再生画像には、次のような情報が重ねて表示されます。



1. ネットワーク状態表示
2. クリップ番号/クリップ総数
3. 再生モード表示
4. 再生フォーマット (フレームレート) 表示
5. 再生フォーマット (画サイズ) 表示
6. バッテリー残量/DC IN電圧表示
7. 再生フォーマット (コーデック) 表示
8. メディア表示
メモリーカードがプロテクトされている場合は、左に🔒マークが表示されます。
9. タイムデータ表示
LCD/VFメニューのDisplay On/OffのTimecodeがOnのとき、画面を表示した状態でDISPLAYボタンを押すと表示されます。
10. クリップ名表示
11. ガンマ表示アシスト表示
12. オーディオレベルメーター
13. ガンマ表示

ネットワーク接続のアイコン表示

ネットワークモード	接続状態	アイコン
アクセスポイントモード	アクセスポイントとして動作中	
	アクセスポイント動作エラー	
ステーションモード	Wi-Fi接続中	
	電波強度によりアイコンが変化（4段階）	
	Wi-Fi接続断（準備中含む）	
	Wi-Fi接続エラー	

ステータス画面

ステータス画面で、本機の設定や状態を確認することができます。

ステータス画面の操作

ステータス画面を表示させるには

- STATUS CHECKボタンを押す

ステータス画面を切り替えるには

- SEL/SETダイヤルを回す、または▲/▼ボタンを押す

ステータス画面を消すには

- STATUS CHECKボタンを押す

カメラステータス画面

撮影画質やズームの設定、状態を表示します。

White Switch	ホワイトバランスのメモリー Bの調整値
White Switch<A>	ホワイトバランスのメモリー Aの調整値
White Switch<P>	Preset Whiteの設定値
ND<Preset>	ND FilterのPreset1~3の設定値
Zebra1	ゼブラ1のOn/Offと設定レベル

Zebra2	ゼブラ2のOn/Offと設定レベル
Gamma	Gammaカテゴリとカーブ
Gain Switch	Gain<L>、Gain<M>、Gain<H>の設定値
Handle Zoom Speed	Handle Zoomの設定値
Scene File	使用中のScene FileとそのFile ID

オーディオステータス画面

各チャンネルの入力設定、オーディオレベルメーターと風音低減フィルターの設定状態を表示します。

CH1のレベルメーター	CH1のレベルメーター
CH1 Source	CH1の入力ソース
CH1 Ref. /Sens.	CH1に入力されたINPUTのリファレンスレベル
CH1 Wind Filter	CH1に入力されたマイクのウインドフィルターの設定状態
CH2のレベルメーター	CH2のレベルメーター
CH2 Source	CH2の入力ソース
CH2 Ref. /Sens.	CH2に入力されたINPUTのリファレンスレベル
CH2 Wind Filter	CH2に入力されたマイクのウインドフィルターの設定状態
CH3のレベルメーター	CH3のレベルメーター
CH3 Source	CH3の入力ソース
CH3 Ref. /Sens.	CH3に入力されたINPUTのリファレンスレベル
CH3 Wind Filter	CH3に入力されたマイクのウインドフィルターの設定状態
CH4のレベルメーター	CH4のレベルメーター
CH4 Source	CH4の入力ソース
CH4 Ref. /Sens.	CH4に入力されたINPUTのリファレンスレベル
CH4 Wind Filter	CH4に入力されたマイクのウインドフィルターの設定状態
HDMI Output CH	HDMIIIに出力される音声チャンネルの組み合わせの設定状態

Analog Output CH	アナログオーディオ出力に出力される音声チャンネルの組み合わせの設定状態
Monitor CH	モニターチャンネルの設定状態
Headphone Out	ヘッドホン出力方式の設定状態

システムステータス画面

ビデオ信号の設定を表示します。

Frequency/Scan	システム周波数と走査方式の設定値
Codec	Codecの設定値
Simul Rec	2スロット同時記録機能のOn/Off設定
Title Prefix	クリップ名のタイトル部分
Picture Size	録画フォーマットの画サイズ
Rec Function	Onになっている特殊記録とその設定
Clip Continuous Rec	Clip Continuous RecのOn/Off状態
Picture Cache Rec	Picture Cache RecのOn/Off状態と設定値
Number	クリップ名の最後の数値部分
Shooting Mode	撮影モードの設定値
Proxy Rec	プロキシ記録のOn/Off状態と設定値

ビデオアウトプットステータス画面

SDI、HDMI、ビデオ出力の設定を表示します。

SDI	出力画サイズ Rec Control状態 出力On/Off
HDMI	出力画サイズ Rec Control状態 出力On/Off
Gamma	Gammaの設定値
Color Gamut	色域の設定値
Gamma Display Assist	ガンマ表示アシストの設定値

アサインナブルボタンステータス画面

各アサインナブルボタンに割り当てた機能を表示します。

1	Assign1ボタンに割り当てられている機能
2	Assign2ボタンに割り当てられている機能
3	Assign3ボタンに割り当てられている機能
4	Assign4ボタンに割り当てられている機能
5	Assign5ボタンに割り当てられている機能
6	Assign6ボタンに割り当てられている機能
7	Assign7ボタンに割り当てられている機能
8	Assign8ボタンに割り当てられている機能

バッテリーステータス画面

バッテリーまたはDC IN電源の情報を表示します。

Detected Battery	バッテリーの種類
Remaining	残容量 (%)
Charge Count	充電を行った回数
Capacity	残容量 (Ah)
Voltage	電圧 (V)
Manufacture Date	バッテリーの製造年月日
Video Light Remaining	ビデオライトバッテリー残量表示
Power Source	電源供給源
Supplied Voltage	供給電源電圧

メディアステータス画面

記録メディア（メモリーカードA/メモリーカードB）およびUTILITYメディアの残量、残記録可能時間、寿命データを表示します。

メディアAのメディア情報	Aスロットにメディアが挿入されているとき、Mediaアイコンを表示する
メディアAのプロテクト情報	Aスロットに挿入されている記録メディアがプロテクトされているとき、Protectアイコンを表示する
メディアAの残量メーター	Aスロットに挿入されている記録メディアの残容量を、残比率で表したバーで表示する

メディアAの残時間	現在と同じ状態でAスロットに挿入されている記録メディアに記録したときの予測残時間を分単位で表示する
メディアBのメディア情報	Bスロットにメディアが挿入されているとき、Mediaアイコンを表示する
メディアBのプロテクト情報	Bスロットに挿入されている記録メディアがプロテクトされているとき、Protectアイコンを表示する
メディアBの残量メーター	Bスロットに挿入されている記録メディアの残容量を、残比率で表したバーで表示する
メディアBの残時間	現在と同じ状態でBスロットに挿入されている記録メディアに記録したときの予測残時間を分単位で表示する
UTILITYメディアのメディア情報	UTILITY SD/MSスロットにメディアが挿入されているとき、Mediaアイコンを表示する
UTILITYメディアのプロテクト情報	UTILITY SD/MSスロットに挿入されているメディアがプロテクトされているとき、Protectアイコンを表示する
UTILITYメディアの残量メーター	UTILITY SD/MSスロットに挿入されているメディアの残容量を、残比率で表したバーで表示する
UTILITYメディアの残量	UTILITY SD/MSスロットに挿入されている記録メディアに記録したときの予測残時間を分単位で表示。または残容量を単位GBで表示する

個別 REC トリガー設定状態画面

録画ボタンとハンドル録画ボタンの設定状態を表示します。

Rec Button	録画ボタンで記録するスロットを表示する
Handle Rec Button	ハンドル録画ボタンで記録するスロットを表示する

GPS ステータス画面

GPSの測位状態と情報を表示します。

GPS	GPS信号の測位状態
Dilution Of Precision	測位精度の情報
Latitude	緯度情報
Longitude	経度情報
Altitude	高度情報
Positioning date and time	測位日時
Current date and time	現在日時
Time Zone	Time Zoneの設定値

ネットワークステータス画面

ネットワーク接続の接続状態を表示します。

Wireless LAN	ワイヤレスネットワークの設定、接続状態
--------------	---------------------

Wireless LAN の内容

Setting 表示	Status表示	説明
Off	---	ワイヤレスLAN設定がOFF
Access Point Mode	Non Active	アクセスポイントとして動作していない状態
	Active	Wi-Fiチップ故障時に表示 アクセスポイントとして動作中
Station Mode	Non Active	ステーションモードとして動作していない状態
	Searching	Wi-Fiチップ故障時に表示 前回接続したネットワーク（アクセスポイント）に接続しようとしている状態
	Disconnected	ネットワーク（アクセスポイント）に接続していない状態 DHCPでIPアドレスが割り当てられていない場合もこの状態になる
<SSID>		<SSID>のネットワーク（アクセスポイント）と接続している状態

電源

バッテリーパック、またはACアダプターを介してAC電源を使用できます。

ACアダプターを接続した場合は、バッテリーパックが装着されていても、ACアダプターが優先されます。

安全のため、下記ソニー純正以外のバッテリーパックおよびACアダプターを使用しないでください。

リチウムイオンバッテリーパック（別売）

BP-U30

BP-U60

BP-U60T

BP-U90

AC アダプター / チャージャー（別売）

BC-U1A

BC-U2A



警告

直射日光の下や火気の近くなど、高温のところにバッテリーを置かないでください。

ご注意

- コンセントにつないで使うときは、ACアダプターをご使用ください。

バッテリーパックを使う

バッテリーパックをバッテリーパック装着部（8ページ）の奥まで差し込んで、下にスライドさせてロックします。

取り外すときは、BATT RELEASEボタン（8ページ）を押しながらバッテリーパックを上にもスライドさせてロックを外し、引き抜きます。

ご注意

- 装着する前に、専用のチャージャー BC-U1AまたはBC-U2Aを使用して充電してください。
- 使用直後でバッテリーパックの温度が上昇した状態で充電すると、完全に充電されないことがあります。

- バッテリーパックBP-U90は大容量でサイズが大きいため、装着時に本体からの突出が大きくなります。BP-U90は三脚などに本機を固定して長時間撮影をする場合などに便利です。

残量を確認する

バッテリーパックを使用して撮影・再生しているときは、液晶画面/ビューファインダー画面（11ページ）にバッテリー残量アイコンと残り時間が表示されます。

アイコン	残量
	100%～91%
	90%～71%
	70%～51%
	50%～31%
	30%～11%
	10%～0%

残り時間は、現在の消費電流のペースで本機を継続使用した場合のバッテリーパックの使用可能時間を計算して分単位で表示されます。

バッテリーパックの残量が低下すると

使用中にバッテリーパックの残量が一定の値まで低下すると（Low Battery状態）、バッテリーパックの残りが少ないことを知らせるメッセージが画面に表示され、記録/タリールンプの点滅とブザー音で警告します。

さらに残量が減り、動作が継続不可能な状態になると（Battery Empty状態）、バッテリーパックの残りが少ないことを知らせるメッセージに切り替わります。

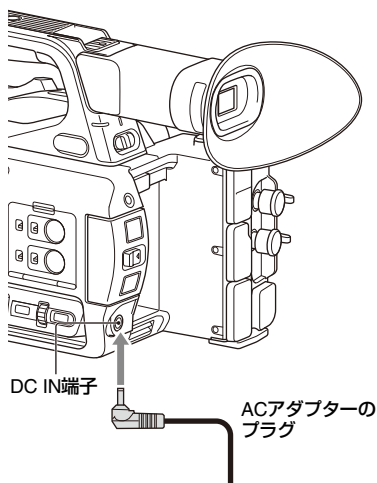
充電されたバッテリーパックに交換してください。

警告残量を変更する

工場出荷時には、Low Batteryはフル充電の10%、Battery Emptyは3%に設定されています。これらの設定は、SystemメニューのBattery Alarm (97ページ) で変更することもできます。

コンセントにつないで使う

バッテリーが切れることを心配しないで使えます。



- 1 電源コードをACアダプターにつなぐ。
- 2 ACアダプターを本体のDC IN端子につなぐ。
- 3 電源コードをコンセントにつなぐ。

ACアダプターについて

- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- 本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターのプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- ACアダプターをつないで本体を充電することはできません。

電源を入れる/切る

電源を入れるときは、電源スイッチ (8ページ) をON (Iの位置) にします。電源を切るときは、電源スイッチをSTANDBY (Oの位置) にします。

ご注意

- 本機は、電源スイッチをSTANDBYにした状態でも、わずかに待機電力を消費します。本機を長時間使用しないときは、バッテリーパックを取り外してください。
- バッテリーパックやDC IN電源は、電源スイッチをSTANDBYにして電源ランプが消えてから取り外してください。ONのまま取り外すと、本機やメモリーカードの故障の原因となることがあります。

時計を合わせる

本機を初めて使用するときやバックアップ電池が放電してしまった後に、初めて本機の電源を入れるとビューファインダー画面と液晶画面に初回設定画面が表示されます。この画面を使用して内蔵時計の日付/時刻を設定してください。

Time Zone について

UTC（協定世界時）からの時差を設定します。必要に応じて変更してください。

日付/時刻を設定する

▲/▼/◀/▶ボタン（8ページ）またはSEL/SETダイヤル（9ページ）でカーソルを移動し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押して各項目を設定します。最後にカーソルをFinishに合わせるとSETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押すと、設定画面が消え、時計合わせが完了します。

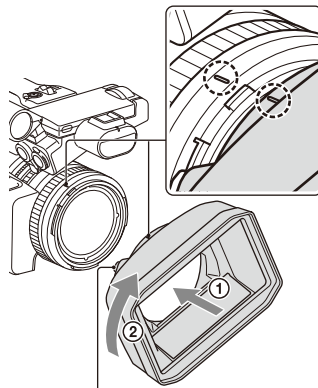
設定画面が消えた後は、SystemメニューのClock Set（97ページ）でTime Zoneおよび日時の設定を変更することができます。

ご注意

- 動作電源が供給されていない（バッテリーパックもDC IN電源も接続されていない）状態でバックアップ電池が消耗するなどして現在日時の情報が失われた場合は、次に電源を入れると初回設定画面が表示されます。
- 初回設定画面が表示されている状態では、この画面での設定が完了するまで電源を切る以外の操作はできません。
- 3か月近く使わないでおくと、内蔵の充電式電池が放電して、日付、時刻の設定が解除されます。充電式電池を充電してから設定し直してください（101ページ）。

機器を取り付ける

レンズフードを取り付ける



PUSH（レンズフード取り外し）ボタン

本体とフードの印を合わせて、矢印②の方向にロックされるまで回す。

レンズフードを取り外す

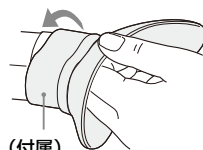
PUSH（レンズフード取り外し）ボタンを押しながら、取り付け方向と反対方向に回す。

ご注意

- φ82mmの偏光フィルターや保護フィルターの取り付け/取り外しの際は、レンズフードを取り外してください。

大型アイカップを取り付ける

大型アイカップを少し伸ばしてビューファインダーにはめ、縁を水平の溝に合わせてはめ込んでください。

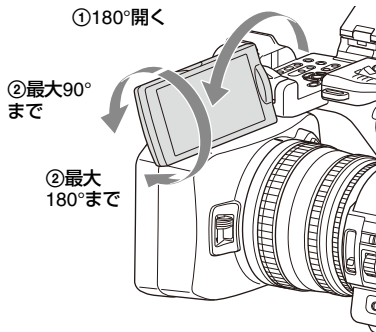


大型アイカップ（付属）

画面を調節する

液晶画面を調節する

液晶画面を180°に開ききった状態 (①) で、見やすい角度に調節します (②)。



対面撮影にも使用できます。液晶画面には左右反転して映りますが、実際には左右正しく録画されます。

バックライトを調節する

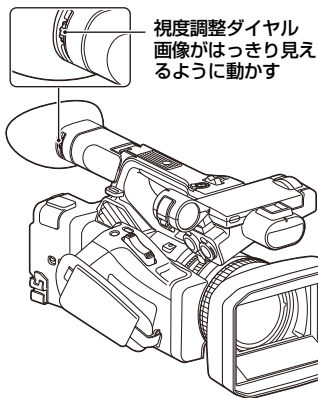
LCD BRIGHTボタン (10ページ) でバックライトの明るさを調節できます。

明るさを調節する

LCD/VFメニューのLCD SettingのBrightness (84ページ) で調整できます。明るさを変えても、記録される映像に影響はありません。

ビューファインダーを調節する

ビューファインダーで見るときは、液晶画面を閉じた状態でビューファインダーに目を近づけます。ビューファインダーの画面表示がぼやけているときは、ビューファインダー下の視度調整ダイヤルで調節します。



明るさを調節する

LCD/VFメニューのVF SettingのBrightnessで調節します (84ページ)。

アサイナブルボタンで液晶画面/ ビューファインダー画面の明る さを調節する

アサイナブルボタン (37ページ) にLCD/VF Adjustを割り当てておくと、このボタンを押すことで、液晶画面/ビューファインダー画面の明るさ調節用レベルバーを表示することができます。

1 LCD/VF Adjustを割り当てたボタンを押し、明るさ調節用レベルバーを表示する

ボタンを押すたびに、液晶画面用のレベルバー → ビューファインダー画面用のレベルバー → 非表示の順で表示が切り替わります。

2 $\blacktriangle/\blacktriangleright/\blacktriangleleft/\blacktriangleleft$ ボタンまたはSEL/SETダイヤルでレベルを調節し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

レベルバーが非表示になります。LCD/VF Adjustを割り当てたボタンを押すか、何も操作しないで3秒経過した場合も、レベルバーが消えます。

メモリーカードを使う

本機では、撮影した映像・音声を、メモリーカードスロット内のメモリーカード（別売）に記録します。

メモリーカードについて

本機で使用可能なメモリーカード

下記のメモリーカードが使用可能です。

- ◆記録メディアと対応フォーマットについては104ページをご覧ください。

SDXC メモリーカード（Class10）

メモリーカードを入れる

- 1 カードスロット部のカバーを開ける。
- 2 メモリーカードを、ラベルを右にして押し込む。
アクセスランプ（9ページ）が赤く点灯し、使用可能な状態になると緑で点灯します。
- 3 カバーを閉める。

ご注意

- 誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカードスロット、画像データが破損することがあります。

メモリーカードを取り出す

- 1 カードスロット部のカバーを開け、メモリーカードを軽く1回押す。
メモリーカードが飛び出します。
記録中の場合は、記録が停止します。
- 2 メモリーカードを抜く。

ご注意

- メモリーカードにアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合はデータは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、カードを抜くときは、必ず使用する

メモリーカードのアクセスランプが緑で点灯または消灯していることを確認してから操作してください。

- 記録終了後にメモリーカードを取り出した際、メモリーカードが熱くなっている場合がありますが故障ではありません。

使用するメモリーカードを切り替える

カードスロットAとBの両方にメモリーカードが装着されているときは、SLOT SELECTボタン（9ページ）を押して使用するカードを切り替えることができます。

記録実行中にカードがフルになったときは、自動的にもう1枚のカードに切り替わりません。

ご注意

- 再生中は、SLOT SELECTボタンは無効になります。ボタンを押しても切り替わりません。サムネイル画面（56ページ）表示中はボタン操作が有効です。

メモリーカードをフォーマット（初期化）する

本機で初めてメモリーカードを使用するときは、フォーマットが必要です。

本機で使用するメモリーカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。

メモリーカードを装着したときに注意メッセージが表示された場合も、フォーマットして使用してください。

本機が対応していないフォーマットで初期化されたメモリーカードを装着すると、メッセージ「ファイルシステムが異なります」が液晶画面/ビューファインダー画面に表示されます。

下記の「フォーマット（初期化）を実行する」に従ってフォーマットしてください。

フォーマット（初期化）を実行する

MediaメニューのFormat Media（90ページ）で、Media(A)（スロットA）かMedia(B)（スロットB）かを指定し、Executeを選択する。

実行中メッセージが表示され、アクセスランプが赤く点灯します。
フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されます。

ご注意

- メモリーカードをフォーマットすると、プロテクトされた画像も含めて、すべてのデータが消去され、復元できません。

本機でフォーマットしたメディアを他の機器のロットで使用するには


あらかじめバックアップを取り、お使いになる機器でフォーマットしなおして使用してください。

残りの記録可能時間を確認する

撮影中（記録中/記録待機中）は、液晶画面/ビューファインダー画面（11ページ）のA/Bスロットメディア状態/残量表示部で、各スロットに装着したメモリーカードの残量を確認することができます。

現在設定されているビデオフォーマット（記録ビットレート）で撮影した場合に記録可能な時間を、それぞれのスロット内のメディアの残量から計算して分単位で表示します。

ご注意

- メモリーカードがプロテクトされている場合は、マークが表示されます。

メモリーカードの交換時期

- 記録中に2枚のメモリーカードの残記録可能時間の合計が5分をきると、警告メッセージ「メディア残量がわずかです」（Media Near Full）が表示され、記録/タリールランプの点滅とブザー音（ヘッドホン出力）で警告します。
空きのあるメディアに交換してください。
- 記録を継続して、残記録可能時間の合計が0になると、メッセージが「メディア残量がありません」（Media Full）に変わり記録が停止します。

ご注意

- 1枚のメモリーカードに約600個までのクリップを記録できます。


記録できるクリップ数の上限に達すると、クリップ数が上限である旨が表示されます。

メモリーカードを修復する

何らかの原因でメモリーカード内のデータに異常が発生した場合は、メモリーカードの修復が必要になります。

修復が必要なメモリーカードを挿入したときは、修復を実行するかどうかを確認するメッセージが液晶画面/ビューファインダー画面に表示されます。

修復を実行する

ボタンまたはSEL/SETダイヤルでExecuteを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

実行中メッセージと進捗状況（%）が表示され、アクセスランプが赤く点灯します。修復が終了すると、完了メッセージが表示されます。

修復できなかったときは

- プロテクトされたメモリーカードや、エラーが発生したメモリーカードは修復できません。警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、プロテクトを解除するか、別のメモリーカードに交換してください。
- エラーが発生したメモリーカードは、フォーマットをし直すと再利用できる場合があります。
- 一部のクリップのみが修復できない場合もあります。修復できたクリップは再生可能になります。
- 修復を実行しても繰り返し「一部修復ができませんでした」とメッセージが表示されるようになったメモリーカードは、以下の手順で正常に戻せる場合があります。
 - 1 本機のコピー機能（60ページ）を使用して、必要なクリップを他のメモリーカードへコピーする。
 - 2 問題のあるメモリーカードを本機でフォーマットする。
 - 3 フォーマットしたメモリーカードに必要なクリップをコピーして戻す。

ご注意

- 本機で記録されたメディアは、本機で修復してください。
本機以外で記録されたメディアや、本機と同一機種であってもバージョンが異なる機器で記録されたメディアは、本機では修復できない場合があります。
- 1分未満のクリップは修復できない場合があります。

基本操作手順

撮影手順

基本的な撮影は次の手順で行います。

- 1 必要な機器が取り付けられ、電源が供給されていることを確認する。**
- 2 必要なメモリーカードを入れる。**
メモリーカードはA/B両方のメモリーカードスロットに入れておくと、1枚目がフルになった時点で自動的に2枚目に切り替わります。
- 3 電源スイッチをONにする。**
液晶画面/ビューファインダーに撮影画面が表示されます。
- 4 グリップまたはハンドルの録画ボタン（8ページ）を押す。**
記録/タリランプが点灯して、記録が始まります。
- 5 記録を終了するとき、もう一度録画ボタンを押す。**
記録が停止し、本機はSTBY（記録待機）モードになります。

撮影する（フルオートモード）

FULL AUTOボタンを押して、ボタンのインジケーターを点灯させる。

フルオートモードがONになり、Auto Exposure（74ページ）が働いて、Auto ND Filter、オートアイリス、AGC、オートシャッター、ATW（自動追尾ホワイトバランス）がONになり、明るさとホワイトバランスが常に自動調整されます。それぞれをマニュアルで調整したいときは、フルオートモードをOFFにしてください。

メモリーカードを入れ換えながら、中断することなく撮影する（リレー記録）

A/B両方のメモリーカードスロットにメモリーカードを入れておけば、撮影中にメモリーカードA（またはメモリーカードB）の残量がなくなる直前に、自動的にもう一方のメモリーカードへの記録に切り替わります。メモリーカードが切り替わるたびに、記録済みのメモリーカードを新しいメモリーカードに交換することで、中断することなく撮影を続けられます。

ご注意

- 記録中のメモリーカードを取り出さないでください。記録中にメモリーカードを入れ換えるときは、スロットのランプが消灯しているスロットのみ行ってください。
- 記録中のメモリーカードの残量が1分未満のときに、もう一方のスロットに記録可能なメモリーカードが入っていると、メッセージ「まもなくスロットを切り替えます」が表示されます。メモリーカードスロットが切り替わると消えます。
- メモリーカードの残量が1分未満のときに記録を始めると、リレー記録ができない場合があります。リレー記録を正しく行うには、記録開始時にメモリーカードの残量が1分以上あることを確認してください。
- 本機を使ってリレー記録した動画は、本機上ではシームレス再生できません。
- 本機を使ってリレー記録した動画を結合するには、ソフトウェア「Content Browser」を使用してください。

クリップについて

クリップ（記録データ）

記録を停止すると、開始から停止までの画像・音声と付随データが、ひとつの「クリップ」としてメモリーカードに記録されます。

クリップ名について

本機で記録されるクリップには、MediaメニューのClip Naming（91ページ）で設定された形式でクリップ名がつけられます。

クリップの最大時間

クリップの最大記録時間は、記録フォーマットにより異なります。

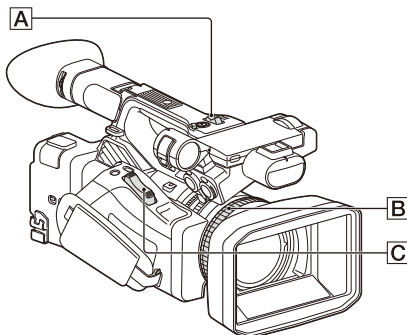
動画の連続撮影可能時間は、クリップの最大記録時間と同様です。録画時間がクリップの最大時間を超える場合、録画を継続したまま自動的に新しいクリップが作られます。新しいクリップはサムネイル画面で別のクリップとして確認できます。

記録フォーマットごとのクリップの最大記録時間については、「クリップの最大記録時間」（105ページ）をご覧ください。

クリップを削除するには

Last Clip Delete機能（96ページ）を使用すると、直前に記録したクリップを削除できます。全クリップの削除やクリップを指定しての削除は、サムネイル画面（61ページ）から操作してください。

ズームする

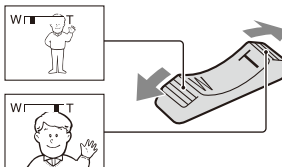


ズームレバーを使う

ズームレバー **C** を押してズームする。

ズームレバー **C** を浅く押し込むとゆっくり、深く押し込むと速くズームします。

広角：Wide（ワイド）



望遠：Telephoto（テレフォト）

- フォーกัส合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。
- 被写体との距離が80cm以内の被写体は、ズーム位置によってはフォーカスが合わないことがあります。
- ズームレバー **C** から指を離さずに操作してください。指を離すとズームレバー **C** の操作音が記録されることがあります。

ハンドルズームを使う

1. CameraメニューのHandle Zoom（75ページ）のSettingで、ハンドルズームの動作を「Low」、「High」、「Variable」のいずれかに設定する。
 - 「Variable」にすると、押し具合によってズームスピードが変化します。

- 「Low」または「High」にすると、押し具合に関わらず固定スピードで動きます。CameraメニューのHandle Zoomの「Low」または「High」で、スピードを切り替えることができます。
- アサインボタン（37ページ）にHandle ZoomのSetting機能を割り当てておくと、このボタンを押すたびにハンドルズームの動作を切り替えることができます。

2. ハンドルズームレバー **A**を押してズームする。

ご注意

- ハンドルズームの動作が「OFF」になっていると、ハンドルズームレバー **A**は使えません。

ズームリングを使う

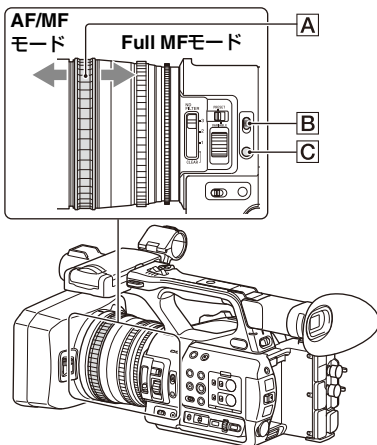
ズームリング**B**を回してズームする。

ズームリング**B**を回して好みの速さでズームすることができます。微調整も可能です。

フォーカスを調節する

フォーカス合わせのコツ

- 始めにズームをT側（望遠）でフォーカスを合わせてから、W側（広角）に戻していきます。
- 接写時は、逆にズームをW側（広角）いっぱいにしてフォーカスを合わせます。



Full MFモードで調節する

フォーカスリング**A**を後方（本体側）に引くと、常に手動でフォーカスを合わせるFull MFモードになります。

液晶画面/ビューファインダー画面の画像を見ながら、フォーカスリングを回してフォーカスを合わせます。

Full MFモードでは、フォーカスリングに印字されている距離指標の目盛りを使用してフォーカスを合わせることができます。フォーカスの合う距離は、距離指標の位置に対応します。

ご注意

- フォーカスリングを回すときは、両端に強く当てないでください。
- Full MFモード中は、オートフォーカス、プッシュオートフォーカスは使用できません。
- CameraメニューのFocus Macroの設定によらず、マクロはOFFになります。

MFモードで調節する

必要なときのみオートフォーカスを働かせることができるMF（マニュアルフォーカス）モードです。

フォーカスリング**A**を前方（レンズフード側）にスライドさせ、FOCUSスイッチ**B**をMANUALにします。

一時的にオートフォーカスで撮る（プッシュオートフォーカス）

MFモード中に、レンズのFOCUS PUSH AUTO/HOLDボタン**C**、またはPush AF/ Push MFを割り当てたアサインボタン（37ページ）を押すと、そのボタンを押している間はオートフォーカスになります。ボタンから指を離すと、手動フォーカス合わせに戻ります。

手動フォーカス合わせで、ある被写体から別の被写体にフォーカスを移すようなときに使うと便利です。

AFモードで調節する

常にオートでフォーカスを合わせるAF（オートフォーカス）モードです。

フォーカスリング**A**を前方にスライドさせ、FOCUSスイッチ**B**をAUTOにします。

一時的にマニュアルフォーカスで撮る (ブッシュマニュアルフォーカス)

AFモード中に、レンズのFOCUS PUSH AUTO/HOLDボタン、またはPush AF/Push MFを割り当てたアサインボタン (37ページ) を押すと、そのボタンを押している間はマニュアルフォーカスになります。ボタンから指を離すと、オートフォーカスに戻ります。

マクロモードを使う

MFモードまたはAFモードのときは、CameraメニューのFocus (73ページ) でFocus MacroをOnにするか、Focus Macroを割り当てたアサインボタン (37ページ) を押すと、マクロモードになり、マクロ領域を含めた範囲でのフォーカス操作が可能になります。マクロモードは、Full MFモードでは無効です。

拡大表示をしてフォーカスを合わせる (ピント拡大)

アサインボタン (37ページ) にFocus Magnifierを割り当て、そのボタンを押すと、ピント拡大画面に切り替わり、画面の一部が拡大されます。記録フォーマットがQFHDの場合は、ボタンを押すたびに4倍、8倍の順に切り替わります。▲/▼/◆/▶ボタンで拡大位置を移動させることができます。QFHD以外の場合は、画面中央が2倍に拡大されます。もう一度押すと元に戻ります。フォーカスが合っているかを確認するときに便利です。

ご注意

- ピント拡大で表示されていても、記録される画像は拡大されません。

撮影中に音声を聞く

ヘッドホン端子 (ステレオミニジャック) (9ページ) に接続したヘッドホンで、記録される音声をモニターできます。

ご注意

- 撮影中 (記録中/記録待機中) は内蔵スピーカーで音声をモニターすることはできません。

モニター音量を調節するには
VOLUMEボタン (10ページ) を使用します。

モニター音のチャンネルを切り替えるには
AudioメニューのAudio Output (83ページ) で選択できます。

基本設定を変更する

映像の用途や撮影の状況に応じて、設定を変更します。

ビデオフォーマット

選択できるフォーマットは、システム周波数、コーデックの設定によって異なります。

システム周波数を切り替える

SystemメニューのRec Format (95ページ)のFrequencyで切り替えます。切り替えを実行すると、本機は自動的に再起動します。

ご注意

- 記録・再生中にシステム周波数を切り替えることはできません。

コーデックを切り替える

SystemメニューのRec Format (95ページ)のCodecで切り替えます。

ご注意

- 記録・再生中にコーデックを切り替えることはできません。

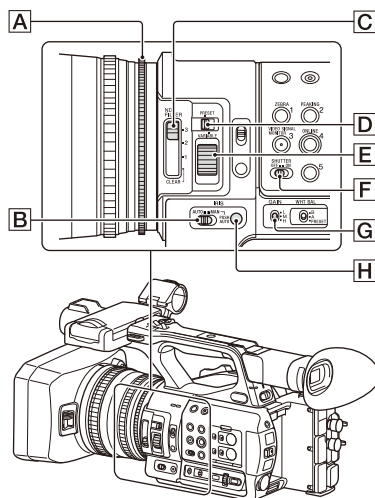
フォーマットを変更する

SystemメニューのRec Format (95ページ)のVideo Formatで切り替えます。SDI OUTおよびHDMI OUT端子からの信号も、このメニューで選択されたフォーマットに従って出力されます。

ご注意

- 記録・再生中にフォーマットを変更することはできません。

明るさを調節する



アイリス、ゲイン、シャッタースピードを調節したり、NDフィルターを使って光量を調節したりして、明るさを調節できます。

オートアイリスで撮影する

フルオートモード (23ページ) がONのときアイリスは強制的にオートモードになります。

フルオートモードがOFFのとき

IRISスイッチ **B** をAUTO にすると、アイリスが単独でオートモードになります。ダイレクトメニュー (34ページ) で、アイリスのAUTO/MANUALの切り替えとMANUAL時の調整値の設定ができます。

マニュアルアイリスで撮影する

フルオートモードがOFFのときに、IRISスイッチ **B** をMANUALにすると、マニュアルアイリスモードになります。アイリスリング **A** を回してアイリス調整します。また、ダイレクトメニュー (34ページ) で、アイリスのAUTO/MANUALの切り替えとMANUAL時の調整値の設定ができます。

一時的にオートアイリスに切り替える

マニュアルアイリスモードで、IRIS PUSH AUTOボタン[H]を押すと、ワンプッシュオートアイリス機能が働きます。ボタンを押している間オートアイリスが働き、ボタンを離すとマニュアルアイリスモードに戻ります。

オートゲインで撮影する (AGC)

フルオートモード (23ページ) がONのとき強制的にAGC (オートゲインコントロール) モードになります。

フルオートモードがOFFのとき

CameraメニューのAuto ExposureのAGC (75ページ) をOnにすると、ゲインが単独でAGCモードになります。ダイレクトメニュー (34ページ) で、AGCのON/OFFを設定できます。

固定ゲインで撮影する

1. フルオートモードをOFFにする。
2. ゲインが自動調節になっているときは、CameraメニューのAuto ExposureのAGC (74ページ) をOffにする。「AGC」が消えます。
3. GAINスイッチ[G]でH/M/Lを選択する。設定されたゲイン値が表示されます。H/M/Lの値は、CameraメニューのGainで設定します (73ページ)。ダイレクトメニュー (34ページ) でも、H/M/Lの値を設定できます。

オートシャッターで撮影する

フルオートモード (23ページ) がONのとき強制的にオートシャッターになります。

フルオートモードがOFFのとき

CameraメニューのAuto ExposureのAuto Shutter (75ページ) をOnにすると、シャッター速度が単独でオートになります。ダイレクトメニューでAuto Shutterを選択してONにすることで、オートシャッターにできます。

固定シャッターで撮影する

フルオートモードがOFFで、CameraメニューのAuto ExposureのAuto Shutter (75ページ) がOffのときに、SHUTTERスイッチ[F]をONにすると、CameraメニューのShutter (74ページ) で設定したモードとシャッター速度の固定シャッターがONになります。

Cameraメニューで設定する

CameraメニューのShutter (74ページ) を使用して、シャッターモードと速度を設定します。

ダイレクトメニューで設定する

ダイレクトメニュー (34ページ) で、ECSモード (74ページ) のON/OFFやシャッターの速度を設定できます。

光量を調節する (NDフィルター)

撮影状況が明るすぎるときは、ND FILTERスイッチ[C]を使うと適切な明るさにすることが出来ます。

本機は2つのNDフィルターモードを備えています。2つのモードはND FILTERモード切り替えスイッチ[D]で切り替えます。

プリセットモード

ND FILTERモード切り替えスイッチ[D]をPRESETにして、ND FILTERスイッチ[C]を以下のように切り替えます。

CLEAR : NDなし

1 : CameraメニューのND FilterのPreset 1で設定した濃度。工場出荷状態は1/4

2 : CameraメニューのND FilterのPreset 2で設定した濃度。工場出荷状態は1/16

3 : CameraメニューのND FilterのPreset 3で設定した濃度。工場出荷状態は1/64

バリエブルモード

ND FILTERモード切り替えスイッチ[D]をVARIABLEにして、ND FILTERスイッチ[C]を以下のように切り替えます。

CLEAR : NDなし

1、2、3 : NDコントロールダイヤル[E]でフィルター濃度を1/4~1/128の範囲で連続的に調整することができます。

フィルターの濃度調整にND FILTERスイッチ [B] 1/2/3の位置は影響しません。

オートNDフィルター

ND FILTERモード切り替えスイッチが VARIABLEで、ND FILTERスイッチが1~3 のとき、CameraメニューのAuto Exposure のAuto ND Filter (74ページ) をOnにすると、NDフィルター透過率を自動で調節します。

このとき、ダイレクトメニュー (34ページ) で、Auto ND FilterのON/OFFを設定できます。

また、Auto ND FilterをOFFに設定すると、ダイレクトメニューでNDフィルター透過率を選択できます。

Auto Exposureを設定する

NDフィルターとアイリス、ゲイン、シャッターのうち、オートに設定されている機能を使って過度な明るさを適正にコントロールします。

CameraメニューのAuto Exposure (74ページ) のModeで制御モード、Levelで補正量を設定します。

ダイレクトメニュー (34ページ) でも、制御モードと補正量を設定できます。

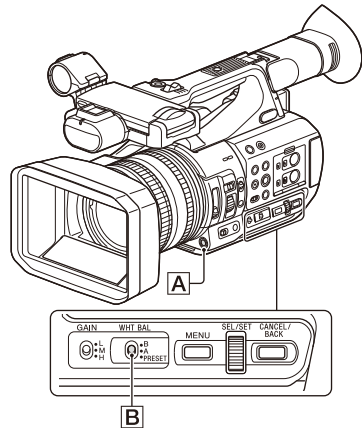
フリッカー補正機能を使用する

CameraメニューのFlicker Reduce (75ページ) のModeをAutoまたはOnに設定して、Frequencyを電源周波数 (50 Hzまたは60 Hz) に合わせます。

ご注意

- 撮影しているフレームレートが電源周波数に近い場合は、フリッカー補正機能が働いてもフリッカーを完全に補正できない場合があります。この場合は、電子シャッターを使用してください。

自然な色合いに調節する (ホワイトバランス)



撮影状況に応じて調整モードを選択できます。

プリセットモード

色温度をプリセット値 (工場出荷時: 3200K) に調整するモードです。ホワイトバランスを調整する時間がないときや、PaintメニューのWhite (77ページ) のPreset Whiteで設定したホワイトバランスに固定して撮影したい場合に使用します。

メモリー A/メモリー B モード

メモリー A またはメモリー B に保存されたホワイトバランスに調整します。

WB SETボタン [A] を押すと、ホワイトバランスの自動調整を実行し、調整値をメモリー A またはメモリー B に保存し直します。

ATW(自動追尾ホワイトバランス) モード

常に適切なホワイトバランスになるように自動的に調整するモードです。

光源の色温度が変化すると、ホワイトバランスを自動的に調整し直します。

PaintメニューのWhite SettingのATW Speed (77ページ) で、5段階の調整速度を選択できます。

アサインボタン (37ページ) にATW Hold機能を割り当てておくと、そのボタン

を押すことによって、ATWモードでも一時的にATWを停止させ、ホワイトバランスを固定することができます。

ご注意

- 照明や被写体の条件によっては、ATWを使用しても適切な色に調整できないことがあります。
例：
 - －空、海、地面、草花など単一色の被写体が大部分を占める場合
 - －色温度が非常に高い/非常に低い光源下の被写体ATWの自動追従の時間が遅い場合や、適切な効果が得られない場合は、オートホワイトバランスを実行してください。

スイッチで切り替える

WHT BALスイッチ[B]で選択します。

B: ATWモードまたはメモリー Bモード

A: メモリー Aモード

PRESET: プリセットモード

WHT BALスイッチのBの位置には、工場出荷時にATWモードが割り当てられています。PaintメニューのWhite SettingのWhite Switch (77ページ) で、メモリー Bモードを選択するように変更することができます。

フルオートモード (23ページ) をONにすると、強制的にATWモードになります。アサインボタン (37ページ) に、ATWのON/OFF機能を割り当てると、フルオートモードがOFFのときボタン操作でATWを単独でON/OFFすることができるようになります。

ダイレクトメニューで切り替える

DISPLAYボタン (10ページ) を押すと、選択されているモードと色温度が画面に表示されます (11ページ)。

ATW : ATWモード

W:A : メモリー Aモード

W:B : メモリー Bモード

W:P : プリセットモード

ダイレクトメニュー (34ページ) で、以下のように調整モードを変更することができます。

WHT BALスイッチがBのとき、ATWモード/メモリー Bモードを設定できます。

WHT BALスイッチがAのとき、ATWモード/メモリー Aモードを設定できます。WHT BALスイッチがPRESETのとき、ATWモード/プリセットモードを設定できます。ATWモード以外に設定した場合、ダイレクトメニューで色温度を設定できます。ダイレクトメニューで色温度表示部分を選ぶと、色温度を変更することができます。また、プリセットモードのときは、WB SETボタンを押すと色温度を設定する状態になります。

アサインボタンでプリセットモードを切り替える

アサインボタン (37ページ) にPreset White Selectを割り当てると、そのボタンを押すたびに、プリセットモードの値が3200K、4300K、5600K、6300Kの順に切り替わります。

オートホワイトバランスを実行する

- 1 調整値をメモリーに保存したい場合は、メモリー Aモードまたはメモリー Bモードを選択する。
- 2 被写体の照明光源と同じ条件のところに白い紙などを置き、ズームアップして画面に白を映す。
- 3 明るさを調整する。
「マニュアルアイリスで撮影する」(27ページ) に従って、アイリスを調整してください。
- 4 WB SETボタン[A]を押す。
メモリーモードで実行した場合は、調整値は手順1で選択したメモリー (AまたはB) に保存されます。
ATWモードで実行した場合は、調整が終わるとATWモードでのホワイトバランス調整に戻ります。

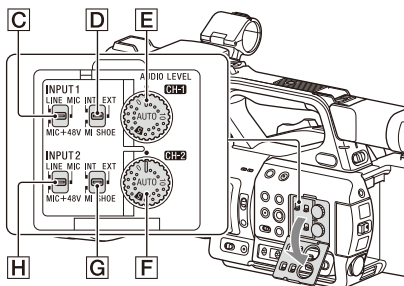
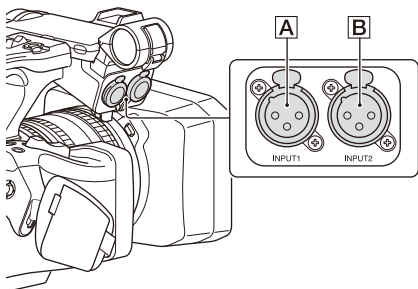
ご注意

- プリセットモードのときは、オートホワイトバランスは実行できません。
- 正常に終了しなかったときは画面にエラーメッセージが表示されます。繰り返し調整を試みて

もエラーメッセージが表示されるときは、ソニーのサービス担当者にご相談ください。

記録する音声を設定する

下図の端子やスイッチ、ダイヤルなどを使い、収録する音声を設定します。



外部音声の入力端子と切り替えスイッチ

AUDIO INPUT1端子 **A**

AUDIO INPUT2端子 **B**

INPUT1スイッチ **C**

INPUT2スイッチ **H**

音源の設定用スイッチ

CH1 (INT/EXT/MI SHOE)

スイッチ **D**

CH2 (INT/EXT/MI SHOE)

スイッチ **G**

録音レベルの設定用スイッチ

AUDIO LEVEL (CH1) ダイヤル **E**

AUDIO LEVEL (CH2) ダイヤル **F**

ブロックダイアグラム (114ページ) を合わせてご覧ください。

内蔵マイクを使う

本体内蔵マイクを用いて、音声を収録できます。

CH1、CH2 に記録する場合

CH1 (INT/EXT/MI SHOE) スイッチ **D** とCH2 (INT/EXT/MI SHOE) スイッチ **G**を「INT」にする。

CH3、CH4 に記録する場合

AudioメニューのAudio Input (82ページ) のCH3 Input SelectとCH4 Input Selectで、Internal MICを選択する。

外部音声機器を使う

ミキサーなどの外部音声機器を使用することができます。

CH1、CH2 に記録する場合

1 CH1 (INT/EXT/MI SHOE) スイッチ **D**とCH2 (INT/EXT/MI SHOE) スイッチ **G**を「EXT」にする。

AudioメニューのAudio InputのCH2 EXT Input SelectがINPUT2に設定されている場合は、AUDIO INPUT1/AUDIO INPUT2端子の音声がそれぞれCH1/CH2に記録されます。

CH2 EXT Input SelectをINPUT1に設定すると、AUDIO INPUT1端子の音声がCH1とCH2の両方に記録されます。

2 INPUT1/INPUT2スイッチ (**C**/**H**)を「LINE」にする。

3 AUDIO INPUT1/AUDIO INPUT2端子 (**A**/**B**) に外部音声機器を接続する。

CH3、CH4 に記録する場合

1 AudioメニューのAudio Input (82ページ) のCH3 Input SelectでINPUT1を選択し、CH4 Input SelectでINPUT2 (またはINPUT1) を選択する。

CH4 Input SelectでINPUT1を選択すると、AUDIO INPUT1端子の音声がCH3とCH4の両方に記録されます。

2 「CH1、CH2に記録する場合」の手順2、3を行う。

外部マイクを使う

エレクトレットコンデンサーマイクロホンなどを取り付けて使用することができます。

CH1、CH2に記録する場合

1 CH1 (INT/EXT/MI SHOE) スイッチ [D]とCH2 (INT/EXT/MI SHOE) スイッチ [G]を「EXT」にする。

AudioメニューのAudio InputのCH2 EXT Input SelectがINPUT2に設定されている場合は、AUDIO INPUT1/AUDIO INPUT2端子の音声がそれぞれCH1/CH2に記録されます。

CH2 EXT Input SelectをINPUT1に設定すると、AUDIO INPUT1端子の音声がCH1とCH2の両方に記録されます。

2 INPUT1/INPUT2スイッチ ([C]/[H])を切り替える。

MIC：電源供給不要のマイクの場合
MIC+48V：+48V電源供給を要するマイクの場合

ご注意

- MIC+48Vにしたままで+48V電源に対応していない機器を接続すると、接続した機器の故障の原因になります。接続前にご確認ください。
- 接続しない端子の雑音が気になるときは、INPUT1/INPUT2スイッチを「LINE」にしてください。

3 マイクホルダーの取っ手を引き上げてカバーを開ける。

4 マイクを取り付け、マイクホルダーのカバーを元どおり閉めてマイクを固定する。

5 AUDIO INPUT1/AUDIO INPUT2端子 ([A]/[B]) にマイクケーブルを接続する。

XLRプラグが2個付いているステレオマイクを使うときは、AUDIO INPUT1端

子にL (左) チャンネル、AUDIO INPUT2端子にR (右) チャンネルを接続してください。

CH3、CH4に記録する場合

1 AudioメニューのAudio Input (82ページ)のCH3 Input SelectでINPUT1を選択し、CH4 Input SelectでINPUT2 (またはINPUT1)を選択する。

CH4 Input SelectでINPUT1を選択すると、AUDIO INPUT1端子の音声がCH3とCH4の両方に記録されます。

2 「CH1、CH2に記録する場合」の手順2~5を行う。

マルチインターフェースシュー対応マイクを使う

CH1、CH2に記録する場合

1 CH1 (INT/EXT/MI SHOE) スイッチ [D]とCH2 (INT/EXT/MI SHOE) スイッチ [G]を「MI SHOE」にする。

2 マルチインターフェースシューにマイクを取り付ける。

CH3、CH4に記録する場合

1 AudioメニューのAudio Input (82ページ)のCH3 Input SelectでShoe CH1を選択し、CH4 Input SelectでShoe CH2を選択する。

2 マルチインターフェースシューにマイクを取り付ける。

ご注意

- FrontとRearのマルチインターフェースシューで同時に2つのマイクを使うことはできません。先に接続したマイクのみ有効になります。

録音レベルを調節する

CH1、CH2 の場合

自動で調節する (AGC) :

AUDIO LEVEL (CH1/CH2) ダイアル
(**[E]/[F]**) を「**AUTO**」の位置にする。

AudioメニューのAudio Input (82ページ) のCH1&2 AGC Modeで、レベル自動調節をCH1とCH2それぞれ単独に行う (Mono) か、CH1とCH2を連動させて行う (Stereo) かを設定できます。

手で調節する :

撮影中またはスタンバイ中に、調節するチャンネルの**AUDIO LEVEL (CH1/CH2) ダイアル** (**[E]/[F]**) を**0~10**の位置に回して、マイク音量を調節する。

CH3、CH4 の場合

自動で調節する (AGC) :

AudioメニューのAudio Input (82ページ) のCH3 Level Control/CH4 Level Controlで**Auto**を選択する。

AudioメニューのAudio Input (82ページ) のCH3&4 AGC Modeで、レベル自動調節をCH3とCH4それぞれ単独に行う (Mono) か、CH3とCH4を連動させて行う (Stereo) かを設定できます。

手で調節する :

- 1 AudioメニューのAudio Input (82ページ) のCH3 Level Control/CH4 Level Control**で**Manual**を選択する。
- 2 CH3 Input Level/CH4 Input Level**で、録音レベルを設定する

風切り音を低減するには、AudioメニューのAudio InputのCH Wind FilterをOnにしてください (82ページ)。

特殊記録モードでの音声記録

インターバルレックモード、スロー&クイックモーション撮影では、音声は記録されません。

手ぶれ補正

手ぶれ補正機能を有効にすると、撮影時の細かな動きによる画像のぶれを抑えることができます。

CameraメニューのSteadyShot (75ページ) のSettingで、**Active**または**Standard**に設定する。

Standard : 手ぶれによって生じる撮像映像のぶれを抑えます。

Active : Standardより強力な補正を行うことで、歩きながらの撮影など、より強い手ぶれを補正します。

Off : 手ぶれ補正モードをOFFにします。

アサインボタン (37ページ) にSteadyShot機能を割り当てておくと、そのボタンを押すたびに、Standard、Active、Offが切り替わります。

設定は、液晶画面/ビューファインダー画面に表示されます。

また、ダイレクトメニュー (34ページ) で、手ぶれ補正のStandard、Active、Offの切り替えができます。

ご注意

- 以下の場合はActiveに設定できません。
 - Video Formatが3840×2160のとき
 - スロー&クイックモーション記録時
- 三脚に載せて安定した状態で使用するときは、手ぶれ補正をOFFにしてください。

タイムデータ

タイムコードを設定する

記録されるタイムコードは、TC/UBメニュー (87ページ) のTimecodeで設定します。

ユーザービットを設定する

8桁の16進数をユーザービットとして記録映像に付加できます。ユーザービットを現在時刻に設定することも可能です。TC/UBメニューのUsers Bit（88ページ）で設定します。

タイムデータを表示する

DISPLAYボタンを押すと、画面にタイムデータが表示されます（11ページ）。表示は、DURATION/TC/U-BITボタン（10ページ）を押すたびに、タイムコード、ユーザービット、経過時間の順に切り替わります。

表示	内容
TCG **:**:**:**	タイムコード
CLK **:**:**:**	タイムコード（Clockモード）
UBG * * * * *	ユーザービット
DUR **:**:**:**	記録開始からの経過時間

便利な機能を使う

ダイレクトメニュー操作

液晶画面/ビューファインダー画面に表示される本機の状態や設定を、直接選択して変更することができます。

ダイレクトメニューは、アサインボタンに割り当てることによって使用できるようになります。

設定できる項目は、以下のとおりです。

- Auto Focus Mode
- Steady Shot
- ATW
- Preset White
- Color Temp.<A>|
- Scene File
- Auto ND Filter
- ND Filter Value
- Auto Iris
- Iris Value
- AGC
- Gain Value H/M/L/Turbo
- ECS
- Auto Shutter
- Shutter Speed Value
- Shutter Angle Value
- Auto Exposure Mode
- Auto Exposure Level
- S&Q Frame Rate

ご注意

- フルオートモード（23ページ）で強制的に自動モードになる機能は、FULL AUTOボタンのインジケータの点灯中はダイレクトメニュー操作できません。

1 ダイレクトメニューを割り当てたアサインボタンを押す。

DISPLAYボタンで液晶画面/ビューファインダー画面に情報を表示しているときは、表示項目のうち、ダイレクトメニュー操作のできる項目のいずれかにカーソルが表示されます。

液晶画面/ビューファインダー画面に情報を表示していないときは、ダイレク

トメニュー操作のできる項目のみ表示され、そのいずれかにカーソルが表示されます。

2 ▲/▼/◀/▶ボタンまたはSEL/SETダイヤルで操作したい項目にカーソルを合わせ、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

選択した項目のダイレクトメニューが表示されます。

3 ▲/▼ボタンまたはSEL/SETダイヤルで設定を選び、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

メニューが消えて、新しい設定が表示されます。

再びダイレクトメニューを割り当てたアサインボタンを押すか、何も操作しないで3秒経過すると、ダイレクトメニューが終了し、撮影画面に戻ります。

SystemメニューのMenu SettingのDirect Menu with <SET> (98ページ)をOnにすると、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押してダイレクトメニューを開始することができます。ただし、顔検出AFの登録顔機能が使用できなくなります。

顔検出AF

人物の顔を検出して、その顔にフォーカスを合わせることができます。

フォーカス調節がAFモードまたはプッシュオートフォーカス中のみ使用できます。

顔を検出すると灰色の顔検出枠が表示され、オートフォーカス可能と判断されると枠が白色になります。複数の人物を検出したときは、主な被写体は自動的に決定します。

CameraメニューのFocus (73ページ)で、顔検出AFの動作を設定する。

Face Only AF：【顔限定AF】カメラが被写体（人物）の顔を検出したとき、人の顔にフォーカスを合わせます。顔を検出しない間は、AFが一時停止し（MF）、顔限定AF中のAF一時停止アイコン(11

ページ)が表示されます。顔検出が安定しないときに有効なモードです。

Face Priority AF：【顔優先AF】カメラが被写体（人物）の顔を検出したとき、人の顔に優先的にフォーカスを合わせます。顔を検出しないときは、AFモードになります（初期設定）。

Off：顔検出AF機能を無効にします。

ご注意

- Face Only AFに設定しているときでも、プッシュオートフォーカス実行中は、Face Priority AFになります。
- 以下のときは、顔検出AFできません。
 - Full MFモード時
 - FocusスイッチがManualのとき（プッシュオートフォーカス実行中を除く）
 - 記録フォーマットがDVCAMのとき
- Face Only AFに設定した状態で本機の電源を切った場合、次に電源を入れると自動的にFace Priority AFになります。

顔検出枠を消す

顔検出枠の表示/非表示は、LCD/MFメニューのDisplay On/OffのFace Detection Frame (86ページ)で設定できます。

登録した顔にフォーカスを合わせる

顔検出AFの動作時、フォーカスを合わせたい被写体（人物）の顔を登録することができます。

登録できる顔は1つで、既に登録されている場合は、上書きされます。

顔を登録すると顔枠が二重枠になり、登録が完了すると登録顔ありアイコン(11ページ)が表示されます。

顔検出AFは、登録顔と顔検出AFの動作モードとの組み合わせによって、次のように動作します。

Face Priority AF時：【登録顔優先AF】登録顔を検出した場合、その顔にフォーカスを合わせます。登録顔が検出されない場合、通常のFace Priority AFとして動作します。

Face Only AF時：【登録顔限定AF】登録顔を検出した場合のみ、その顔にフォーカスを合わせます。登録顔が検出されない間は、AFが一時停止し（MF）、顔限定AF中のAF一時停止アイコン(11ページ)

ジ)が表示されます。登録した人へののみオートフォーカスしたいときに有効なモードです。

登録顔の設定

▲/▼/◀/▶ボタンで顔選択カーソル（オレンジ色の下線）を登録する顔に移動して、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

他の顔枠（灰色） 登録顔枠（白色二重）



顔選択カーソル（オレンジ）

登録顔の解除

▲/▼/◀/▶ボタンで登録顔枠に選択カーソルを移動して、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

登録顔が解除され、顔枠が一重枠となり、登録顔ありアイコンが消えます。

登録顔枠がない場合は、顔を検出し、顔選択カーソル（オレンジ）が表示された状態でSETボタンまたはSEL/SETダイヤルを2回押すことで、登録顔が解除されます。

ご注意

- 撮影環境や、被写体の状態、設定によっては、顔を検出できないことがあります。
- 撮影環境によっては、正しい効果が得られない場合や、人物以外を顔として検出する場合があります。この場合は、顔検出AF機能をOffに設定してください。
- 顔の登録は、実際に撮影する人物の顔を撮影直前に登録することをおすすめします。
- 顔の登録時に、髪型や装飾、正面を向いていないなどの理由により、登録が完了しないことがあります。その場合、顔枠は二重枠になりますが、登録顔アイコンは表示されません。
- 既に顔が登録されている場合は、一旦登録を解除してから登録することをおすすめします。
- SystemメニューのMenu SettingのDirect Menu with <SET> (98ページ)をOnにした場合は、登録顔機能は使用できません。

アサインボタンで顔検出AFの動作を切り替える

アサインボタン（37ページ）にFace Detection AFを割り当てると、そのボタンを押すたびに、顔検出AFの動作がFace Priority AF、Face Only AF、Offの順に切り替わります。

ダイレクトメニューで設定する

顔検出AFの動作は、ダイレクトメニュー（34ページ）でも切り替えることができます。

カラーバー / 基準音声信号

CameraメニューのColor Bars（75ページ）のSettingsをOnにすると、撮影中の映像に代えてカラーバーを出力することができます。Offにすると、映像に戻ります。

AudioメニューのAudio Input（82ページ）の1kHz Tone on Color BarsをOnにすると、カラーバーと同時に1kHzの基準音声信号が出力されます。

カラーバーと基準音声信号は、SDI OUT端子、HDMI OUT端子から出力されます。カラーバーの種類は、CameraメニューのColor BarsのTypeで設定できます。

ご注意

- スロー&クイックモーション撮影時は、カラーバーを出力することはできません。
- 記録中は、カラーバーには切り替わりません（カラーバーからカメラ画像への切り替えは可能です）。

レックレビュー

直前に記録したクリップの映像を画面で確認（レックレビュー）できます。

記録を停止したら、**Rec Review**を割り当てたアサインボタンを押す。

RecordingメニューのRec Review（89ページ）の設定に従って、クリップの最後の3秒、10秒、またはクリップの先頭から再生します。

クリップの終わりまで再生すると、レックレビューは終了し、STBY（記録待機）モードに戻ります。

レックレビューを中止するには

STOP/CAMボタンまたはRec Reviewを割り当てたアサインابلボタンを押す。

ご注意

- 記録後にビデオフォーマットを変更したときは、レックレビューはできません。
- レックレビュー中は、セットアップメニューは操作できません。

アサインابلボタン

本機には、機能を割り当てて使用できるアサインابلボタンが8個（6ページ）あります。

機能を変更する

SystemメニューのAssignable Button（96ページ）を使用します。

割り当てられた機能は、アサインابلボタンステータス画面（14ページ）で確認することができます。

お買い上げ時にアサインابلボタンに割り当てられている機能

ボタン1	Zebra
ボタン2	Peaking
ボタン3	Video Signal Monitor
ボタン4	Off
ボタン5	Off
ボタン6	Off
ボタン7	Direct Menu
ボタン8	Focus Magnifier

割り当てられる機能

各機能の内容については、96ページをご覧ください。

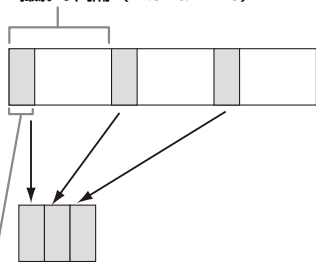
- Off
- Push AF/Push MF
- Face Detection AF
- Focus Macro
- Auto ND Filter
- Push Auto ND
- Push Auto Iris

- Turbo Gain
- AGC
- Shutter
- Auto Exposure Level
- Spotlight
- Backlight
- Flash Band Reduce
- Digital Extender x2
- Handle Zoom
- SteadyShot
- Color Bars
- Preset White Select
- ATW
- ATW Hold
- Marker
- Zebra
- Peaking
- Video Signal Monitor
- Focus Magnifier
- Lens Info
- LCD/VF Adjust
- VF Mode
- Gamma Display Assist
- Display
- Rec
- S&Q Motion
- Clip Continuous Rec
- Picture Cache Rec
- Proxy Rec Start/Stop
- Rec Review
- Last Clip Delete
- Thumbnail
- NFC
- Direct Menu
- User Menu
- Menu

インターバルレック

1回に記録するフレーム数（Number of Frames）と間隔時間（Interval Time）を設定し、間欠的に映像を自動記録できます。主に動きの少ない被写体を撮影するとき有効です。

撮影の間隔 (Interval Time)



1回に記録する画像フレーム数
(Number of Frames)

三脚などに本機を固定して、本体の録画ボタンの代わりにWebリモコンなどのリモコンのボタンで操作することをお勧めします。

ご注意

- インターバルレックモードでは、音声は記録できません。
- インターバルレックは、ピクチャーキャッシュレック、スロー&クイックモーション、クリップコンティニューアスレック、2スロット同時記録、プロキシー記録と同時にOnにすることはできません。インターバルレックをOnにすると、これらの機能は強制的にOffになります。

撮影前の設定

あらかじめRecordingメニューのInterval Rec (88ページ) で設定を行ってください。SettingをOnにすると、インターバルレックモードが有効になり、画面上に「Int Stby」が表示されます。

マルチインターフェースシュー対応のビデオライトを装着した場合、RecordingメニューのInterval RecのPre-Lightingを設定することで、記録開始よりも2秒前、5秒前、または10秒前にライトを自動的に点灯させることができます。

ご注意

- Pre-LightingがOnのときは、CameraメニューのVideo Light SetをRec LinkまたはRec Link + Stbyに設定していても、Interval Timeの設定により、ビデオライトの消灯時間が5秒以下になる場合は、ビデオライトは点灯したままとなります。

インターバルレックモードで撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

録画ボタンを押す。

記録を開始すると、画面上の「Int Stby」表示が「Int ●Rec」と「Int ●Stby」の交互表示に変わります。

ご注意

- インターバルレックモードで記録が行われている間は、Interval TimeおよびNumber of Framesの設定値は変更できません。変更する場合は、いったん記録を停止してください。
- インターバルレックモードで記録を開始すると、インターバル期間を含め、レックレビュー操作はできません。
- インターバルレックモードでは、タイムコードはRec Runモードで記録されます (87ページ)。
- インターバルレックモードで記録を停止したときや、記録停止中にスロットを切り換えたときは、余分なフレームが記録されることがあります。
- 本機の電源スイッチをSTANDBYにした場合、Interval RecのSettingは自動的にOffになります。ただしInterval TimeおよびNumber of Framesの設定値は保持されます。

クリップコンティニューアスレック

通常は記録開始、停止のたびに1つのクリップが独立したファイルとして生成されますが、クリップコンティニューアスレックモードを使用すると、記録と停止を繰り返しても、機能が停止または解除されるまで連続した1つのクリップを生成することができます。

短いクリップを数多く生成したくないとき、または記録できるクリップ数の上限を意識しないで記録したいときに便利な機能です。記録の開始点にはレックスタートマークが記録されるため、記録開始位置の検索も容易です。

クリップコンティニューアスレックに対応する記録フォーマットについては、「特殊記録の対応」(104ページ)をご覧ください。

撮影前の設定

あらかじめRecordingメニューのClip Continuous Rec (89ページ) で設定を行ってください。

SettingをOnにすると、クリップコンティニューアスレックモードが有効になり、画面上に「Cont Stby」が表示されます (11ページ)。

アサインボタンで設定する

アサインボタン (37ページ) にClip Continuous Recを割り当てると、そのボタンを押すたびに、クリップコンティニューアスレックモードのOn、Offが切り替わります。

ご注意

- クリップコンティニューアスレックは、インターバルレック、ピクチャーキャッシュレック、スロー&クイックモーション、2スロット同時記録と同時にONにすることはできません。クリップコンティニューアスレックをONにすると、これらの機能は強制的にOFFになります。
- 記録中はクリップコンティニューアスレックモードにできません。

クリップコンティニューアスレックで撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

録画ボタンを押す。

記録を開始すると、画面上の「Cont Stby」表示が「Cont ●Rec」(●は赤) 表示に変わります。

ご注意

- 記録中または記録待機中(「Cont Stby」表示が点灯した状態)にメモリーカードを取り出したり、バッテリーや電源を抜いたりすると、メモリーカードの修復が必要になります。クリップコンティニューアスレックモードを解除してからメモリーカードを取り出してください。なお、「Cont Stby」が点滅(1回/秒)しているときは、メモリーカードを取り出すことができます。
- 最低2秒間記録してから記録を停止してください。

撮影を終了するには、記録停止の操作を行います。

クリップコンティニューアスレックモードを解除するには

記録待機中に、RecordingメニューのClip Continuous Rec (89ページ) のSettingをOffにするか、Clip Continuous Recを割り当てたアサインボタンを押します。

動作制限

記録中または記録待機中に以下の操作を行うと、1つのつながったクリップが作成されません。次に記録を行うと、新たなクリップが生成されます。

- クリップ操作(クリップのロック、削除、または名前の変更)
- メモリーカードスロットの切り替え
- 記録フォーマットの変更
- 電源スイッチをSTANDBYにして電源を切る
- サムネイル画面を表示する
- クリップを再生する
- クリップコンティニューアスレックモードの解除

ピクチャーキャッシュレック

内蔵キャッシュメモリーに映像を常時蓄えておく(最大28秒間)ことによって、記録を開始したとき、開始の数秒前からの映像を記録することができます。

ピクチャーキャッシュレックモードは、記録フォーマット(95ページ)がXAVC-Lの場合に設定することができます。

ご注意

- ピクチャーキャッシュレックは、インターバルレック、クリップコンティニューアスレック、スロー&クイックモーション、2スロット同時記録、プロキシー記録と同時にOnにすることはできません。ピクチャーキャッシュレックをOnにすると、これらの機能は強制的にOffになります。
- 記録中、レックレビュー中は、ピクチャーキャッシュレックモードにできません。
- ピクチャーキャッシュレックがOnのときは、タイムコードはTC/UBメニューの設定に関わらず常にFree Runモードで記録されます(87ページ)。

撮影前の設定

あらかじめRecordingメニューのPicture Cache Rec（89ページ）で設定を行ってください。

SettingをOnにすると、ピクチャーキャッシュレックが有効になり、画面上に「Cache」が表示されます。

アサインボタンで設定する

アサインボタン（37ページ）にPicture Cache Recを割り当てると、そのボタンを押すたびに、ピクチャーキャッシュレックのOn、Offが切り替わります。

ピクチャーキャッシュレックで撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

録画ボタンを押す。

記録を開始すると、画面上の「Cache」表示が「●Rec」に変わります。

撮影を終了するには、記録停止の操作を行います。

ピクチャーキャッシュレックモードを解除するには

記録待機中に、RecordingメニューのPicture Cache RecのSettingをOffにするか、Picture Cache Recを割り当てたアサインボタンを押します。

ご注意

- 記録フォーマットが変更されると、それまで蓄えていた映像をクリアし、新たに蓄積を開始します。従って、変更直後に記録を開始しても、フォーマット変更前の映像はピクチャーキャッシュレックできません。
- メモリーカード挿入直後にピクチャーキャッシュレックの開始/終了操作を行った場合は、データがカードに記録されないことがあります。
- 画像の蓄積は、ピクチャーキャッシュレックモードをOnにしてから開始されます。したがって、Onにする前の映像はピクチャーキャッシュレックできません。
- 再生、レックレビュー、サムネイル画面表示など、メモリーカードにアクセスしている間は映像を蓄えないため、この間の映像はピクチャーキャッシュレックできません。

- マルチインターフェースシュー対応のビデオライトを装着した場合、CameraメニューのVideo Light SetをRec LinkまたはRec Link + Sbyに設定して記録を開始しても記録開始以前にさかのぼった記録には対応しません。録画ボタンを押した時点で点灯/消灯します。

スロー&クイックモーション

記録フォーマット（95ページ）が下記のいずれかに設定されているときは、記録時のフレームレートを再生時のフレームレートと異なる値に設定することができます。

記録フォーマット	システム周波数	S&Q フレームレート
XAVC-L	59.94/29.97	1~60fps
1080P	23.98/50/25	(1FPS単位)
XAVC-L	59.94/50	2160P

ご注意

- 記録中、再生中、サムネイル表示中は、スロー&クイックモーションモードにできません。
- スロー&クイックモーションは、インターバルレック、クリップコンティニュースレック、ピクチャーキャッシュレック、2スロット同時記録、プロキシー記録と同時にOnにすることはできません。スロー&クイックモーションをOnにすると、これらの機能は強制的にOffになります。
- スロー&クイックモーションモードでは、音声は記録できません。

撮影前の設定

あらかじめRecordingメニューのS&Q Motion（88ページ）で設定を行ってください。

SettingをOnにすると、スロー&クイックモーションモードが有効になり、画面上に「S&Q Sby」が表示されます。

ダイレクトメニューで撮影フレームレートを設定する

スロー&クイックモーションモードの撮影フレームレートは、ダイレクトメニュー（34ページ）で設定することができます。

アサインボタンで設定する

アサインボタン（37ページ）にS&Q Motionを割り当てると、そのボタンを押す

たびに、スロー&クイックモーションモードのOn、Offが切り替わります。
また、アサインボタンを長押しすると、撮影フレームレート設定画面が表示され、撮影フレームレートを設定することができます。

スロー&クイックモーションモードで撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

録画ボタンを押す。

記録を開始すると、画面上の「S&Q Stby」表示が「S&Q ●Rec」に変わります。

ご注意

- スロー&クイックモーション撮影中は、Frame Rateの設定は変更できません。変更する場合は、いったん記録を停止してください。
- スロー&クイックモーションモード撮影中は、レックレビュー操作はできません。
- スロー&クイックモーション撮影では、タイムコードはRec Runモードで記録されます（87ページ）。
- 遅いフレームレートで撮影していた場合は、録画ボタンを押してから記録が停止するまでに時間がかかる場合があります。

撮影を終了するには、記録停止の操作を行います。

スロー&クイックモーションモードを解除するには

記録待機中に、RecordingメニューのS&Q MotionのSettingをOffにするか、S&Q Motionを割り当てたアサインボタンを押します。

2スロット同時記録

メモリーカードAとメモリーカードBの両方のメモリーカードを使って同時記録が行えます。

撮影前の設定

あらかじめRecordingメニューのSimul Rec（89ページ）で、SettingをOnにします。

ご注意

- 2スロット同時記録は、インターバルレック、クリップコンテンツアスレック、ピクチャーキャッシュレック、スロー&クイックモーションと同時にONにすることはできません。2スロット同時記録をONにすると、これらの機能は強制的にOFFになります。

2スロット同時記録モードで撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

録画ボタンを押す。

ご注意

- 2スロット同時記録の際は、同じ種類、同じサイズのメモリーカードをご使用ください。
- 記録中、再生中、サムネイル表示中は、2スロット同時記録機能は設定できません。
- 記録中に一方のスロットのメディアがフルになった場合は、もう一方のスロットのメディアが記録可能であれば、通常記録として継続記録します。通常記録として継続記録中にメディアを交換しても、同時記録やリレー記録は行われません。
- 2スロット同時記録モードで記録を開始したとき、どちらか一方のスロットにのみメディアが挿入されていた場合やどちらか一方のメディアがフルになっていた場合は、記録可能なメディアにのみ記録を行います。

撮影を終了するには、記録停止の操作を行います。

2スロット同時記録モードを解除するには

記録待機中に、RecordingメニューのSimul RecのSettingをOffにします。

録画ボタン/ハンドル録画ボタンの設定を変える

グリップの録画ボタンとハンドル録画ボタンで、それぞれ別のメモリーカードの記録開始/終了をすることができます。

お買い上げ時は、どちらのボタンもメモリーカードAとメモリーカードBの両方に同時に記録するように設定されています。

- Rec Button: Handle Rec Button:

設定を変えるには

RecordingメニューのSimul RecのRec Button Setを選択する。

Rec Button Setの設定	ボタンとメモリーカード
Rec Button: <input type="text" value="A"/> <input type="text" value="B"/> Handle Rec Button: <input type="text" value="A"/> <input type="text" value="B"/>	どちらのボタンを押しても、メモリーカードAとメモリーカードBに同時に記録を開始/終了する。
Rec Button: <input type="text" value="A"/> Handle Rec Button: <input type="text" value="B"/>	録画ボタンを押したときはメモリーカードAに、ハンドル録画ボタンを押したときはメモリーカードBに、記録を開始/終了する。
Rec Button: <input type="text" value="B"/> Handle Rec Button: <input type="text" value="A"/>	録画ボタンを押したときはメモリーカードBに、ハンドル録画ボタンを押したときはメモリーカードAに、記録を開始/終了する。

ハイダイナミックレンジ (HDR) 撮影

ハイダイナミックレンジ (HDR) モードにすると、ダイナミックレンジを拡大し、BT.2020相当の色域で記録や出力を行うことができます。

ご注意

- DVCAMのファイルフォーマットには対応していません。

ハイダイナミックレンジモードを設定する

SystemメニューのBase Setting (95ページ)のShooting Modeで、HDRを選択すると、ハイダイナミックレンジモードに設定されます。

HLG 種類の設定

ハイダイナミックレンジモードを選択した場合、HLGの種類を設定することができます。

詳しくは、(76ページ)をご覧ください。

ガンマ表示アシスト機能の設定

本機のファインダーと液晶モニターはHDR対応ではないため、HDRとしての適切な表示にはなりません。これに対し、ガンマ表示アシスト機能を使用すると、撮影しやすさを考慮した表示にすることができます。ガンマ表示アシスト機能は、LCD/MFメニューのGamma Display Assist (85ページ)で設定を切り替えられます。

ご注意

- ガンマ表示アシスト機能は、液晶画面/ビューファインダー画面のみに適用されます。記録画像や出力画像には適用されません。

設定データの保存と呼び出し

セットアップメニューの設定内容を、本機の内蔵メモリー、またはUTILITY SD/MSスロットのSDカード、“メモリースティック”に保存することができます。このデータを使って適切なセットアップ状態をすばやく再現できます。

設定データは、次のように分類されて保存されます。

ユーザーファイル

カスタマイズしたUserメニューの設定項目と設定データを保存します。

SDカードまたは“メモリースティック”に64個まで保存することができます。

このファイルを本機のメモリーに読み込むことにより、Userメニューをカスタマイズした状態にセットアップすることができます。

ALL ファイル

全メニューの設定データを保存します。SDカードまたは“メモリースティック”に64個まで保存することができます。

ご注意

- 機器固有のデータ（機器ごとに調整が必要なシェーディングや出力レベルなど）は保存されません。

シーンファイル

撮影シーンに合わせて設定したペイント項目の設定値を保存します。本機の内蔵メモリーに5個、SDカードまたは“メモリース

ティック”に64個まで保存することができます。

設定データ保存に使用可能なメディア

SDXCメモリーカード*

SDHCメモリーカード*

SDメモリーカード*

“メモリースティックPRO-HGデュオ”**

“メモリースティックPROデュオ”**

* 本書ではSDカードと表現しています。

** 本書では“メモリースティック”と表現しています。

設定データは、メディアの下記ディレクトリに保存されます。

/PRIVATE/SONY/PRO/CAMERA/
PXW-Z190V/

メディアをフォーマット（初期化）する

本機で初めてSDカードや“メモリースティック”を使用するときは、フォーマットが必要です。

本機で使用するSDカードや“メモリースティック”は、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。SDカードや“メモリースティック”を装着したときに注意メッセージが表示された場合も、フォーマットして使用してください。

1 SDカードまたは“メモリースティック”を、ラベルを右にして**UTILITY SD/MS**スロット（8ページ）に差し込む。

2 **Media**メニューの**Format Media**（90ページ）の**Utility SD/MS**で**Execute**を選択する。確認メッセージが表示されたら、もう一度**Execute**を選択する。

実行中メッセージと進捗状況が表示され、アクセスランプが赤く点灯します。フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されますので、**SET**ボタンまたは**SEL/SET**ダイヤルを押して画面を消します。


ご注意

- SDカードや“メモリースティック”をフォーマットすると、すべてのデータが消去され、復元できません。

残容量を確認する

メディアステータス画面（14ページ）を表示させると、SDカードや“メモリースティック”の残量を確認することができます。

ご注意



- SDカードや“メモリースティック”がプロテクトされている場合は、マークが表示されます。
- 本機でフォーマットしたメディアを他の機器のスロットで使用する場合は、あらかじめバックアップを取り、お使いになる機器でフォーマットし直して使用してください。

ユーザーファイル、ALLファイルを保存する



1 SDカードまたは“メモリースティック”を、ラベルを右にして、**UTILITY SD/MS**スロット（8ページ）に差し込む。

2 ユーザーファイルの場合は、**File**メニュー（92ページ）の**User File**の**Save Utility SD/MS**で、**Execute**を選択する。

ALLファイルの場合は、**File**メニューの**All File**の**Save Utility SD/MS**で、**Execute**を選択する。
ファイルの保存先画面が表示されます。

3   ボタンまたは**SEL/SET**ダイヤルで保存先画面の**No File**の行を選択し、**SET**ボタンまたは**SEL/SET**ダイヤルを押す。

File IDが記載されている行を選択すると、そのファイルに上書きされます。File IDは自動的に付けられますが、変更することもできます。

4   ボタンまたは**SEL/SET**ダイヤルで確認画面の**Execute**を選択し、**SET**ボタンまたは**SEL/SET**ダイヤルを押す。

ユーザーファイル、ALLファイル呼び出す

- 1 ファイルを保存したSDカードまたは“メモリースティック”を、ラベルを右にして、UTILITY SD/MSスロット（8ページ）に差し込む。
- 2 ユーザーファイルの場合は、Fileメニュー（92ページ）のUser FileのLoad Utility SD/MSで、Executeを選択する。
ALLファイルの場合は、FileメニューのAll FileのLoad Utility SD/MSで、Executeを選択する。
ファイルの一覧画面が表示されます。
- 3 **⇧/⇩/⇧/⇩**ボタンまたはSEL/SETダイヤルで呼び出すファイルを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。
確認画面が表示されます。
- 4 **⇧/⇩/⇧/⇩**ボタンまたはSEL/SETダイヤルでExecuteを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

ご注意

- 設定データ呼び出すと、本機は自動的に再起動されます。
- FileメニューのAll FileのLoad Network DataがOffの場合は、Networkメニューの設定項目を除いたALLファイル呼び出します。

シーンファイルを保存する

内蔵メモリーに保存するには

- 1 Fileメニュー（92ページ）のScene FileのStore Internal Memoryで、Executeを選択する。
シーンファイル一覧画面が表示されます。
File IDがStandardの保存先にはあらかじめ標準設定が保存されています。
- 2 **⇧/⇩/⇧/⇩**ボタンまたはSEL/SETダイヤルで保存先を選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

選択した保存先にシーンファイルが上書き保存されます。

- 3 **⇧/⇩/⇧/⇩**ボタンまたはSEL/SETダイヤルで確認画面のExecuteを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

SDカードまたは“メモリースティック”に保存するには

- 1 SDカードまたは“メモリースティック”を、ラベルを右にして、UTILITY SD/MSスロット（8ページ）に差し込む。
- 2 Fileメニュー（92ページ）のScene FileのSave Utility SD/MSで、Executeを選択する。
シーンファイルの保存先画面が表示されます。
- 3 **⇧/⇩/⇧/⇩**ボタンまたはSEL/SETダイヤルで保存先画面のNo Fileの行を選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。
File IDが記載されている行を選択すると、そのファイルに上書きされます。
File IDは自動的に付けられますが、変更することもできます。
- 4 **⇧/⇩/⇧/⇩**ボタンまたはSEL/SETダイヤルで確認画面のExecuteを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

シーンファイルを呼び出す

内蔵メモリーから呼び出すには

- 1 Fileメニュー（92ページ）のScene FileのRecall Internal Memoryで、Executeを選択する。
シーンファイル一覧画面が表示されます。
- 2 **⇧/⇩/⇧/⇩**ボタンまたはSEL/SETダイヤルで呼び出すファイルを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

確認画面が表示されます。

- 3 ボタンまたはSEL/SETダイヤルでExecuteを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。シーンファイルは、ダイレクトメニュー（34ページ）で呼び出すこともできます。

SDカードまたは“メモリースティック”から呼び出すには

- 1 シーンファイルを保存したSDカードまたは“メモリースティック”を、ラベルを右にして、UTILITY SD/MSスロット（8ページ）に差し込む。
- 2 Fileメニュー（92ページ）のScene FileのLoad Utility SD/MSで、Executeを選択する。
シーンファイルの一覧画面が表示されます。
- 3 ボタンまたはSEL/SETダイヤルで呼び出すファイルを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。
確認画面が表示されます。
- 4 ボタンまたはSEL/SETダイヤルでExecuteを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

File IDを変更するには

- 1 ユーザーファイルの場合は、Fileメニュー（92ページ）のUser Fileで、File IDを選択する。
ALLファイルの場合は、Fileメニュー（92ページ）のAll Fileで、File IDを選択する。
シーンファイルの場合は、Fileメニュー（92ページ）のScene Fileで、File IDを選択する。
File IDの編集画面が表示されます。
- 2 ボタンまたはSEL/SETダイヤルで文字を選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

- 3 手順2を繰り返す。
- 4 文字の入力が終了したら、 ボタンまたはSEL/SETダイヤルでDoneを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

測位情報を取得する（GPS）

測位中に撮影した動画の位置情報や測位時刻が本機カードスロット内のメディアに記録され、SDI出力できます。

1. スタンバイ中にMENUボタンを押す。
2. SystemメニューのGPSをOnに設定する。
 が表示され、測位準備が行われます。測位できた場合、動画の撮影時に測位情報を記録します。

ご注意

- GPS衛星からの電波の受信状況によって画面に表示されるアイコンが変わります。

測位状況	画面表示	GPS受信状況
機能切	非表示	GPSがOffになっている、またはエラーが起きている。
測位困難	NO GPS SIGNAL	GPS信号を受信できないため、測位情報が取れない。空の開けた場所に移動してください。
衛星検索中		衛星を検索中です。測位中になるまで数分かかります。
測位中		弱いGPS信号を受信中。
		GPS信号を受信中。測位情報を取得できる。
		強いGPS信号を受信中。測位情報を取得できる。

- お買い上げ時はGPSがOnになっています。Onにすると、GPSの測位中に撮影した動画の位置情報や測位時刻が記録されます。測位情報を記録する場合は、GPSをOnにしてください。
- 電源を入れてから測位を始めるまで時間がかかることがあります。

- 数分待ってもアイコンが測位中にならないときは、受信困難な状態です。そのまま撮影を始めるか、空の開けた場所に移動してください。そのまま撮影すると測位情報は記録されません。
- 屋内や高い建物のそばでは電波をうまく受信できません。空の開けた場所に移動してください。
- 「測位中」になっても、電波の受信状況によりGPS情報の記録が途切れることがあります。

プロキシ記録をする

メモリーカードスロットのメモリーカードに記録すると同時に、UTILITY SD/MSスロットのSDカードにプロキシデータを記録することができます。

プロキシ記録に使用可能なSDカード

SDXCメモリーカード* (Speed Class : 4以上)

SDHCメモリーカード* (Speed Class : 4以上)

SDメモリーカード* (Speed Class : 4以上)

* 本書ではSDカードと表現しています。

SDカードをフォーマット（初期化）する

本機で初めてSDカードを使用するときは、フォーマットが必要です。

本機で使用するSDカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。SDカードを装着したときに注意メッセージが表示された場合も、フォーマットして使用してください。

1 SDカードを、ラベルを右にしてUTILITY SD/MSスロット（8ページ）に差し込む。

2 MediaメニューのFormat Media（90ページ）で、Utility SD/MSを指定し、Executeを選択する。確認メッセージが表示されたら、もう一度Executeを選択する。

実行中メッセージと進捗状況が表示され、アクセスランプが赤く点灯します。フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されますので、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押して画面を消します。


ご注意

- SDカードをフォーマットすると、すべてのデータが消去され、復元できません。
- SDXCカードはexFAT、SDHCカードはFAT32、SDカードはFATでフォーマットされます。

残容量を確認する

メディアステータス画面（14ページ）を表示させると、SDカードの残量を確認することができます。

ご注意

- SDカードがプロテクトされている場合は、マークが表示されます。

本機でフォーマットしたメディアを他の機器の-slotで使用するには

あらかじめバックアップを取り、お使いになる機器でフォーマットし直して使用してください。

プロキシ記録する

撮影前の設定

- 1 RecordingメニューのProxy Recで、SettingをOnにする。**
- 2 SDカードを、ラベルを右にしてUTILITY SD/MSスロット（8ページ）に差し込む。**

ご注意

- プロキシ記録は、インターバルレック、ピクチャーキャッシュレック、スロー&クイックモーションと同時にONにすることはできません。プロキシ記録をONにすると、これらの機能は強制的にOFFになります。

プロキシ記録で撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

録画ボタンを押す。

ご注意

- SDカードにアクセス中に本機の電源を切ったりSDカードを抜いた場合はデータは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、カード

- を抜くときは、必ず使用するSDカードのアクセスランプが消灯していることを確認してから操作してください。
- 出し入れ時にはSDカードの飛び出しにご注意ください。

撮影を終了するには、記録停止の操作を行います。

メモリーカードスロットのメモリーカードへの記録と同時に、プロキシデータの記録も停止します。

プロキシ記録時の設定を変更する

映像のサイズを設定する

RecordingメニューのProxy RecでProxy Formatを選択し、映像のサイズを設定する。

オーディオチャンネルを設定する

RecordingメニューのProxy RecのAudio Channelで、プロキシデータに記録するオーディオチャンネルを設定することができます。

記録されるファイルについて

拡張子は「.mp4」です。
タイムコードも同時に記録されます。

ファイルの保存先について

記録したファイルは、「/PRIVATE/PXROOT/Clip」のディレクトリに保存されます。

ファイル名について

メモリーカードスロットのメモリーカードに記録されるクリップ名+連番です。
2スロット同時記録のときは、Slot Aのクリップ名が優先されます。

- 連番は電源を切っても保存されます。All Resetを実行すると、0001に戻ります。
- ◆クリップ名については、MediaメニューのClip Naming（91ページ）をご覧ください。

プロキシーデータのみ記録する

メモリーカードスロットのメモリーカードへの記録を行わず、UTILITY SD/MSスロットのSDカードへのプロキシーデータの記録のみ単独で行うことができます。

記録されるプロキシーデータの記録フォーマットは、同時記録の場合と同じです。ただし、ファイル名は記録開始時のタイムコードが付けられます。

例：記録開始時のタイムコードが「14：30：20：05」の場合、ファイル名は「14_30_20_05.mp4」になります。

撮影前の設定

- 1 **アサインナブルボタン (37ページ) に Proxy Rec Start/Stopを割り当てる。**
- 2 **RecordingメニューのProxy Recで、SettingをOnにする。**
- 3 **SDカードを、ラベルを右にして UTILITY SD/MSスロット (8ページ) に差し込む。**

撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

Proxy Rec Start/Stopを割り当てたアサインナブルボタンを押す。

撮影を終了するには、アサインナブルボタンを押します。

デバイスとLAN接続する

本機の内蔵LAN機能を使用して、スマートフォンやタブレットなどのデバイスと本機をLAN接続することができます。

LAN接続されたデバイスと本機の間では、Webリモコン (54ページ) や「Content Browser Mobile」アプリケーションなどを用いて、以下の操作が可能です。

- LAN経由でのリモート操作
本機とLAN接続されたスマートフォンやタブレット、コンピューターから本機をリモート操作することができます。
- LAN経由での映像をモニタリング
本機のカメラ映像や再生映像からストリーム (H.264) を作成し、「Content Browser Mobile」アプリケーションを使ってデバイスから映像をモニタリングすることができます。

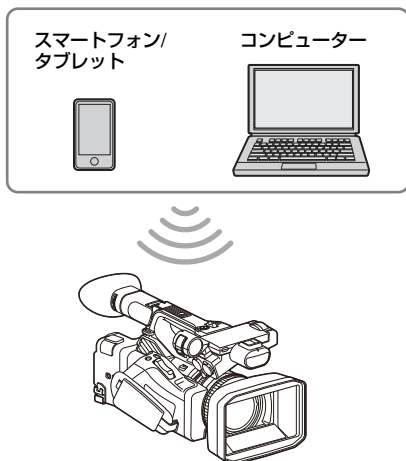
「Content Browser Mobile」アプリケーション

デバイスの画面で本機をモニタリングしながら、リモート操作や本機の設定をすることができるアプリケーションを用意しています。

- ◆「Content Browser Mobile」アプリケーションについては、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご確認ください。

ワイヤレスLANアクセスポイントモード（Access Pointモード）で接続する

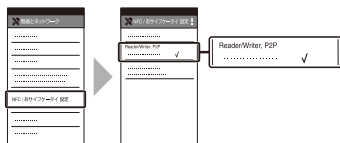
本機をアクセスポイントとしてデバイスとワイヤレスLAN 接続します。



NFC機能搭載のデバイスでワンタッチ接続する

デバイスがNFCをサポートしている場合には、NFCを利用したワンタッチ接続が可能です。

- 1 デバイスの「設定」を起動して「その他の設定」を選び、「NFC/おサイフケータイ設定」の「NFC R/W P2P」または「Reader/Writer, P2P」にチェックを入れる。



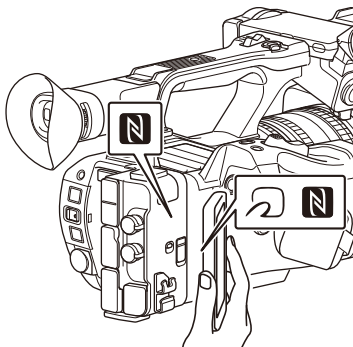
- 2 本機の電源を入れる。

- 3 NFC機能を有効にする。


NFCを割り当てたアサインボタンを長押し（3秒間）するか、NetworkメニューのWireless LANのNFCを実行して、NFC接続モードにしてください。画面に **N** が表示されているときのみNFC機能を使用できます。

- 4 本機とデバイスをタッチする。

デバイスが本機に接続され、「Content Browser Mobile」が起動します。



ご注意

- 一部の  が付いているデバイスはNFCに対応しています。詳しくはデバイスの取扱説明書でご確認ください。
- あらかじめデバイスのスリープおよび画面ロックを解除してください。
- デバイスで「Content Browser Mobile」が起動するまで（1～2秒）動かさずにタッチし続けてください。

WPS機能搭載のデバイスで接続する

デバイスがWPSをサポートしている場合には、WPSでの接続が可能です。

- 1 NetworkメニューのWireless LANのSettingで、Access Point Modeを選択する。
- 2 NetworkメニューのWireless LANのWPSを実行する。
- 3 デバイスのNetwork設定/Wi-Fi設定を開き、Wi-FiをOnにする。
- 4 Wi-Fi NetworkのSSID一覧から、本機のSSIDを選択し、詳細Optionを表示し、WPS Push Buttonを選択して接続する。

ご注意

- 使用する機器によっては、操作が異なる場合があります。
- 本機のSSIDおよびPasswordは、NetworkメニューのAP Mode Settings (93ページ) のCamera SSID & Passwordで表示してご確認ください。

- 5 Webリモコンを表示する (55ページ)。または、Content Browser Mobileアプリケーションで接続する。

デバイスでSSID、Passwordを入力して接続する

デバイス側でSSIDとPasswordを入力して接続します。

- 1 NetworkメニューのWireless LANのSettingで、Access Point Modeを選択する。
- 2 デバイスのNetwork設定/Wi-Fi設定を開き、Wi-FiをOnにする。
- 3 Wi-Fi NetworkのSSID一覧から、本機のSSIDを選択し、Passwordを入力して接続する。

本機のSSIDおよびPasswordは、NetworkメニューのAP Mode Settings (93ページ) のCamera SSID & Passwordでご確認ください。

ご注意

- 使用する機器によっては、操作が異なる場合があります。

- 4 Webリモコンを表示する (55ページ)。または、Content Browser Mobileアプリケーションで接続する。

ワイヤレスLANステーションモード (Stationモード) で接続する

本機をクライアントとして既存のワイヤレスLANのアクセスポイントに接続します。デバイスとはアクセスポイント経由で接続します。

接続したアクセスポイントの履歴は、過去10件まで記憶されます。

接続履歴はALLファイルに保存されますが、アクセスのパスワードは保存されないため、ALLファイルの呼び出し後の再接続の際にはパスワードの入力が必要となります。



WPS機能を使ってアクセスポイントに接続する

アクセスポイントがWPS機能対応の場合は、簡単な設定で接続することができます。

- 1 アクセスポイントの電源を入れる。

- 2 本機の電源を入れる。
- 3 NetworkメニューのWireless LANのSettingで、Station Modeを選択する。
- 4 NetworkメニューのWireless LANのWPSを実行する。
- 5 アクセスポイントのWPS ボタンを押す。
WPS ボタンの操作については、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
接続が完了すると、液晶画面/ビューファインダー画面のネットワーク状態表示のアイコンが強度1以上で点灯します。

ご注意

- 接続に失敗した場合は手順1からやり直してください。

- 6 デバイスをアクセスポイントに接続する。
接続のしかたについては、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 7 Webリモコンを表示する (55ページ)。または、Content Browser Mobileアプリケーションで接続する。

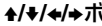
ネットワーク自動検出または手動でアクセスポイントに接続する

セットアップメニューから接続したいアクセスポイントに接続設定することができます。
このときネットワーク自動検出機能を使用して、接続したいアクセスポイントを検出し、接続設定することができます。

ネットワーク自動検出機能を使用して接続する

- 1 「WPS機能を使ってアクセスポイントに接続する」(50ページ)の手順1~3を行う。

- 2 NetworkメニューのST Mode SettingsのScan Networks (94ページ)で、Executeを選択する。
本機が接続先の検出を開始します。
接続先を見つけると、Scan Networksの結果リストが表示されます。

- 3  ボタンまたはSEL/SETダイヤルで接続先を選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押して決定する。
決定すると、ネットワーク(アクセスポイント)詳細設定画面が表示されます。SSIDには選択した接続先が表示されます。

- 4 Passwordを選択し、パスワード入力画面でパスワードを設定する。
ネットワーク自動検出する前に接続していた場合、そのときのSSIDを選択すると、パスワードが表示されます。
パスワードを設定したら、ネットワーク(アクセスポイント)詳細設定画面に戻ります。

- 5 以下の接続設定を行う。

- DHCP
DHCPを設定します。
Onにすると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てます。
手動で本機のIPアドレスを入力する場合は、Offにします。
- IP Address
本機のIPアドレスを入力します。
DHCPがOffのときに有効です。
- Subnet mask
本機のサブネットマスクを入力します。
DHCPがOffのときに有効です。
- Gateway
アクセスポイントのゲートウェイを入力します。
DHCPがOffのときに有効です。
- DNS Auto
DNS自動取得設定をします。
Onにすると、自動的にDNSサーバーのアドレスを取得します。DHCPがOnのときに有効です。

- Primary DNS Server
アクセスポイントのプライマリー DNSサーバーを入力します。DNS AutoがOffのときに有効です。
- Secondary DNS Server
アクセスポイントのセカンダリー DNSサーバーを入力します。DNS AutoがOffのときに有効です。

6 設定が完了したらConnectを選択し、アクセスポイントに接続する。

手動で入力して接続する

1 「WPS機能を使ってアクセスポイントに接続する」(50ページ)の手順1~3を行う。

2 NetworkメニューのST Mode SettingsのManual Register (94ページ)で、Executeを選択する。決定すると、ネットワーク(アクセスポイント)詳細設定画面が表示されません。

3 以下の接続設定を行う。

- SSID
接続先のアクセスポイントのSSIDを入力します。
- Security
暗号化方式を選択します。
- Password
接続先のアクセスポイントのパスワードを入力します。SecurityがNone以外のときに有効です。
- DHCP
DHCPを設定します。Onにすると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てます。手動で本機のIPアドレスを入力する場合は、Offにします。
- IP Address
本機のIPアドレスを入力します。DHCPがOffのときに有効です。
- Subnet mask
本機のサブネットマスクを入力します。DHCPがOffのときに有効です。

- Gateway
ゲートウェイのアドレスを入力します。DHCPがOffのときに有効です。
- DNS Auto
DNS自動取得設定をします。Onにすると、自動的にDNSサーバーのアドレスを取得します。DHCPがOnのときに有効です。
- Primary DNS Server
プライマリー DNSサーバーのアドレスを入力します。DNS AutoがOffのときに有効です。
- Secondary DNS Server
セカンダリー DNSサーバーのアドレスを入力します。DNS AutoがOffのときに有効です。

4 設定が完了したらConnectを選択し、アクセスポイントに接続する。

ネットワーク接続による対応機能一覧

ネットワーク機能とネットワーク接続モードの対応状況は以下のとおりです。

ネットワーク機能	ネットワーク接続モード		
	Access Point	Station	Off
モニタリング (48ページ)	○ ¹⁾	○ ¹⁾	×
本機のリモート操作 (54ページ)	○ ¹⁾	○ ¹⁾	×

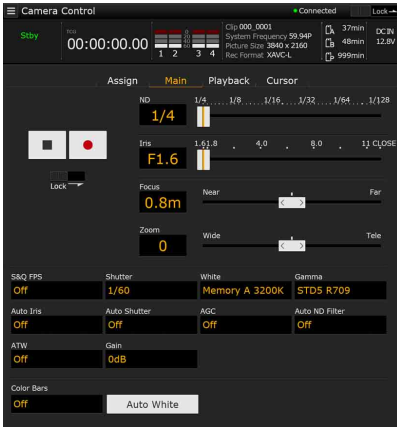
1) 本機とネットワーク接続したデバイスの機能に対応

Webリモコンを使用する

ネットワーク接続時は、タブレットやコンピュータから、本機に内蔵されたWebリモコンにアクセスすることができます。Webリモコンを使用すると遠隔から本機を操作できます。記録の開始/停止や撮影設定を遠隔操作で調整できるため、本機を離れた場所に固定する場合や、本機をクレーンに装着して使用する場合などに有効です。

Camera Control 画面

Main画面



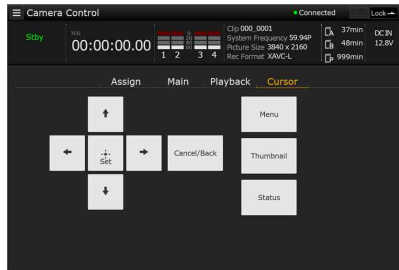
- ステータス表示
- 記録開始・停止ボタン
- NDスライダー
- Irisスライダー
- Focusスライダー
- Zoomスライダー
- 撮影設定表示
S&Q FPS、Shutter、White、Gamma、Auto Iris、Auto Shutter、AGC、Auto ND Filter、ATW、Gain、Color Bars、Auto White

Playback画面



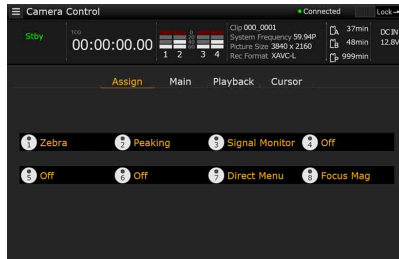
- ステータス表示
- 再生操作ボタン
F Rev、Play/Pause、F Fwd、Prev、Stop、Next

Cursor画面



- ステータス表示
- カーソル操作ボタン
Up、Left、Set、Right、Down、Cancel/Back、Menu、Status、Thumbnail

Assign画面



- ステータス表示
- アサインボタン表示
アサインボタン1~8

Webリモコンを表示する

1 本機とデバイスをネットワーク接続 (48ページ) する。

2 デバイスでブラウザを起動し、「http://本機のIPアドレス/rm.html」にアクセスする。

例：IPアドレスが「192.198.122.1」の場合、アドレスバーに「http://192.198.122.1/rm.html」と入力します。

本機のIPアドレスは、ネットワークステータス画面 (15ページ) で確認してください。

3 ブラウザー画面に、ユーザー名とパスワード (Networkメニュー → Access Authentication → User Name および Password) を入力する。

接続が完了すると、デバイスにWebリモコン画面が表示されます。

以降は、画面表示のとおり操作してください。

Lockつまみを右にスライドすると、ボタンの操作を禁止することができます。

ご注意

- 次の場合は、Webリモコン画面と本機の状態が一致なくなることがあります。その場合は、ブラウザの表示を更新してください。
 - 接続中に本機を再起動した場合
 - 接続中に本機を操作した場合
 - デバイスを再接続した場合
 - ブラウザーで進む/戻るを操作した場合
- 電波状態が著しく悪い場合、Webリモコンが機能しなくなることがあります。

Webリモコンの対応デバイスについて

本機の設定や操作には、タブレットまたはコンピューターを使用することができます。使用できるデバイス、OS、ブラウザは以下をご覧ください。

デバイス	OS	ブラウザ
タブレット	Android6/7	Chrome
	iOS11	Safari

デバイス	OS	ブラウザ
コンピューター	Windows 7/8.1/10	Chrome
	macOS	Safari
	10.12/10.13	

「Content Browser Mobile」アプリケーションの対応デバイスについては、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご確認ください。

サムネイル画面の構成

THUMBNAILボタン（10ページ）を押すと、メモリーカードに収録されているクリップが、サムネイル（縮小画）画面に表示されます。

サムネイル画面で選択したクリップから再生を開始することができます。再生画像は、液晶画面/ビューファインダー、外部ビデオモニターに表示できます。

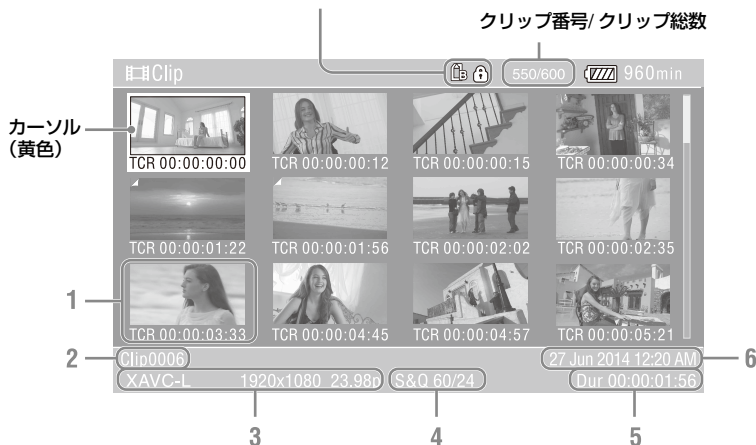
THUMBNAILボタンを押すと、サムネイル画面を終了し、撮影画面に戻ります。

ご注意

- サムネイル画面には、現在選択しているフォーマットで収録されたクリップのみが表示されます。収録したはずのクリップが表示されないときは、記録フォーマットをご確認ください。また、メディアのフォーマット（初期化）などを行う際にはご注意ください。

画面下部には、カーソル位置のクリップの情報が表示されます。

現在選択されているメモリーカードを表示
(プロテクトされている場合は右にロックマーク表示)



1. サムネイル（縮小画）

各クリップの代表画像です。記録時にクリップの先頭フレームが自動的に代表画に設定されます。

サムネイルの下にはクリップ/フレーム情報が表示されます。サムネイルメニューのCustomize View（61ページ）のThumbnail Captionで表示内容を変更できます。

2. クリップ名

選択されているクリップのクリップ名が表示されます。

3. 記録時のビデオフォーマット

選択したクリップのファイルフォーマットが表示されます。

4. 特殊記録撮影情報

特殊記録モードで記録されたクリップの場合のみ、そのモードが表示されます。スロー&クイックモーション記録されたクリップの場合は、右側にフレームレートが表示されます。

5. クリップの収録時間（Duration）

6. 作成日時

クリップの再生

記録したクリップを再生する

本機が記録停止中（Stby）のときは、記録したクリップを再生することができます。

- 1 再生するメモリーカードを入れる。
- 2 再生操作ボタンのPLAY/PAUSEボタンを押す。
- 3 PREVボタンまたはNEXTボタンを押して、再生したいクリップの頭出しをする。
- 4 PLAY/PAUSEボタンを押す。
ビューファインダー画面に再生画が表示されます。

再生操作は次のボタンで行います。

PLAY/PAUSEボタン：再生を一時停止します。もう一度押すと再生モードに戻ります。

F FWDボタン/F REVボタン：高速再生します。PLAY/PAUSEボタンを押すと標準再生に戻ります。

STOP/CAMボタン：再生を停止し、記録停止状態にします。

先頭のサムネイルを選択するには

F REVボタンを押したままPREVボタンを押します。

最終のサムネイルを選択するには

F FWDボタンを押したままNEXTボタンを押します。

選択したクリップ以降のクリップを連続再生する

- 1 **↕/↔/↔/↕**ボタンを押すか、またはSEL/SETダイヤルを回して、再生を開始したいクリップのサムネイルにカーソルを合わせる。

2 SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

選択したクリップの先頭から再生が始まります。

ご注意

- クリップとクリップの境界では、一時的に画像が乱れたり、静止画になる場合があります。またこの間は操作ができません。
- サムネイル画面でクリップを選択して再生を開始すると、クリップの先頭部分の再生映像が乱れる場合があります。クリップの先頭から乱れない映像で再生するには、一度再生モードにした後で一時停止にし、再生操作ボタンのPREVボタンを押してクリップの先頭に戻して再生を行ってください。

再生中の音声を聞く

標準再生モードでは、記録されている音声を内蔵スピーカーまたはヘッドホンでモニターできます。

ヘッドホン端子（9ページ）にヘッドホンをつなぐと、内蔵スピーカーはオフになります。

VOLUMEボタン（10ページ）を押して音量を調節します。

モニターするチャンネルは、AudioメニューのAudio Output（83ページ）で選択できます。

クリップ操作

クリップの保護や削除、詳細情報の確認などの操作には、Thumbnailメニューを使用します。

Thumbnailメニューの操作方法

Thumbnailメニューは、サムネイル画面の表示中のみ操作できます。

- 1 THUMBNAILボタンを押す。**
サムネイル画面が表示されます。
- 2 MENUボタンを押す。**
メニュー画面が表示されます。
- 3 ▲/▼/◀/▶ボタンまたはSEL/SETダイヤルでThumbnailを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。**

Thumbnailメニューを消すときは、もう一度MENUボタンを押します。

メニュー項目／細目は以下の操作で選択します。

▲/▼/◀/▶ボタンまたはSEL/SETダイヤルで項目／細目を選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

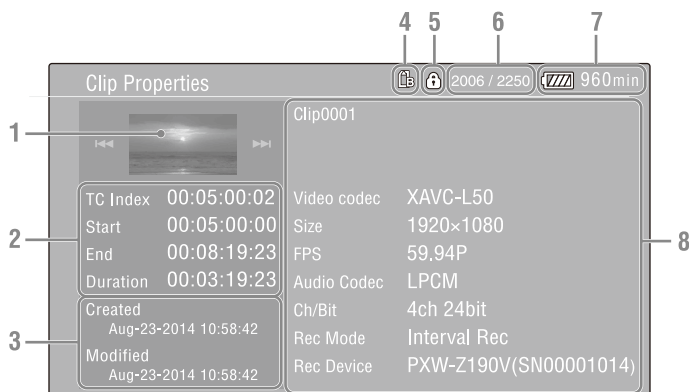
CANCEL/BACKボタン（9ページ）を押すと、操作前の画面に戻ります。

ご注意

- メモリーカードがプロテクトされているときは、操作できない項目があります。
- メニューを表示させたときの状態によって選択できない項目があります。

クリップの詳細情報を表示する

ThumbnailメニューでDisplay Clip Propertiesを選択します。



1. 現在のクリップの画像

2. タイムコード表示

TC Index：表示されている画像のタイムコード

Start：記録開始点のタイムコード

End：記録終了点のタイムコード

Duration：収録時間

3. 収録日時と変更日時

4. 現在選択されているメモリーカード

5. メディアプロテクトアイコン

6. クリップ番号/クリップ総数

7. バッテリーアイコン

8. クリップの情報

クリップ名

記録フォーマット

特殊記録撮影情報

収録機器名

クリップを保護する

特定のクリップまたはすべてのクリップを保護して、クリップを削除できない状態にすることができます。

保護されたクリップのサムネイルには🔒が付きます。

クリップの保護操作は、サムネイル画面で行います。

特定のクリップを保護する

- 1 **ThumbnailメニューのLock/Unlock Clipで、Select Clipを選択し、Executeを選択する。**
クリップの選択画面が表示されます。
- 2 **保護するクリップを選択する。**
選択したクリップにチェックマークが付きます。
- 3 **MENUボタンを押す。**
確認画面が表示されます。
- 4 **Executeを選択する。**
クリップが保護され、完了メッセージが表示されます。
- 5 **SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押してメッセージを消す。**

すべてのクリップを保護する

- 1 **ThumbnailメニューのLock/Unlock Clipで、Lock All Clipsを選択する。**
確認画面が表示されます。
- 2 **Executeを選択する。**
すべてのクリップが保護され、完了メッセージが表示されます。
- 3 **SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押してメッセージを消す。**

すべてのクリップの保護を解除する

- 1 **ThumbnailメニューのLock/Unlock Clipで、Unlock All Clipsを選択する。**

確認画面が表示されます。

- 2 **Executeを選択する。**
すべてのクリップの保護が解除され、完了メッセージが表示されます。
- 3 **SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押してメッセージを消す。**

クリップをコピーする

クリップを別のメモリーカードにコピーすることができます。

コピー先のメモリーカードには同じクリップ名でコピーされます。

ご注意

- コピー先のメモリーカードに同名のクリップが存在している場合は、オリジナルのクリップ名に括弧数字を付加したクリップ名でコピーされます。
- 括弧数字は、コピー先に存在しない最小値になります。
例： ABCD0002 → ABCD0002(1)
 ABCD0002(1) → ABCD0002(2)
 ABCD0005(3) → ABCD0005(4)
- コピー回数が1000回を超えた場合など、括弧数字(1)~(999)がすでに存在するカードにはそれ以上コピーできません。
- コピー先のメモリーカードの残量が不足しているときはメッセージが表示されますので、コピー先のメモリーカードを交換してください。
- 複数のクリップが記録されたメモリーカードをコピーする場合は、容量が同じメモリーカードであっても、使用条件やメモリーの特性などにより、すべてのクリップをコピーできない場合があります。

特定のクリップをコピーする

- 1 **ThumbnailメニューのCopy Clipで、Select Clipを選択し、Executeを選択する。**
クリップの選択画面が表示されます。
- 2 **コピーするクリップを選択する。**
選択したクリップにチェックマークが付きます。
- 3 **MENUボタンを押す。**
確認画面が表示されます。
- 4 **Executeを選択する。**

クリップがコピーされ、完了メッセージが表示されます。

- 5 **SETボタンまたはSEL/SETダイヤル**を押してメッセージを消す。

クリップを一括コピーする

同じメモリーカードに記録されているクリップを、別のメモリーカードにまとめてコピーすることができます。

- 1 **ThumbnailメニューのCopy Clip**で、**All Clips**を選択する。
確認画面が表示されます。
- 2 **Execute**を選択する。
すべてのクリップがコピーされ、完了メッセージが表示されます。
- 3 **SETボタンまたはSEL/SETダイヤル**を押してメッセージを消す。

クリップを削除する

メモリーカードからクリップを削除することができます。

ご注意

- 保護されているクリップは削除できません。削除したいときは、保護を解除してください。

特定のクリップを削除する

- 1 **ThumbnailメニューのDelete Clip**で、**Select Clip**を選択し、**Execute**を選択する。
クリップの選択画面が表示されます。
- 2 **削除するクリップ**を選択する。
選択したクリップにチェックマークが付きます。
- 3 **MENUボタン**を押す。
確認画面が表示されます。
- 4 **Execute**を選択する。
クリップが削除され、完了メッセージが表示されます。
- 5 **SETボタンまたはSEL/SETダイヤル**を押してメッセージを消す。

クリップを一括削除する

- 1 **ThumbnailメニューのDelete Clip**で、**All Clips**を選択する。
確認画面が表示されます。
- 2 **Execute**を選択する。
すべてのクリップが削除され、完了メッセージが表示されます。
- 3 **SETボタンまたはSEL/SETダイヤル**を押してメッセージを消す。

エッセンスマークサムネイル画面でクリップ（フレーム）を絞り込む

クリップにレックススタートマークが記録されている場合に、レックススタートマークの付加されているフレームだけをサムネイル形式で表示することができます。この画面をエッセンスマークサムネイル画面と呼びます。

ThumbnailメニューのThumbnail Viewの**Essence Mark Thumbnail**で、**絞り込み対象のエッセンスマーク**を選択する。

All：エッセンスマークが付いたすべてのフレームが対象

Rec Start：レックススタートマークがついているフレームおよび先頭フレームにレックススタートマークが付いていないクリップの先頭フレームが対象

選択したエッセンスマークで絞り込まれたエッセンスマークサムネイル画面が表示されます。

サムネイル画面の情報を変更する

サムネイルの下に表示されるクリップ/フレーム情報を変更します。

**ThumbnailメニューのCustomize View
のThumbnail Captionで、表示したい内
容を選択する。**

Date Time：作成日時または最終変更日時

Time Code：タイムコード

Duration：収録時間

Sequential Number：サムネイル番号

外部モニターや記録装置を接続する

記録・再生画像を外部モニターに表示させるときは、本機の出力信号を選択し、接続するモニターに応じた接続ケーブルを使用してください。

VTRなどの記録装置を接続して、本機の出力信号を記録することもできます。

外部モニターにビューファインダーと同様の各種ステータス情報やメニューなどを表示させることができます。モニターに出力する信号に応じて、VideoメニューのOutput Display (83ページ) をOnに設定してください。

SDI OUT端子 (BNC型)

Videoメニュー (83ページ) で、出力のON/OFFや出力フォーマットを設定します。

接続には市販の75Ω同軸ケーブルを使用してください。

ご注意

- 本機と外部機器の間のアースが確実に接地されていることを確認してから、電源を入れてください。
(75Ω同軸ケーブルを接続した後に、本機と外部機器の電源を入れることをお勧めします。) やむを得ず、電源投入状態で外部機器を接続する場合は、75Ω同軸ケーブルを外部機器に接続した後に、本機と接続してください。

本機と同時に外部機器で記録を開始するには

SDI信号出力時は、VideoメニューのSDI/HDMI Rec Control (83ページ) のSettingをOnに設定すると、SDI OUT端子に接続した外部機器にRECトリガー信号を出力することによって、本機と同期した記録が可能になります。

ご注意

- 接続した外部機器がRECトリガー信号に対応していない場合は動作しません。

HDMI OUT端子 (Type Aコネクター)

Videoメニュー (83ページ) で、出力のON/OFFや出力フォーマットを設定します。

接続には、市販のハイスピードHDMIケーブルを使用します。

マルチ/マイクロUSB端子

AVケーブルVMC-15MR2 (別売) を使用して、2チャンネルの音声信号を出力することができます。

パソコンでクリップを管理・編集する

USBケーブルを使って接続する

本機とコンピューターを付属のUSBケーブルで接続すると、スロットに装着されたメモリーカードがコンピューターの拡張ドライブとして認識されます。

本機の場合、2枚のメモリーカードが挿入されているときは、コンピューターでは2つのドライブとして認識されます。

ご注意


- 本機はコンピューターからのバスパワーでは動作しません。それぞれ電源を用意してください。
- 本機が以下の状態のときは、拡張ドライブとして認識されません。
 - 記録中（特殊記録を含む）
 - 再生中（高速再生中、一時停止中も含む）
 - サムネイル画面表示中
 - メディア初期化中
 - メモリーカードの修復および管理ファイル更新の実行中、実行前確認中

1 本機のマルチ/マイクロUSB端子とコンピューターをUSBケーブルで接続する。

2 本機の電源スイッチをONにする。
液晶画面/ビューファインダー画面にUSBの接続を有効にするかどうかを確認するメッセージが表示されます。

ご注意

- 確認メッセージが消えた場合は、再度USBケーブルを抜き差ししてください。なお、記録/再生/サムネイル画面表示中は確認メッセージは表示されません。

3  ボタンまたはSEL/SETダイヤルでExecuteを選択する。

4 Windowsの場合、「マイコンピュータ」にリムーバブルディスクとして追加されていることを確認する。

Macintoshの場合、デスクトップにNO NAMEまたはUntitledフォルダ

(フォルダ名は任意に変更可) が作成されていることを確認する。

ご注意

- アクセスランプが赤く点灯しているときは、次の操作をしないでください。
 - 電源を切る。電源コードを抜く。
 - メモリーカードを抜く。
 - USBケーブルを抜く。
- Macintoshの場合、メモリーカードを取り外すときは、メニューバーに表示されているメモリーカードのアイコンから「カード電源切」を選択しないでください。
- すべてのパソコンについて、動作を保証するものではありません。

アプリケーションソフトウェアを使う

コンピューターのローカルディスクにクリップをコピーする場合などは、専用のアプリケーションソフトウェアをダウンロードし、インストールして使用します。ソフトウェアのダウンロードについては、「ソフトウェアのダウンロードについて」（120ページ）をご覧ください。

記録した素材は、情報が複数のファイル、複数のフォルダーにまたがって置かれていますが、専用アプリケーションソフトウェアでは、これらの情報やディレクトリー構造を、ユーザーが意識することなく、容易に扱えるようになっています。

ご注意

- Explorer (Windows環境) やFinder (Mac環境) を使用して、メモリーカード内のクリップのコピーなどを行うと、クリップが持つ情報を保持できなくなることがあります。

ノンリニア編集システムを使う

ノンリニア編集システムには、本機で記録したフォーマットに対応した編集ソフトウェア（別売）が必要です。

専用アプリケーションソフトウェアを使って、あらかじめパソコンのHDDに編集したいクリップを保存しておきます。

外付けHDD／USBメディアを接続する

本機のUSB3.0 (HOST) 端子に外付けHDDやUSBメディアを接続すると、メモリーカードスロットに挿入されている記録メディアのクリップを、外付けHDDやUSBメディアにコピーすることができます。

クリップをUSBメディアにコピーする

- 1 MediaメニューのUSBのSelect Folder (91ページ) を選択する。**
 - 2 フォルダーの一覧からクリップのコピー先フォルダーを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。**

画面のNewを選択して、新しいフォルダーを任意に作成することもできます。
- ご注意**
- フォルダーを指定しない場合は、コピーするクリップの先頭クリップの撮影日時をフォルダー名とするフォルダーが自動的に作成され、クリップはそのフォルダーにコピーされます。
- 3 MediaメニューのUSBのCopy to USB (91ページ) で、コピー対象の記録メディアが挿入されているメモリーカードスロットを選択する。**

Media(A) to USB : スロットAに挿入されている記録メディアのすべてのクリップをUSBメディアにコピーする。

Media(B) to USB : スロットBに挿入されている記録メディアのすべてのクリップをUSBメディアにコピーする。

Media(A)(B) to USB : スロットA、およびスロットBに挿入されている記録メディアのすべてのクリップをUSBメディアにコピーする。

ご注意

- 手順2でコピー先フォルダーを指定して、Media(A)(B) to USBを選択した場合、スロットAのクリップは、指定先のフォルダーにコピーされます。スロットBのクリップは、クリップの先頭クリップの撮影日時をフォルダー名として自動的に作成されるフォルダーにコピーされます。

- 4** **↵/↶/↷ボタンまたはSEL/SETダイヤルでExecuteを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。**

対象の記録メディアのクリップがすべてUSBメディアにコピーされます。

ご注意

- コピーするクリップと同じファイル名のクリップがコピー先フォルダーに既に存在する場合、そのクリップはコピーされません。

外付けHDD／USBメディア内のクリップを一覧表示する

MediaメニューのUSBのView Clip List (91ページ) で、外付けHDD／USBメディア内のクリップを一覧表示することができます。

外付けHDD／USBメディア内のフォルダー名を変更する

- 1 MediaメニューのUSBのRename Folder (91ページ) を選択する。**
- 2 フォルダーの一覧からフォルダー名を変更するフォルダーを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。**

ファイル名の入力画面が表示されます。
- 3 フォルダー名を入力し、Doneを選択する。**

フォルダー名が変更されます。

コピーのリードチェックエラーを行う

MediaメニューのUSBのError Check (91ページ) をOnにすると、クリップの書き込み後、リードチェックエラーを行うことができます。

外付けHDD／USBメディアを初期化する

- 1 **MediaメニューのUSBのFormat USB（91ページ）を選択する。**
- 2 **↕/↔/↔/↔ボタンまたはSEL/SETダイヤルでExecuteを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。**
初期化（フォーマット）が開始されま
す。
- 3 **初期化完了のメッセージが表示され
たら、OKを選択する。**

外付けHDD／USBメディアの空き容量を確認する

外付けHDD／USBメディアの空き容量は、MediaメニューのUSBを選択したときに表示される画面のMedia Remainの行に、GB単位で表示されます。

外付けHDD／USBメディアへの電源供給について

USB3.0（HOST）端子から外付けHDD／USBメディアへの電源供給は、MediaメニューのUSBのメニュー操作を行うと自動的に開始されます。

ただし、以下の表に示す状態のときは、MediaメニューのUSBのメニュー操作を行っても、電源供給は開始されません。電源供給を開始するには、表に示す対策を行ってください。

状態	対策
クリップ記録中、再生中、サムネイル表示中、プロキシ記録中、メディアの初期化・修復・管理 ファイル更新実行中、本機ソフトウェアのバージョンアップ中、本機のリセット中、ネットワーク設定のリセット中、コンピューターとの接続中、確認画面表示中	左記操作を終了する。
電源電圧不足	バッテリーを交換する。 入力電源を差し替える。

ご注意

- 外付けHDDやUSBメディアのクリップを、メモリーカードスロットに挿入されている記録メディアにコピーすることはできません。
- USB3.0（HOST）端子への電源供給中は、クリップ記録はできません。クリップ記録を開始する場合は、MediaメニューのUSBのメニュー操作を終了してください。

セットアップメニューの構成と階層

MENUボタンを押すと、撮影や再生に必要な各種設定を行うセットアップメニューが液晶画面/ビューファインダー画面に表示されます（外部ビデオモニターに表示させることもできます）。下記のメニューから選択して設定します。

- Userメニュー**：任意の設定を集めたメニュー（Edit User Menuで編集可能）
- Edit Userメニュー**：Userメニューの編集用メニュー
- Cameraメニュー**：撮影に関する設定
- Paintメニュー**：画質に関する設定
- Audioメニュー**：音声に関する設定
- Videoメニュー**：映像出力に関する設定
- LCD/VFメニュー**：液晶画面とビューファインダー表示に関する設定
- TC/UBメニュー**：タイムコードとユーザービットに関する設定
- Recordingメニュー**：録画に関する設定
- Thumbnailメニュー**：サムネイル表示に関する設定
- Mediaメニュー**：メディアに関する設定
- Fileメニュー**：ファイルに関する設定
- Networkメニュー**：ネットワークに関する設定
- Systemメニュー**：システムに関する設定

セットアップメニューの階層

MENU

- User
 - Base Setting
 - Rec Format
 - S&Q Motion
 - Picture Cache Rec
 - Simul Rec
 - Proxy Rec
 - Output Format
 - Assignable Button
 - Delete Clip
 - Wireless LAN
 - Format Media
 - Menu Settings
 - Edit User Menu

- Edit User Menu
 - Add Item
 - Customize Reset
- Camera
 - Focus
 - ND Filter
 - Gain
 - Shutter
 - Auto Exposure
 - Color Bars
 - Flicker Reduce
 - Flash Band Reduce
 - SteadyShot
 - Handle Zoom
 - Speed Zoom
 - Auto Black Balance
 - Video Light Set
- Paint
 - HDR Paint Setting
 - White
 - White Setting
 - Offset White
 - Black
 - Gamma
 - Knee
 - White Clip
 - Detail(QFHD)
 - Detail(HD)
 - Detail(SD)
 - Skin Detail
 - Aperture
 - Matrix
 - Maintenance
- Audio
 - Audio Input
 - Audio Output
- Video
 - Output On/Off
 - Output Format
 - Output Display
 - SDI/HDMI Rec Control
 - Down Converter
- LCD/VF
 - LCD Setting
 - VF Setting
 - Peaking
 - Marker

	<ul style="list-style-type: none"> — Zebra — Gamma Display Assist — Display On/Off
TC/UB	<ul style="list-style-type: none"> — Timecode — Users Bit — HDMI TC Out
Recording	<ul style="list-style-type: none"> — S&Q Motion — Interval Rec — Picture Cache Rec — Clip Continuous Rec — Simul Rec — Proxy Rec — Rec Review
Thumbnail	<ul style="list-style-type: none"> — Display Clip Properties — Lock/Unlock Clip — Delete Clip — Copy Clip — Thumbnail View — Customize View
Media	<ul style="list-style-type: none"> — Update Media — Format Media — USB — Clip Naming
File	<ul style="list-style-type: none"> — User File — All File — Scene File
Network	<ul style="list-style-type: none"> — Access Authentication — Wireless LAN — AP Mode Settings — ST Mode Settings — Network Reset
System	<ul style="list-style-type: none"> — Base Setting — Rec Format — Assignable Button — Tally — Language — Clock Set — Hours Meter — GPS — Battery Alarm — DC Voltage Alarm — Menu Settings — Fan Control — All Reset — Version

セットアップメニュー の操作方法

MENUボタンを押すと、撮影や再生に必要な各種設定を行うセットアップメニューが液晶画面/ビューファインダー画面に表示されます（外部ビデオモニターに表示させることもできます）。

メニュー操作部

MENU ボタン (9 ページ)

セットアップメニューを操作するメニューモードをON/OFFします。

SEL/SET ダイアル (9 ページ)

回すとカーソルが上下に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。SEL/SETダイアルを押すと、選択している項目を決定します。

CANCEL/BACK ボタン (9 ページ)

一つ前の階層に戻ります。確定前の変更はキャンセルされます。

▲/▼/◀/▶/SET ボタン

▲/▼/◀/▶/ボタンを押すと、カーソルが上下左右に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。SETボタンを押すと、選択している項目を決定します。

ご注意

- ピント拡大画面（26ページ）になっていると、セットアップメニューは操作できません。

メニューを設定する

▲/▼/◀/▶/ボタンを押すか、またはSEL/SETダイアルを回して設定したい項目にカーソルを合わせ、SETボタンまたはSEL/SETダイアルを押して決定します。

- 選択項目が表示される選択肢エリアは最大9行表示です。選択肢が1度に表示できない場合は、カーソルを上下に移動すると表示がスクロールします。

- 選択肢の範囲が大きい項目の場合（例：-99～+99）は、選択肢エリアは表示されません。文字がハイライト表示になり設定変更が可能な状態であることを示します。
- 実行項目でExecuteを選択した場合は、対応する機能が実行されます。
- 実行前に確認が必要な項目を選択すると、いったんメニューが消え、確認メッセージが表示されます。メッセージに従って、実行するかキャンセルするかを選択してください。

文字列を入力する

ファイル名など、文字列を設定する項目を選択した場合は、文字列の入力画面が表示されます。



1 SEL/SETダイヤルを回して入力したい文字タイプを選択し、決定する。

ABC：英大文字
abc：英小文字
123：数字
!#\$：特殊文字

2 選んだ文字タイプから文字を選択し、決定する。

カーソルが次の欄に移動します。
Space：カーソルの位置にスペースを入力します。
◀/▶：カーソル位置を移動します。
BS：カーソルの左の文字を削除します。

3 入力が終わったら、Doneを選択し、決定する。

文字列を確定して、入力画面が消えます。

メニューのロックと解除

セットアップメニューの表示をロックして、Userメニューだけを表示させることができます。

メニューをロックする

- 1 SEL/SETダイヤルを押しながらMENUボタンを押す。
- 2 SystemメニューのMenu settingsのUser Menu with Lockを選択する。

ご注意

- MENUボタンのみを押して通常のセットアップメニューを表示した場合、SystemメニューのMenu settingsにはUser Menu Onlyが表示されますが、SEL/SETダイヤルを押しながらMENUボタンを押すと、User Menu with Lockが表示されます。

3 Onを選択してSETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

液晶画面/ビューファインダー画面の表示が、暗証番号入力画面に切り替わります。

4 任意の番号を入力する。

0000～9999の4桁の数値が入力できません。初期値は0000となっています。数値を入力し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押すと、カーソルが次の桁に移動します。すべての桁を入力したら、カーソルがSETに移動します。

5 SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

入力が確定します。設定が完了したメッセージが表示され、Userメニュー表示に切り替わります。

ご注意

- 下表のセットアップメニューのメニュー項目をUserメニューに登録せずにメニューをロックした場合、同機能をアサイン可能なボタンに設定することはできません。
- 下表の機能をアサイン可能なボタンにアサインしていた場合は、メニューをロックした時点でアサイン可能な設定が強制的にOffになります。

セットアップメニューのメニュー項目	アサインナブルボタンの選択肢
Camera>Focus>Face Detection AF	Face Detection AF
Camera>Focus>Focus Macro	Focus Macro
Camera>Gain>Gain <Turbo>	Turbo Gain
Camera>Auto Exposure>Level	Auto Exposure Level
Camera>Auto Exposure>Mode	Spotlight
Camera>Auto Exposure>Mode	Backlight
Camera>Auto Exposure>Auto ND Filter	Auto ND Filter
Camera>Auto Exposure>AGC	AGC
Camera>Auto Exposure>Auto Shutter	Shutter
Camera>Color Bars>Setting	Color Bars
Camera>Flash Band Reduce>Setting	Flash Band Reduce
Camera>SteadyShot>Setting	SteadyShot
Camera>Handle Zoom>Setting	Handle Zoom
Paint>White>Preset White	Preset White Select
LCD/VF>VF Setting>Color Mode	VF Mode
LCD/VF>Peaking>Setting	Peaking
LCD/VF>Marker>Setting	Marker
LCD/VF>Zebra>Setting	Zebra
LCD/VF>Gamma Display Assist>Setting	Gamma Display Assist
LCD/VF>Display On/Off>Lens Info	Lens Info
LCD/VF>Display On/Off>Video Signal Monitor	Video Signal Monitor
Recording>S&Q Motion>Setting	S&Q Motion
Recording>Picture Cache Rec>Setting	Picture Cache Rec
Recording>Clip Continuous Rec>Setting	Clip Continuous Rec
Recording>Rec Review>Setting	Rec Review

セットアップメニューのメニュー項目	アサインナブルボタンの選択肢
Network>Wireless LAN>NFC	NFC
User	User Menu

メニューのロックを解除する

- 1 SEL/SETダイヤルを押しながらMENUボタンを押す。
- 2 SystemメニューのMenu settingsのUser Menu with Lockを選択する。

ご注意

- MENUボタンのみを押して通常のセットアップメニューを表示した場合、SystemメニューのMenu settingsにはUser Menu Onlyが表示されますが、SEL/SETダイヤルを押しながらMENUボタンを押すと、User Menu with Lockが表示されます。

- 3 Offを選択してSETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

液晶画面/ビューファインダー画面の表示が、暗証番号入力画面に切り替わります。

- 4 メニューをロックしたときの番号を入力する。

数値を入力し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押すと、カーソルが次の桁に移動します。すべての桁を入力したら、カーソルがSETに移動します。

- 5 SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。

入力が確定します。メニューをロックしたときの暗証番号と入力した番号が一致した場合、ロックが解除できたことのメニュー表示に切り替わります。

ご注意

- メニューをロックしたときの暗証番号と入力した番号が不一致の場合は、ロックを解除できません。
- 暗証番号は、忘れたときのため、手元に記録を残すことをお勧めします。忘れたときはサービス窓口にお問い合わせください。

Userメニューの編集

UserメニューのEdit User Menuで項目の追加や削除、順番の入れ換えなどを行い、Userメニューをより使いやすく編集することができます。

項目／細目を追加する

- 1 UserメニューのEdit User MenuのAdd Itemを選択する。**
追加が可能な項目が表示されます。
- 2 追加する項目を選択する。**
追加する細目を選択する画面が表示されます。
- 3 追加する細目を選択する。**
すべての細目を追加する場合はAllにチェックを付けます。
追加する細目を指定する場合は、追加する細目にチェックを付けます。
- 4 OKを選択して、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。**
項目／細目の追加が完了します。

ご注意

- 同じ項目／細目を2回登録することはできません。
また追加した項目／細目の名称を変更することはできません。

項目の細目を編集する

表示する項目を任意に設定することができます。

- 1 UserメニューのEdit User Menuで、編集する項目を選択する。**
編集機能リストが表示されます。
- 2 Edit Sub Itemを選択する。**
Edit Sub Item画面が表示されます。
最初に開いたときは、すべての細目にチェックが付いています（すべての細目が表示される状態）。
細目のチェックを外すとUserメニューに表示されなくなります。

- 3 OKを選択して、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。**
編集が完了します。

項目を削除する

- 1 UserメニューのEdit User Menuで、削除する項目を選択する。**
編集機能リストが表示されます。
- 2 Deleteを選択する。**
項目が削除されます。

項目を移動する

- 1 UserメニューのEdit User Menuで、移動する項目を選択する。**
編集機能リストが表示されます。
- 2 Moveを選択する。**
移動する項目がハイライトされ、移動先を示す三角マークと線が表示されます。
- 3 三角マークと線を項目の移動先に移動し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。**
項目が移動します。

Userメニューを工場出荷時の状態に戻す

- 1 UserメニューのEdit User MenuのCustomize Resetを選択する。**
Customize Reset画面が表示されます。
- 2 Resetを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。**
確認画面が表示されます。
- 3 Executeを選択し、SETボタンまたはSEL/SETダイヤルを押す。**
Userメニューが工場出荷時の状態に戻ります。

セットアップメニュー一覧

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。
出荷時の初期設定値は、太文字（例：**18dB**）で示します。

Userメニュー

User	
工場出荷時の登録項目	内容
Base Setting	System>Base Settingの内容。
Rec Format	System>Rec Formatの内容。
S&Q Motion	Recording>S&Q Motionの内容。
Picture Cache Rec	Recording>Picture Cache Recの内容。
Simul Rec	Recording>Simul Recの内容。
Proxy Rec	Recording>Proxy Recの内容。
Output Format	Video>Output Formatの内容。
Assignable Button	System>Assignable Buttonの内容。
Delete Clip	Thumbnail>Delete Clipの内容。
Wireless LAN	Network>Wireless LANの内容。
Format Media	Media>Format Mediaの内容。
Menu Settings	System>Menu Settingsの内容。
Edit User Menu	Edit User Menuを表示する。

Edit User Menu

Edit User Menu		
項目	細目と設定値	内容
Add Item	-	項目／細目を追加する。
Customize Reset	Reset	Userメニューを工場出荷時の状態に戻す。
登録済みの項目 を選択すると表 示される項目	Delete	項目を削除する。
	Move	項目を移動する。
	Edit Sub Item	項目の細目を編集する。

Cameraメニュー

Camera		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Focus 顔検出AFの設定	Face Detection AF	顔検出AFの有効/無効を設定する。
	Face Only AF / Face Priority AF / Off	
	Focus Macro	マクロモードをON/OFFする。
	On / Off	
ND Filter NDフィルターの 設定	Preset1	NDフィルターのプリセット値1を設定する。
	1/128 / 1/64 / 1/32 / 1/16 / 1/8 / 1/4	
	Preset2	NDフィルターのプリセット値2を設定する。
	1/128 / 1/64 / 1/32 / 1/16 / 1/8 / 1/4	
	Preset3	NDフィルターのプリセット値3を設定する。
	1/128 / 1/64 / 1/32 / 1/16 / 1/8 / 1/4	
Gain ゲインの設定	Gain<L>	GAINスイッチをLにしたときのゲイン値を設定する。
	18dB / 15dB / 12dB / 9dB / 6dB / 3dB / 0dB / -3dB	
	Gain<M>	GAINスイッチをMにしたときのゲイン値を設定する。
	18dB / 15dB / 12dB / 9dB / 6dB / 3dB / 0dB / -3dB	
	Gain<H>	GAINスイッチをHにしたときのゲイン値を設定する。
	18dB / 15dB / 12dB / 9dB / 6dB / 3dB / 0dB / -3dB	
Gain <Turbo>	Turbo Gainを割り当てたアサインボタンを押して、Turbo Gain機能を有効にしたときのゲイン値を設定する。	
	30dB / 18dB / 15dB / 12dB / 9dB / 6dB / 3dB / 0dB / -3dB	
	High Sensitivity Mode	高感度モードをON/OFFする。
	On / Off	
	Shockless Gain	ショックレスゲイン機能をON/OFFする。
	On / Off	

Camera		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Shutter 電子シャッター の動作条件の設 定	Mode	電子シャッターのモードを選択する。
	Speed / Angle	動きの速い被写体を鮮明に撮影したい場合などに使用する。秒数でシャッター速度を設定するSpeed（スピード）モードと開角度でシャッター速度を設定するAngle（角度）モードを選択する。
	Shutter Speed	Speed モード 選択時、シャッタースピードを設定する。設定値は、選択されているビデオフォーマットのフレーム周波数によって異なる。
	64F, 32F, 16F, 8F, 7F, 6F, 5F, 4F, 3F, 2F, 1/24, 1/25, 1/30, 1/32, 1/33, 1/40, 1/48, 1/50, 1/60 , 1/96, 1/100, 1/120, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/8000	
	Shutter Angle	Angleモード 選択時、開角度を設定する。
	64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 360.0° / 300.0° / 270.0° / 240.0° / 216.0° / 210.0° / 180.0° / 172.8° / 150.0° / 144.0° / 120.0° / 90.0° / 86.4° / 72.0° / 45.0° / 30.0° / 22.5° / 11.25° / 5.6°	
ECS On / Off	ECSモードをON/OFFする。 液晶画面/ビューファインダー画面を、水平方向の縞模様が出ないように撮影したい場合などに使用する。	
ECS Frequency 8000 ~ 23.99 (60.00)	ECS モード 選択時、ECS周波数を設定する。設定値は、選択されているビデオフォーマットのフレーム周波数によって異なる。	
Auto Exposure 明るさの自動補 正	Level +3.0 / +2.75 / +2.5 / +2.25 / +2.0 / +1.75 / +1.5 / +1.25 / +1.0 / +0.75 / +0.5 / +0.25 / ±0 / -0.25 / -0.5 / -0.75 / -1.0 / -1.25 / -1.5 / -1.75 / -2.0 / -2.25 / -2.5 / -2.75 / -3.0	補正量を設定する。
Mode Backlight / Standard / Spotlight	制御モードを設定する。 Backlight: バックライトモード（中心となる被写体が逆光のとき、黒沈みを軽減するモード） Standard: 標準モード Spotlight: スポットライトモード（中心となる被写体にスポットライトがあたっているとき、白濁れを軽減するモード）	
Speed -99~+99 (±0)	制御スピードを設定する。	
Auto ND Filter On / Off	NDフィルター透過率の自動調整機能をON/OFFする。	

Camera		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Auto Exposure 明るさの自動補正	AGC On / Off	AGC（オートゲインコントロール）機能をON/OFFする。
	AGC Limit 0dB / 3dB / 6dB / 9dB / 12dB / 15dB / 18dB	AGC機能の最大ゲインを設定する。
	AGC Point F2.8 / F4 / F5.6	AGC機能がOnのとき、AGCを動作させ始めるアイリスのF値を設定する。
	Auto Shutter On / Off	オートシャッターコントロール機能をON/OFFする。
	A.SHT Limit 1/100 / 1/150 / 1/200 / 1/250 / 1/2000	オートシャッター機能の最速シャッタースピードを設定する。
	A.SHT Point F5.6 / F8 / F11	オートシャッターを動作させ始めるアイリスのF値を設定する。
	Clip High light On / Off	高輝度部の検出を無視して、高輝度に対する反応を鈍くさせる機能をON/OFFする。
	Detect Window 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6	被写体の明るさに追従して露出を自動調整する測光範囲を選択する。（露出手動調整しているときは無効）
	Detect Window Indication On / Off	Detect Windowをマーカーで表示する機能をON/OFFする。
Color Bars カラーバーの設定	Setting On / Off	カラーバーをON/OFFする。
	Type ARIB / 100% / 75% / SMPTE	カラーバーの種類を選択する。
Flicker Reduce フリッカー補正の設定	Mode Auto / On / Off	フリッカー補正モードを設定する。
	Frequency 50Hz / 60Hz	フリッカーの原因となる照明の電源周波数を設定する。
Flash Band Reduce フラッシュバンド補正の設定	Setting On / Off	スチルカメラ用のフラッシュがたかれた瞬間を撮影した際に、フレーム内の映像の上部のみ、または下部のみが白飛びするのを補正する機能をON/OFFする。
SteadyShot 手ぶれ補正の設定	Setting Active / Standard / Off	手ぶれ補正機能を設定する。
Handle Zoom ハンドルズームスピードの設定	Setting Off / Low / High / Variable	ハンドルズームスピードを設定する。
	High 1~8 (8)	ハンドルズームスピードHigh選択時、ハンドルズームレバーを押したときのズームスピードを設定する。
	Low 1~8 (3)	ハンドルズームスピードLow選択時、ハンドルズームレバーを押したときのズームスピードを設定する。
		<div style="background-color: #cccccc; padding: 2px;">ご注意</div> <ul style="list-style-type: none"> • 以下の場合はActiveに設定できません。 <ul style="list-style-type: none"> - Video Formatが3840×2160のとき - スロー&クイックモーション記録時

Camera		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Speed Zoom 高速ズーム機能 の設定	Setting On / Off	高速ズーム機能をON/OFFする。
Auto Black Balance オートブラック バランスの設定	Auto Black Balance Execute / Cancel	オートブラックバランス機能を実行する。
		で注意 <ul style="list-style-type: none"> 記録中、カラーバー表示中は設定できません。 インターバルレックモード、フレームレックモード、スローシャッターモードのときは設定できません。
Video Light Set ビデオライト点 灯方式の設定	Video Light Set Power Link / Rec Link / "Rec Link + Stby"	マルチインターフェースシューに取り付けるビデオライトの点灯方式を設定する。 Power Link：本機の電源の入/切に連動してビデオライトが点灯/消灯する。 Rec Link：本機の録画開始/終了に連動してビデオライトが点灯/消灯する。 "Rec Link + Stby"：本機の録画開始/終了に連動してビデオライトが点灯/スタンバイ点灯する。

Paintメニュー

Paint		
メニュー項目	細目と設定値	内容
HDR Paint Setting ハイダイナミック レンジモード の設定	HLG Type HLG / HLG1 / HLG2 / HLG3	Shooting ModeがHDRのときのHLGの種類を設定する。 HLG：ITU-R BT.2100相当の設定。 HLG1：HLG2よりもノイズを抑えたい場合の設定。ただし、撮影できるダイナミックレンジは狭くなる。 HLG2：ダイナミックレンジとノイズのバランスを考慮した設定。 HLG3：HLG2よりも広いダイナミックレンジで撮影したい場合の設定。ただし、ノイズレベルが上がる。 HLG1、HLG2、HLG3は同じ特性のガンマカーブで、ダイナミックレンジとノイズのバランスを変更したもの。
	HDR Black Offset -95～+103 (±0)	Shooting ModeがHDRのときのSDR設定 (Master Black) に対するHDRのBlackのオフセット
	HDR Knee On / Off	Shooting ModeがHDRのときのHDR信号に対するニー補正機能をON/OFFする。
	HDR Knee Point -99～+99 (±0)	HDR KneeがOnのときにHDR信号にかけるニーポイントを設定する。
	HDR Knee Slope -99～+99 (±0)	HDR KneeがOnのときにHDR信号にかけるニースロープを設定する。

Paint			
メニュー項目	細目と設定値	内容	
White ホワイトバランスの設定	Preset White 10000K~2100K (3200K)	ホワイトバランスモードでプリセットが選択されているときのプリセット色温度調整をする。	
	ご注意		
	<ul style="list-style-type: none"> ホワイトバランスモードでプリセットが選択されているとき以外は、Preset Whiteの設定を変更してもその変化を画面で確認することはできません。 		
	Color Temp <A> 50000K~1500K (3200K)	メモリー Aに保存されたホワイトバランスの色温度を表示する。	
	Color Temp Balance <A> -99~+99 (±0)	メモリー Aに保存されたホワイトバランスのゲイン値 (Rゲイン、Bゲイン連動) を設定する。	
	R Gain <A> -99~+99 (±0)	メモリー Aに保存されたホワイトバランスのRゲイン値を設定する。	
	B Gain <A> -99~+99 (±0)	メモリー Aに保存されたホワイトバランスのBゲイン値を設定する。	
	Color Temp 50000K~1500K (3200K)	メモリー Bに保存されたホワイトバランスの色温度を表示する。	
	Color Temp Balance -99~+99 (±0)	メモリー Bに保存されたホワイトバランスのゲイン値 (Rゲイン、Gゲイン連動) を設定する。	
	R Gain -99~+99 (±0)	メモリー Bに保存されたホワイトバランスのRゲイン値を設定する。	
	B Gain -99~+99 (±0)	メモリー Bに保存されたホワイトバランスのBゲイン値を設定する。	
White Setting ホワイトバランスの調整	Shockless White Off / 1 / 2 / 3	ホワイトバランスモード切り替え時のホワイトバランス変化速度を設定する。 Off：瞬時に切り替わる。 1~3：数字が大きいほどゆっくり切り替わる。	
	ATW Speed 1 / 2 / 3 / 4 / 5	ATWモード時の反応速度を設定する。 1：最も反応速度が速い。	
	White Switch Memory / ATW	WHT BALスイッチをBに設定したときに選択されるホワイトバランス調整モードを選択する。	
	Filter White Memory On / Off	NDフィルターごとにホワイトバランスメモリー領域を設定する機能をON/OFFする。	

Paint		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Offset White ホワイトバランス のオフセット の設定	Offset White <A> On / Off	メモリー Aのホワイトバランスにオフセット値を付加する (On) か、付加しないか (Off) を選択する。
	Warm Cool <A> -99~+99 (±0)	Offset White<A>がOnの場合に、メモリー Aのホワイトバランスに付加するオフセットを色温度で設定する (オフセットの色温度が高いと誤差が大きくなるため実際の映像を見ながら調整)。
	Warm Cool Balance <A> -99~+99 (±0)	Warm Cool <A>の設定で希望の映像が得られなかった場合に、さらに細かく色温度を設定する。
	Offset White On / Off	Onにするとここで調整したオフセットがBチャンネルのホワイトバランスに付加される。
	Warm Cool -99~+99 (±0)	Offset WhiteがOnの場合に、メモリー Aのホワイトバランスに付加するオフセットを色温度で設定する (オフセットの色温度が高いと誤差が大きくなるため実際の映像を見ながら調整)。
	Warm Cool Balance -99~+99 (±0)	Warm Cool の設定で希望の映像が得られなかった場合に、さらに細かく色温度を設定する。
	Offset White <ATW> On / Off	ATWのホワイトバランスにオフセット値を付加する (On) か付加しないか (Off) を選択する。
	Warm Cool <ATW> -99~+99 (±0)	Offset White<ATW>がOnの場合に、ATWのホワイトバランスに付加するオフセットを色温度で設定する。
	Warm Cool Balance <ATW> -99~+99 (±0)	Warm Cool<ATW>の設定で希望の映像が得られなかった場合に、さらに細かく色温度を設定する。
Black ブラックの設定	Setting On / Off	ブラック補正をON/OFFする。
	Master Black -99~+99 (±0)	マスターブラックレベルを設定する。
Gamma ガンマ補正の設 定	Setting On / Off	ガンマ補正機能をON/OFFする。
	Master Gamma -99~+99 (±0)	マスターガンマレベルを設定する。
	Gamma Category STD / HG	スタンダードガンマ (STD)、HGを選択する。
	Gamma Select	ガンマ補正に使用するガンマテーブルを選択する。
	Gamma CategoryがSTDのとき STD1 DVW / STD2 x4.5 / STD3 x3.5 / STD4 240M / STD5 R709 / STD6 x5.0	
Gamma CategoryがHGのとき HG1 3250G36 / HG2 4600G30 / HG3 3259G40 / HG4 4609G33		

Paint		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Knee ニー補正の設定	Setting On / Off	ニー補正機能をON/OFFする。 (Gamma設定のGamma CategoryがSTDのときのみ有効)
	Auto Knee On / Off	オートニー機能をON/OFFする。
	Point 75%~109% (90%)	ニーポイントを設定する。
	Slope -99~+99 (±0)	ニースロープを設定する。
	Knee Saturation On / Off	Onにすると、ニーサチュレーション（ニーポイントより上の部分の色つき具合）の調整が有効になる。
	Knee Saturation Level -99~+99 (±0)	ニーポイントより上の部分の色つき具合（ニーサチュレーション）を調整する。
	White Clip ホワイトクリップ調整の設定	Setting On / Off
Level 90.0%~ 109.0%		ホワイトクリップレベルを設定する。
Detail(QFHD) ディテール調整の設定(QFHD)	Manual Setting On / Off	ディテール調整機能をON/OFFする。
	Level -99~+99 (±0)	ディテールレベルを設定する。
	Frequency -99~+99 (±0)	ディテールの中心周波数（ディテールの太さ）を設定する。中心周波数を高くするとディテールは細くなり、中心周波数を低くするとディテールは太くなる。
	Knee Aperture On / Off	ニーアパーチャ補正機能をON/OFFする。
	Knee Aperture Level -99~+99 (±0)	ニーアパーチャーレベルを設定する。
	White Limit -99~+99 (±0)	白側のディテールリミッターを設定する。
	Black Limit -99~+99 (±0)	黒側のディテールリミッターを設定する。
	V Detail Creation NAM / Y / G / G+R	垂直ディテールを生成するための元とする信号を、NAM（GとRのどちらか大きい方）、Y、G、G+Rのいずれかから選択する。

Paint		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Detail (HD) ディテール調整 の設定(HD)	Manual Setting On / Off	ディテール調整機能をON/OFFする。
	Level -99～+99 (±0)	ディテールレベルを設定する。
	Frequency -99～+99 (±0)	ディテールの中心周波数（ディテールの太さ）を設定する。 中心周波数を高くするとディテールは細くなり、中心周波数を低くするとディテールは太くなる。
	Knee Aperture On / Off	ニアパーチャー補正機能をON/OFFする。
	Knee Aperture Level -99～+99 (±0)	ニアパーチャーレベルを設定する。
	White Limit -99～+99 (±0)	白側のディテールリミッターを設定する。
	Black Limit -99～+99 (±0)	黒側のディテールリミッターを設定する。
	V Detail Creation NAM / Y / G / G+R	垂直ディテールを生成するための元とする信号を、NAM（GとRのどちらか大きい方）、Y、G、G+Rのいずれかから選択する。
	Detail (SD) ディテール調整 の設定(SD)	Manual Setting On / Off
Level -99～+99 (±0)		ディテールレベルを設定する。
Frequency -99～+99 (±0)		ディテールの中心周波数（ディテールの太さ）を設定する。 中心周波数を高くするとディテールは細くなり、中心周波数を低くするとディテールは太くなる。
Knee Aperture On / Off		ニアパーチャー補正機能をON/OFFする。
Knee Aperture Level -99～+99 (±0)		ニアパーチャーレベルを設定する。
White Limit -99～+99 (±0)		白側のディテールリミッターを設定する。
Black Limit -99～+99 (±0)		黒側のディテールリミッターを設定する。
V Detail Creation NAM / Y / G / G+R		垂直ディテールを生成するための元とする信号を、NAM（GとRのどちらか大きい方）、Y、G、G+Rのいずれかから選択する。

Paint		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Skin Detail スキンディテール補正の設定	Setting On / Off	スキンディテール補正機能をON/OFFする。
	Area Detection Execute / Cancel	スキンディテール補正の対象となる色を検出する。 Execute：実行
	Area Indication On / Off	スキンディテール補正の対象となる色のエリアにゼブラを表示する機能をON/OFFする。
	Level -99～+99 (±0)	スキンディテールレベルを設定する。
	Saturation -99～+99 (±0)	スキンディテール補正の対象となる色の飽和度（サチュレーション）を設定する。
	Hue 0 ～356	スキンディテール補正の対象となる色の色相（ヒュー）を設定する。
	Width 0～90 (40)	スキンディテール補正の対象となる色の色相の範囲を設定する。
	Aperture アパーチャー補正の設定	Setting On / Off
Level -99～+99 (±0)		アパーチャー補正のレベルを設定する。
Matrix マトリクス補正の設定	Setting On / Off	マトリクス補正機能をON/OFFする。
	Adaptive Matrix On / Off	アダプティブマトリクス機能をON/OFFする。
	Preset Matrix On / Off	プリセットマトリクス機能をON/OFFする。
	Preset Select 1:SMPTE 240M / 2:ITU-709 / 3:SMPTE Wide / 4:NTSC / 5:EBU / 6:PAL	プリセットマトリクスを選択する。
Maintenance メンテナンスの設定	Test Saw On / Off	テスト信号をON/OFFする。

Audioメニュー

Audio		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Audio Input 音声入力の設定	CH2 EXT Input Select INPUT1 / INPUT2	記録チャンネル2の入力を選択する。EXT音源選択時のみ有効。
	CH3 Input Select Off / INPUT1 / Internal MIC / Shoe CH1	記録チャンネル3の入力を選択する。
	CH4 Input Select Off / INPUT1 / INPUT2 / Internal MIC / Shoe CH2	記録チャンネル4の入力を選択する。
	INPUT1 MIC Reference -80dB / -70dB / -60dB / -50dB / -40dB / -30dB	INPUT1スイッチの設定がMICの場合の基準入力レベルを選択する。
	INPUT2 MIC Reference -80dB / -70dB / -60dB / -50dB / -40dB / -30dB	INPUT2スイッチの設定がMICの場合の基準入力レベルを選択する。
	Internal MIC Level -12dB / -6dB / 0dB / +6dB / +12dB	内蔵マイクレベルを選択する。AUDIO SELECTスイッチの設定に関わらず選択できる。
	Line Input Reference +4dB / 0dB / -3dB / EBUL	INPUT1/INPUT2スイッチの設定がLINEの場合の基準入力レベルを選択する。
	Reference Level -20dB / -18dB / -16dB / -12dB / EBUL	基準入力レベルの1kHz信号の記録レベルを選択する。
	CH1 Wind Filter On / Off	記録チャンネル1の風音低減フィルターをON/OFFする。
	CH2 Wind Filter On / Off	記録チャンネル2の風音低減フィルターをON/OFFする。
	CH3 Wind Filter On / Off	記録チャンネル3の風音低減フィルターをON/OFFする。
	CH4 Wind Filter On / Off	記録チャンネル4の風音低減フィルターをON/OFFする。
	CH3 Level Control Auto / Manual	記録チャンネル3入力レベルの自動調節/手動調節を選択する。
	CH4 Level Control Auto / Manual	記録チャンネル4入力レベルの自動調節/手動調節を選択する。
	CH3 Input Level 0~99 (49)	記録チャンネル3入力レベルの手動設定時のレベルを設定する。
	CH4 Input Level 0~99 (49)	記録チャンネル4入力レベルの手動設定時のレベルを設定する。
	Limiter Mode Off / -6dB / -9dB / -12dB / -15dB / -17dB	オーディオ入力レベルの手動調節時、大きな信号に対するリミッター特性（飽和レベル）を選択する。
	CH1&2 AGC Mode Mono / Stereo	記録チャンネル1と記録チャンネル2の自動レベル調整モードを選択する。Stereo時は、チャンネル間でAGCが連動する。

Audio		
メニュー項目	細目と設定値	内容
	CH3&4 AGC Mode Mono / Stereo	記録チャンネル3と記録チャンネル4の自動レベル調整モードを選択する。Stereo時は、チャンネル間でAGCが連動する。
	AGC Spec -6dB / -9dB / -12dB / -15dB / -17dB	オーディオ入力レベルの自動調節時、大きな信号に対するAGC特性（飽和レベル）を選択する。
	1kHz Tone on Color Bars On / Off	カラーバー表示中の1kHzの基準音声信号をON/OFFする。
Audio Output 音声出力の設定	Monitor CH CH1/CH2 / CH3/CH4 / MIX ALL / CH1/ CH2 / CH3 / CH4	ヘッドホン端子および内蔵スピーカーに出力する音声チャンネルを選択する。
	Headphone Out Mono / Stereo	ヘッドホンをモノラル（Mono）にするか、ステレオ（Stereo）にするかを選択する。
	Alarm Level 0~7 (4)	アラーム音量を設定する。
	HDMI Output CH CH1/CH2 / CH3/CH4	HDMIに出力する音声チャンネルの組み合わせを選択する。
	Analog Output CH CH1/CH2 / CH3/CH4	アナログオーディオ出力に出力される音声チャンネルの組み合わせを選択する。

Videoメニュー

Video		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Output On/Off 映像出力の設定	SDI On / Off	SDI出力をON/OFFする。
	HDMI On / Off	HDMI出力をON/OFFする。
Output Format 出力フォーマットの設定 • 設定項目について詳しくは、「ビデオフォーマットと出力信号」（106ページ）をご覧ください。	SDI	SDI出力の解像度設定をする。 SET：実行
	HDMI	HDMI出力の解像度設定をする。 SET：実行
Output Display 出力信号の設定	SDI/HDMI On / Off	SDI/HDMI出力信号にメニューやステータスを加えるかどうかを選択する。
SDI/HDMI Rec Control 外部接続機器のコントロール設定	Setting On / Off	SDI/HDMI出力信号による外部接続機器の記録/停止制御をON/OFFする。

Video		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Down Converter ダウンコンバーターの動作モードの選択	Down Converter Edge Crop / Letter Box / Squeeze	SD信号の出力モード（アスペクト）を設定する。 Edge Crop：16:9画像の両端をカットして4:3画像として出力する。 Letter Box：4:3画像の上下をマスクして、画面中央に16:9映像を表示する。 Squeeze：16:9画像を左右方向に縮小して4:3画像として出力する。

LCD/VFメニュー

LCD/VF		
メニュー項目	細目と設定値	内容
LCD Setting 液晶画面（LCD）の設定	Brightness -99～+99（ ±0 ）	液晶画面（LCD）の明るさを調整する。
VF Setting ビューファインダーの設定	Brightness -99～+99（ ±0 ） Color Mode Color / B&W	ビューファインダー映像の明るさを調整する。 E-E表示/記録時のビューファインダーの表示モードを選択する。
Peaking ピーキングの設定	Setting On / Off Type Normal / Color Normal Peaking Frequency Normal / High Normal Peaking Level 0～99（ 50 ） Color B&W / Red / Yellow / Blue Color Peaking Level 0～99（ 50 ）	ピーキング機能をON/OFFする。 ピーキングの種類を選択する。 Normal：通常のピーキング Color：カラーピーキング ピーキング周波数を標準（Normal）にするか高く（High）するかを選択する。 ノーマルピーキングのレベルを設定する。 カラーピーキングの信号色を選択する。 カラーピーキングのレベルを設定する。
Marker マーカー表示の設定	Setting On / Off Color White / Yellow / Cyan / Green / Magenta / Red / Blue Center Marker 1 / 2 / 3 / 4 / Off Safety Zone On / Off Safety Area 80% / 90% / 92.5% / 95%	すべてのマーカー表示をまとめてON/OFFする。 マーカーの表示色を選択する。 センターマーカーをON/OFFする。 セーフティゾーンマーカーをON/OFFする。 セーフティゾーンマーカーの大きさ（画面全体に対する比率）を選択する。

LCD/VF		
メニュー項目	細目と設定値	内容
	Aspect Marker Line / Mask / Off	アスペクトマーカ―を選択する。 Line：白線で表示する。 Mask：マーカ―範囲外のビデオ信号レベルを下げて表示する。 Off：表示しない。
	Aspect Mask 0～15 (12)	Aspect MarkerがMaskのとき、アスペクトマーカ―の外側の映像の明るさを選択する。
	Aspect Safety Zone On / Off	アスペクトセーフティーゾーンマーカ―をON/OFFする。
	Aspect Safety Area 80% / 90% / 92.5% / 95%	アスペクトセーフティーゾーンマーカ―の大きさ（画面全体に対する比率）を選択する。
	Aspect Select 4:3 / 13:9 / 14:9 / 15:9 / 16:9 / 17:9 / 1.66:1 / 1.85:1 / 2.35:1 / 2.4:1	アスペクトマーカ―の比を選択する。
	Guide Frame On / Off	ガイドフレーム表示をON/OFFする。
	100% Marker On / Off	100%のセーフティーゾーンマーカ―の表示をON/OFFする。
	User Box On / Off	ボックスカーソルの表示をON/OFFする。
	User Box Width 40～999 (500)	ボックスカーソルの幅（中心から左右端までの距離）を設定する。
	User Box Height 70～999 (500)	ボックスカーソルの高さ（中心から上下端までの距離）を設定する。
	User Box H Position -479～+479 (±0)	ボックスカーソルの中心の水平位置を設定する。
	User Box V Position -464～+464 (±0)	ボックスカーソルの中心の垂直位置を設定する。
Zebra ゼブラパターン の設定	Setting On / Off	ゼブラ機能をON/OFFする。
	Zebra Select 1 / 2 / Both	ゼブラ表示の種類（ゼブラ1、ゼブラ2、または両方）を選択する。
	Zebra1 Level 0%～107% (70%)	ゼブラ1を表示するレベルを設定する。
	Zebra1 Aperture Level 1%～20% (10%)	ゼブラ1のアーチャーレベルを設定する。
	Zebra2 Level 0%～109% (100%)	ゼブラ2を表示するレベルを設定する。
Gamma Display Assist ガンマ表示アシ ストの設定	Setting HLG → 709 (800%) / Off	ガンマ表示アシスト機能の設定値を選択する。

メニュー項目	細目と設定値	内容
Display On/Off 画面表示項目の 設定	Network Status On / Off	液晶画面やビューファインダー画面に表示する項目を 選択する。
	Rec/Play Status On / Off	
	Tally On / Off	
	Battery Remain On / Off	
	Focus Mode On / Off	
	Focus Position Meter / Feet / Off	
	Focus Macro On / Off	
	Face Detection Frame On / Off	
	Lens Info Meter / Feet / Off	
	Rec Format On / Off	
	Frame Rate On / Off	
	Zoom Position Number / Bar / Off	
	Digital Extender On / Off	
	GPS On / Off	
	SteadyShot On / Off	
	Gamma On / Off	
	SDI/HDMI Rec Control On / Off	
	Gamma Display Assist On / Off	
	Proxy Status On / Off	
	Focus Assist Indicator On / Off	
	Focus Assist Area On / Off	
	Media Status On / Off	

LCD/VF		
メニュー項目	細目と設定値	内容
	Video Signal Monitor Off / Waveform / Vector / Histogram	
	Clip Name On / Off	
	White Balance On / Off	
	Scene File On / Off	
	Auto Exposure Mode On / Off	
	Auto Exposure Level On / Off	
	Timecode On / Off	
	ND Filter On / Off	
	Iris On / Off	
	Gain On / Off	
	Shutter On / Off	
	Audio Level Meter On / Off	
	Video Level Warning On / Off	
	Clip Number On / Off	
	Notice Message On / Off	

TC/UBメニュー

TC/UB		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Timecode タイムコードの 設定	Mode Preset / Regen / Clock	タイムコードの歩進モードを設定する。 Preset（プリセット）：設定された状態から歩進する。 Regen（リジェネ）：前のクリップのタイムコードに続けて歩進する。 Clock（クロック）：内蔵時計をタイムコードとして使用する。
	Run Rec Run / Free Run	Rec Run：記録時のみ歩進する。 Free Run：記録に関係なく常に歩進する。

TC/UB		
メニュー項目	細目と設定値	内容
	Setting	タイムコードを任意の値に設定する。 SET：決定
	Reset	タイムコードを00:00:00:00にリセットする。
	Execute / Cancel	Execute：実行
	TC Format	タイムコードのフォーマットを設定する。
	DF / NDF	DF：ドロップフレーム NDF：ノンドロップフレーム
Users Bit	Mode	ユーザービットのモードを設定する。
ユーザービットに関する設定	Fix / Time	Fix：ユーザービットに任意の固定値を使用する。 Time：ユーザービットに現在年月日を使用する。
	Setting	ユーザービットを任意の値に設定する。
HDMI TC Out	Setting	HDMIを利用して、他の業務用機器にタイムコードを出力するかどうかを設定する。
タイムコード出力の設定	On / Off	

Recordingメニュー

Recording		
メニュー項目	細目と設定値	内容
S&Q Motion	Setting	スロー&クイックモーションモードをON/OFFする。
スロー&クイックモーションモードの設定	On / Off	
	Frame Rate	S&Q設定がOnの場合に、スロー&クイックモーション撮影時のフレームレートを設定する。 設定値の範囲は、選択されているシステム周波数やコーデック、ビデオフォーマットによって異なる。
	1fps~60fps	
Interval Rec	Setting	インターバルレックモードをON/OFFする
インターバルレックモードの設定	On / Off	
	Interval Time	Interval RecがOnの場合に、インターバル撮影時の録画間隔（インターバル）を選択する。
	1sec / 2sec / 3sec / 4sec / 5sec / 6sec / 7sec / 8sec / 9sec / 10sec / 15sec / 20sec / 30sec / 40sec / 50sec / 1min / 2min / 3min / 4min / 5min / 6min / 7min / 8min / 9min / 10min / 15min / 20min / 30min / 40min / 50min / 1hour / 2hour / 3hour / 4hour / 6hour / 12hour / 24hour	
	Number of Frames	Interval RecがOnの場合に、インターバル撮影時の1回の記録フレーム数を選択する。
	システム周波数の設定に応じて変わる。	
	2frames / 6frames / 12frames	記録フォーマットのフレームレートが50P、59.94Pのとき
	1frame / 3frames / 6frames / 9frames	記録フォーマットのフレームレートが上記以外のとき

Recording		
メニュー項目	細目と設定値	内容
	Pre-Lighting Off / 2sec / 5sec / 10sec	インターバルレック撮影開始時にビデオライトを点灯させる場合は何秒前に点灯させるかを選択、点灯させない場合はOffを選択する。
Picture Cache Rec	Setting On / Off	ピクチャーキャッシュ機能をON/OFFする。
ピクチャー キャッシュレック モードの設定	Cache Rec Time 設定値は記録フォーマット の設定により変わる。	ピクチャーキャッシュメモリーに画像を蓄積する時間 (キャッシュレック開始時にさかのぼる時間)を設定する。
Clip Continuous Rec	Setting On / Off	クリップコンティニユアスレックモードをON/OFFする。
クリップコン ティニユアス レックモードの 設定	Find Mode Clip / Rec Start	NEXTボタン/PREVボタンを押したときの動作を選択する。
Simul Rec 同時記録の設定	Setting On / Off	本線同時記録機能のON/OFFと記録先メディアを一括設定する。
	Rec Button Set Rec Button: <input type="text" value="A"/> <input type="text" value="B"/> Handle Rec Button: <input type="text" value="A"/> <input type="text" value="B"/> / Rec Button: <input type="text" value="A"/> Handle Rec Button: <input type="text" value="B"/> / Rec Button: <input type="text" value="B"/> Handle Rec Button: <input type="text" value="A"/>	記録メディアごとに録画ボタンの割り当てを行う。
Proxy Rec プロキシー記録 モードの設定	Setting On / Off	プロキシー記録モードをON/OFFする。
	Proxy Format 1920×1080(9Mbps) / 1280×720(9Mbps) / 1280×720(6Mbps) / 640×360(3Mbps) / 480×270(1Mbps) / 480×270(0.5Mbps)	プロキシーファイル用の映像のサイズを設定する。 1920×1080(9Mbps)に設定した場合、システム周波数が23.98のときはプログレッシブで、システム周波数が23.98以外の場合はインターレースで記録される。 1920×1080(9Mbps)以外に設定した場合は、システム周波数にかかわらずプログレッシブで記録される。
	Audio Channel CH1/CH2 / CH3/CH4	プロキシーデータに記録するオーディオチャンネルを選択する。
Rec Review レックレビュー の設定	Setting 3sec / 10sec / Clip	レックレビューで直前に記録したクリップを再生する時間を選択する。

Thumbnailメニュー

Thumbnail		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Display Clip Properties クリップ詳細情報画面の表示		クリップ詳細情報画面を開く。
Lock / Unlock Clip クリップの保護設定	Select Clip	保護/保護解除するクリップを選択して実行する。
	Lock All Clips	すべてのクリップを保護する。
	Unlock All Clips	すべてのクリップを保護解除する。
Delete Clip クリップの削除	Select Clip	任意のクリップを削除する。
	All Clips	表示されているすべてのクリップを削除する。
Copy Clip クリップのコピー	Select Clip	任意のクリップをコピーする。
	All Clips	メディア内のすべてのクリップをコピーする。
Thumbnail View サムネイル画面の表示形態の設定	Essence Mark Thumbnail	レックスタートマークのついているフレームをサムネイル表示する。
	All / Rec Start	
	Clip Thumbnail	記録されているクリップのサムネイルを表示する。
Customize View 静止画サムネイル画面の表示	Thumbnail Caption	サムネイル画像直下の表示内容を切り替える。
	Date Time / Time Code /	
	Duration / Sequential	
	Number	

Mediaメニュー

Mediaメニューは、対象となるメディアが未装着のときは無効になります。

Media		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Update Media メモリーの更新	Media(A) Execute / Cancel	スロットAのメモリーカード内の管理ファイルを更新する。
	Media(B) Execute / Cancel	スロットBのメモリーカード内の管理ファイルを更新する。
Format Media メモリーの初期化	Media(A) Execute / Cancel	スロットAのメモリーカードを初期化する。 Execute：実行
	Media(B) Execute / Cancel	スロットBのメモリーカードを初期化する。 Execute：実行
	Utility SD/MS Execute / Cancel	UTILITY SD/MSスロットのメディアを初期化する。 Execute：実行

Media		
メニュー項目	細目と設定値	内容
USB メモリーカード スロットに挿入 された記録メ ディア内のク リップをUSBメ ディアにコピー する操作に関す る設定	Select Folder	USBメディア内のフォルダーを選択する。 USBメディア内に新しいフォルダーを作成する。
	View Clip List	USBメディアのクリップ一覧を表示する。
	Rename Folder	USBメディア内のフォルダー名を編集する。
	Error Check On / Off	USBメディアへクリップをコピーするときに、エラー チェックを行うかどうかを選択する。
	Format USB Execute / Cancel	USBメディアを初期化する。 Execute : 実行
	Copy to USB Media(A) to USB / Media(B) to USB / Media(A)(B) to USB	メモリーカードスロット内のクリップをUSBメディア へフォルダーごとコピーする場合の対象スロットを選 択する。
	Media Remain	USBメディアの空き容量を表示する (表示のみ)。
Clip Naming クリップの名称 や削除に関する 設定	Title Prefix nnn_ (nnnはシリアルNo. の下3桁) (最大7文字表示)	クリップ名のタイトル部分 (4~46文字) を設定する Edit File Name画面を呼び出す。 Edit File Name画面の構成 文字選択エリア (3行) : Title Prefixエリアのカーソル位置に挿入する文字を 選択する。 !#\$%()+,-.:;=@[]^_`0123456789 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ カーソル操作エリア (1行) : Space: カーソル位置にスペースを挿入する。 ←: カーソルを左に移動する。 →: カーソルを右に移動する。 BS: カーソル位置の左の文字を削除する。 Title Prefixエリア (1行) : タイトルを入力するエリア。
	Number Set 0001~9999	クリップ名の最後の番号部分 (4桁) を設定する。

Fileメニュー

File		
メニュー項目	細目と設定値	内容
User File ユーザーファイルの操作に関する設定	Load Utility SD/MS Execute / Cancel	ユーザーファイルをSDカードまたは“メモリースティック”から呼び出す。 Execute：実行
	Save Utility SD/MS Execute / Cancel	ユーザーファイルをSDカードまたは“メモリースティック”へ保存する。 Execute：実行
	File ID	ユーザーファイルのFile ID編集画面を表示する。
	Load Customize Data On / Off	Load Utility SD/MSの実行時にUserメニューの構成カスタマイズ情報を読み込むかどうかを設定する。
	Load White Data On / Off	Load Utility SD/MSの実行時にホワイトバランス情報を読み込むかどうかを設定する。
	All File ALLファイルに関する設定	Load Utility SD/MS Execute / Cancel
Save Utility SD/MS Execute / Cancel		ALLファイルをSDカードまたは“メモリースティック”へ保存する。 Execute：実行
File ID		ALLファイルのFile ID編集画面を表示する。
Load Network Data On / Off		Load Utility SD/MSの実行時に、Networkメニューの設定情報を読み込むかどうかを設定する。
Scene File シーンファイルに関する設定	Recall Internal Memory Execute / Cancel	内蔵メモリーからシーンファイルを読み出す。 Execute：実行
	Store Internal Memory Execute / Cancel	内蔵メモリーにシーンファイルを保存する。 Execute：実行
	Load Utility SD/MS Execute / Cancel	シーンファイルをSDカードまたは“メモリースティック”から呼び出す。
	Save Utility SD/MS Execute / Cancel	シーンファイルをSDカードまたは“メモリースティック”へ保存する。
	File ID	シーンファイルのFile ID編集画面を表示する。
	Scene White Data On / Off	シーンファイルを読み出す時にWhite Balanceのデータを反映させるかどうかを設定する。

Networkメニュー

Network		
項目	細目と設定値	内容
Access Authentication 認証に関する設定	User Name	アクセス認証のためのユーザー名を設定する。
	Password	アクセス認証のためのパスワードを設定する。
Wireless LAN ワイヤレスLAN 接続に関する設定	Setting	ワイヤレスLAN接続の動作モードを選択する。
	Access Point Mode / Station Mode / Off	
	WPS Execute / Cancel	WPS (Wi-Fi Protected Setup) による接続設定を開始する。 Execute：実行
	NFC Execute / Cancel	NFC (Near Field Communication) による接続設定を開始する。 Execute：実行
	MAC Address	本機のワイヤレスLANインターフェースのMACアドレスを表示する（表示のみ）。
AP Mode Settings アクセスポイントモードでの接続に関する設定	Channel Auto(5GHz) / Auto / CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11	ワイヤレスLANのチャンネルを設定する。
	Camera SSID & Password	本機のSSIDとパスワードを表示する。
	Regenerate Password Execute / Cancel	パスワードを再生成する。 Execute：実行
	IP Address	本機のアクセスポイントモードでのIPアドレスを表示する。
	Subnet Mask	本機のアクセスポイントモードでのサブネットマスクを表示する。

Network		
項目	細目と設定値	内容
ST Mode Settings ステーション モードでの接続 に関する設定	Camera Remote Control Enable / Disable	ステーションモードで本機とワイヤレスLAN接続されているデバイスからのリモートコントロールを許可するかどうかを設定する。
	Connected Network	接続中のワイヤレスLANネットワーク（アクセスポイント）を表示する。
	Scan Networks	ワイヤレスLANネットワーク（アクセスポイント）を検出し、リスト表示する。 リストから接続先を選択し、接続する。
	Manual Register	アクセスポイントと手動接続する。
	SSID	接続先アクセスポイントのSSIDを入力する。
	Security None / WEP / WPA	接続先アクセスポイントのセキュリティ種別を設定する。接続先アクセスポイントのセキュリティ種別がWPAまたはWPA2の場合は、WPAを選択。
	Password	SecurityがNone以外の場合に接続先アクセスポイントのパスワードを入力する。
	DHCP On / Off	DHCPの有効（On）、無効（Off）を設定する。
	IP Address	DHCPがOffのときに本機のIPアドレスを入力する。
	Subnet Mask	DHCPがOffのときに本機のサブネットマスクを入力する。
	Gateway	DHCPがOffのときにデフォルトのゲートウェイを入力する。
	DNS Auto On / Off	DNS自動取得をON/OFFする。
	Primary DNS Server	DNS AutoがOffのときにプライマリー DNSサーバーを入力する。
	Secondary DNS Server	DNS AutoがOffのときにセカンダリー DNSサーバーを入力する。
	Network Reset	Reset Execute / Cancel

Systemメニュー

System			
メニュー項目	細目と設定値	内容	
Base Setting 撮影モードの設定	Shooting Mode	ダイナミックレンジのモードを選択する。	
	SDR / HDR		
Rec Format 記録フォーマットの設定	Frequency	システム周波数を選択する。	
	59.94 / 50 / 29.97 / 25 / 23.98		
	Codec	記録・再生モードを設定する。	
	XAVC-L / DVCAM(MXF)		
Video Format Frequency、Codecの設定に応じて変わる。	Video Format	録画フォーマットを設定する。	
	SET : 実行		
File System	Frequency	Codec	選択肢
exFAT	59.94	XAVC-L	3840×2160P
			1920×1080P 50
			1920×1080P 35
			1920×1080i 50
			1920×1080i 35
	50	XAVC-L	1920×1080i 25
			1280×720P 50
			DVCAM(MXF)
			720×480i
			3840×2160P
29.97	XAVC-L	1920×1080P 50	
		1920×1080P 35	
		1920×1080i 50	
		1920×1080i 35	
		1920×1080i 25	
25	XAVC-L	1280×720P 50	
		DVCAM(MXF)	
		720×576i	
		3840×2160P	
		1920×1080P 50	
23.98	XAVC-L	1920×1080P 35	
		1920×1080P 50	
		1920×1080P 35	
		3840×2160P	
		1920×1080P 50	
Aspect Ratio (SD)	DVCAM記録時のアスペクト比を設定する。		
16:9 / 4:3			

System		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Assignable Button	<1>~<8>	アサインابلボタンに機能を割り当てる。
アサインابلボタンへの機能割り当て設定	Off / Push AF/Push MF / Face Detection AF / Focus Macro / Auto ND Filter / Push Auto ND / Push Auto Iris / Turbo Gain / AGC / Shutter / Auto Exposure Level / Spotlight / Backlight / Flash Band Reduce / Digital Extender ×2 / Handle Zoom / SteadyShot / Color Bars / Preset White Select / ATW / ATW Hold / Marker / Zebra / Peaking / Video Signal Monitor / Focus Magnifier / Lens Info / LCD/VF Adjust / VF Mode / Gamma Display Assist / Display / Rec / S&Q Motion / Clip Continuous Rec / Picture Cache Rec / Proxy Rec Start/Stop / Rec Review / Last Clip Delete / Thumbnail / NFC / Direct Menu / User Menu / Menu	Push AF/Push MF：プッシュオートフォーカス機能およびプッシュマニュアルフォーカス機能の実行 Face Detection AF：顔検出AF機能ON/OFF切り替え Focus Macro：マクロモードのON/OFF切り替え Auto ND Filter：Auto ND Filter機能のON/OFF切り替え Push Auto ND：Auto ND Filterの機能の一時実行 Push Auto Iris：ワンプッシュオートアイリス機能の実行 Turbo Gain：Turbo GainのON/OFF切り替え AGC：オートゲインコントロール機能の切り替え Shutter：オートシャッター/マニュアルシャッターの切り替え Auto Exposure Level：AEレベルの調節 Spotlight：AE ModeのSpotlightに切り替え Backlight：AE ModeのBacklightに切り替え Flash Band Reduce：フラッシュバンド補正機能のON/OFF切り替え Digital Extender ×2：画面拡大（2倍）機能のON/OFF切り替え Handle Zoom：ハンドルズーム動作の切り替え SteadyShot：手ぶれ補正機能の切り替え Color Bars：カラーバー表示のON/OFF切り替え Preset White Select：ホワイトバランス プリセットモード値の切り替え ATW：ATWのON/OFF切り替え ATW Hold：ATWの動作を一時ホールド Marker：マーカー機能のON/OFF切り替え Zebra：ゼブラ機能のON/OFF切り替え Peaking：ピーキング機能のON/OFF切り替え Video Signal Monitor：映像信号モニター（ヒストグラムなど）の表示切り替え Focus Magnifier：ピント拡大機能のON/OFF切り替え Lens Info：被写界深度表示の切り替え LCD/VF Adjust：液晶画面/ビューファインダー画面の明るさ調節用レベルバーの表示 VF Mode：ビューファインダー画面のカラー/モノクロ切り替え Gamma Display Assist：ガンマ表示アシスト機能の切り替え Display：モニター画面表示のON/OFF切り替え Rec：記録の開始または停止 S&Q Motion：スロー&クイックモーションモードのON/OFF切り替え、フレームレート設定画面の表示 Clip Continuous Rec：クリップコンティニュースレックモードのON/OFF切り替え Picture Cache Rec：ピクチャーキャッシュレックモードのON/OFF切り替え Proxy Rec Start/Stop：プロキシ単独記録の開始または停止

System		
メニュー項目	細目と設定値	内容
		Rec Review：レックレビューの開始 Last Clip Delete：ラストクリップデリート（リテイク）機能の実行 Thumbnail：サムネイル画面表示のON/OFF切り替え NFC：NFC機能の実行 Direct Menu：ダイレクトメニューの設定 User Menu：Userメニューの表示 Menu：セットアップメニューの表示
Tally 記録/タリーランプの設定	Front On / Off	記録/タリーランプ（Front）をON/OFFする。
	Rear On / Off	記録/タリーランプ（Rear）をON/OFFする。
Language 言語の設定	Select	表示する言語を設定する。 SET：実行
Clock Set 内蔵時計に関する設定	Time Zone UTC -12:00~UTC +14:00	UTCからの時差を30分単位で設定する。
	Date Mode YYMMDD / MMDDYY / DDMMYY	年月日の表示方式を選択する。 YYMMDD：年月日の順 MMDDYY：月日年の順 DDMMYY：日月年の順
	12H/24H 12H / 24H	時刻の表示形式を選択する。 12H：12時間表示 24H：24時間表示
	Date	現在の日付を設定する。 SET：決定
	Time	現在の時刻を設定する。 SET：決定
	Hours Meter 積算時間の表示	Hours(System) Hours(Reset) Reset Execute / Cancel
GPS GPSの設定	GPS On / Off	GPSをON/OFFする。
Battery Alarm バッテリー電圧低下警告の設定	Low Battery 5% / 10% / 15% / ... / 45% / 50%	バッテリー電圧低下警告を表示する残量を設定する（5%刻み）。
	Battery Empty 3% ~7%	バッテリー切れ警告を表示する残量を設定する（1%刻み）。
DC Voltage Alarm DC IN入力電圧低下警告の設定	DC Low Voltage1 11.2V ~ 14.0V (11.3V)	DC INへの入力電圧の低下警告を表示する電圧を設定する（0.1V刻み）。
	DC Low Voltage2 11.0V ~ 14.0V	DC INへの入力電圧の不足警告を表示する電圧を設定する（0.1V刻み）。

System		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Menu Settings メニューに関する設定	Direct Menu with <SET> On / Off	ダイレクトメニュー操作を、SETボタンを押すことで開始できるようにするかを設定する。
	User Menu Only On / Off	メニューを表示したときに、Userメニューだけを表示するか (On)、メニューリストを表示するか (Off) を設定する。
	User Menu with Lock On / Off	メニュー表示にロックをかけて、Userメニューだけの表示にするかどうかを設定する。
		ご注意 <ul style="list-style-type: none"> Onにすると、顔検出AF機能での登録顔登録操作ができなくなります。また、現在登録されている登録顔がクリアされます。
		ご注意 <ul style="list-style-type: none"> 通常のメニュー表示操作では表示されません。メニュー表示の操作方法は、69ページをご覧ください。
Fan Control ファン制御の設定	Setting Auto / Minimum / Off in Rec	ファンの制御モードを選択する。
All Reset 工場出荷状態へのリセット	Reset Execute / Cancel	工場出荷状態へのリセットを実行する。 Execute：実行
	Reset without Network Execute / Cancel	Networkの設定を除いたメニュー設定値を工場出荷状態にリセットする。 Execute：実行
Version 本機のバージョンの表示	Version Number x.xx	本機のソフトウェアバージョンを表示する。
	Version Up Execute / Cancel	本機をバージョンアップ*する。 Execute：実行
		* バージョンアップは本機のソフトウェアをアップデートする機能です。




使用上のご注意

海外で使う

電源について

本機は、海外でも使えます。
ACアダプター（別売）やチャージャー BC-U1A/U2A（別売）は、全世界の電源（AC 100V～240V、50Hz/60Hz）で使えます。また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使わないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例		
	主に北米	主にヨーロッパなど
使用する変換プラグアダプター	不要	

時差補正機能について

海外で使うとき、SystemメニューのClock SetのTime Zone（97ページ）を設定します。

安全にご使用いただくために、別紙の取扱説明書と併せてご覧ください。

取り扱い・保管上のご注意

強い衝撃を与えない

内部構造や外観の変形などの損傷を受けることがあります。

動作中は布などで包まないでください

内部の温度が上がり、好ましくありません。

使い終わったら

電源スイッチをSTANDBYにして電源を切ってください。

長時間使わないときは

バッテリーを抜いておいてください。

レンズを太陽光に向けて放置しない

太陽光がレンズを通して内部に焦点を結び、火災の原因となることがあります。

レンズに向けてレーザーなどの光線を照射しない

イメージセンサーが破損し、カメラが故障することがあります。

輸送

- メモリーカードは必ず取り出しておいてください。
- トラック、船、航空機など、本機を貨物として扱う輸送では、お買い上げ時の梱包材をご使用ください。

バッテリーについて

充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10℃～30℃の範囲で、チャージャーの充電ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、次のことをおすすめします。
 - バッテリーをポケットなどに入れてあたたくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける。
 - 高容量バッテリーを使う。

- 本機で撮影や再生をしないときは、こまめに電源スイッチを切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前にためし撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください（17ページ）。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

本機の取り扱いについて

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
炎天下や熱器具の近く、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
雑音が入ることがあります。

- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶画面やビューファインダー、レンズが太陽に向けたままとなる場所（窓際や室外など）
液晶画面やビューファインダー内部を傷めます。

長期間使用しないときは

- 本機を良好な状態で長期にわたってお使いいただくために、月に1回程度、本機の電源を入れて撮影および再生を行ってください。
- バッテリーは使い切ってから、保管してください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本体内に水滴が付くことで、故障の原因になります。

結露が起きたときは

電源を入れずに、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。

結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スクールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

結露を起りにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

お手入れ

液晶表面にはコーティング処理がされており、傷をつけるとコーティングが剥がれることがあります。

お取り扱い、お手入れの際は下記の点にご注意ください。

- 手の脂、ハンドクリーム等が付いたままにするとコーティングが剥がれやすくなりますので、早めに拭き取ってください。
- ティッシュペーパーなどで強く拭くとコーティングに傷がつくことがあります。
- 汚れを拭き取る前に埃や砂などはブローなどであらかじめ払い落とし落としてください。
- 汚れを拭き取るときは清潔な眼鏡拭き等、柔らかい生地の布でやさしく拭き取ってください。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、次のことは避けてください。
 - －シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類。
 - －上記が手に付いたまま本機を扱う。
 - －ゴムやビニール製品との長時間接触。

レンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良い、ゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機がACアダプターでコンセントにつながっているか、バッテリーが入っている限り常に充電されています。ACアダプターで電源につなが

い、またはバッテリーを入れないままで**3か月**近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

携帯電話や無線機などによる電波障害を防止するために

携帯電話や無線機などを本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、映像、音声などに影響を与えることがあります。本機の近くでは、携帯電話や無線機などの電源はできるだけ切ってください。

画面について

- 画面を太陽にむけたままにすると、画面を傷めます。屋外でご使用のときは、太陽に向けて放置しないでください。
- 画面を強く押ししたり、ひっかいたり、上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、パネルの故障の原因になります。
- 使用中に画面があたたかくなることがありますが、故障ではありません。

液晶画面・有機EL画面の輝点・減点について

本機の液晶パネル・有機ELパネルは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られています。画面上に黒い点が現れたり（画素欠け）、常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や減点がある場合があります。また、液晶パネル・有機ELパネルの特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。なお、これらの点が記録されることはありません。

有機ELパネルの表示について

一般に、有機ELパネルはその特性上、焼き付き、輝度低下などが発生することがあります。

これらは故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。

ファインダー内で視線を動かした場合などに原色が見えることがあります。故障ではありません。
また、原色が実際にメモリーカードに記録されることはありません。

有寿命部品について

- ファン、バッテリーは有寿命部品として定期的な交換が必要です。
常温でのご使用の場合、5年を目安に交換してください。ただし、交換時期は目安であり、部品の寿命を保証するものではありません。交換の際はお買い上げ店にご相談ください。
- ACアダプターと電解コンデンサの寿命は約5年です。
(常温で1日に8時間、1カ月で25日間、通常に使用すると想定した場合)
したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。
- 機器に搭載されているバッテリー端子(バッテリーパックやACアダプターとの接点部分)は消耗品です。
振動や衝撃によって端子が変形したり、曲がったり、あるいは長期の屋外での使用などによって表面が腐食したりすると、本体に電源が供給されなくなります。
長期間機器を使用させていただくために、定期点検を実施することをお願いします。
点検につきましては、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

画面表示に関するご注意

- 次のような場合、液晶画面やビューファインダーの映像が乱れることがあります。
- フォーマットを切り替えたとき
- サムネイル画面から再生を開始したとき

ファイルの断片化について

画像が正しく記録・再生されないときは記録メディアをフォーマット(初期化)してください。長期間、映像の記録・クリップの消去を繰り返していると、記録メディア内のファイルが断片化(フラグメンテーション)して、映像が正しく記録・保存で

きなくなる場合があります。このような場合は、クリップのバックアップを取ったあと、MediaメニューのFormat Media(90ページ)で記録メディアのフォーマット(初期化)を行ってください。

セキュリティに関するご注意

- 安全に設計されたファイアウォールの下で使用してください。信用できない機器に接続される可能性があるネットワークには、本機を接続しないでください。
- 通信を行う機器でセキュリティ対策を行わなかった結果、または、通信仕様上の、やむを得ない事情により、データ漏洩等、セキュリティ上の問題が発生した場合、弊社ではそれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
- 使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者から製品にアクセスされる可能性があります。本機をネットワークに接続する際には、セキュアなネットワークであることをご確認の上で使用ください。
- 利用者が気付かないうちに、電波が届くところから意図せぬ第三者に通信内容を盗み見られてしまうおそれがあります。無線LAN通信を利用する際は、通信内容を保護するために、適切なセキュリティ対策をしてください。
- セキュリティの面から、製品をネットワークに接続してご使用になる際は、アクセス制限設定を工場出荷時の設定値から変更して設定することを強く推奨します(93ページ)。特にOpenのネットワークに接続する場合はご注意ください。また、定期的にパスワードを変更することを推奨します。
- 設定作業中または設定作業後のブラウザで他のサイトを閲覧しないでください。ブラウザにログインした状態が残りますので、意図しない第三者の使用や悪意のあるプログラムの実行を防ぐために、設定作業が完了したら必ずブラウザを終了してください。

GPSについて

GPS (Global Positioning System) とは、米国の高精度な航空衛星を利用した、地球上のどこにいても自分の正確な位置を知ることができるシステムです。

GPS衛星は、高度20,000kmの6つの軌道上に各4個、24個以上が設置されています。GPS衛星からの電波を受信し、衛星の軌道情報 (アルマナックデータ) と電波の伝播時間のデータなどから自分の位置を計算します。

位置を計算することを測位と呼び、衛星を3機以上受信できれば、経度、緯度がわかります。

- GPS衛星の配置は常に変化しているため、ご使用になる場所や時刻などの条件によっては測位に時間がかかったり、測位できないことがあります。
- GPSは衛星から電波を受信し、測位するシステムです。ビルや木立の陰など、電波を遮断・反射してしまう場所を避け、できるだけ上空の開けた場所でご使用ください。
- GPS衛星からの電波が届かない以下のような場所や状況では、測位情報を記録できないことがあります。
 - －トンネルの中・屋内やビルの陰
 - －高層ビルの間・建物間の狭い道路
 - －地下・密集した樹木の間・高架の下・高圧電線など、近くに磁気を発生するものがある場合
 - －1.5GHz帯の携帯電話など、近くに同じ周波数帯の電波を発生するものがある場合
- GPSがOnの状態で撮影した画像をインターネットに公開、共有すると、意図せずに撮影場所が第三者に知られる場合があります。その場合はGPSをOffにして撮影してください (97ページ)。

誤差について

- GPSをOnにした直後に移動すると、移動しなかった場合に比べて、測位までの時間が長くなる場合があります。
- GPS衛星自体による誤差
本機は、3個以上のGPS衛星からの電波を受信すると自動的に現在地を測位します。

GPS衛星自体による誤差は、約10m程度ですが、測位する周辺的环境によってはさらに大きな誤差を生じることがあります。このような場合は、実際に居た場所と地図上での位置が異なることがあります。また、GPS衛星は米国国防省により管理されており、意図的に精度が変更されることがあります。

- 測位時間による誤差
本機では、測位中に測位情報を定期的に取得しています。

規制について

使用する国や地域の規制に従ってGPS機能をお使いください。

測地系について

本機では、測地系として、「WGS-84」を採用しています。

ビデオフォーマットについて

記録メディアについて

記録メディアと対応フォーマット

■ 通常記録

Video Format			SDXC		
			Class10 UHS-I U3	Class10 UHS-I U1	Class10
XAVC-L	exFAT	3840x2160	○	-	-
		1920x1080	○	○	○
		1280x720	○	○	○
DVCAM	exFAT		○	○	○

○：対応
-：非対応

■ S&Q モード

Video Format			SDXC		
			Class10 UHS-I U3	Class10 UHS-I U1	Class10
XAVC-L	exFAT	3840x2160	○	-	-
		1920x1080	○	○	○

○：対応
-：非対応

特殊記録の対応

	XAVC-L	DVCAM
	exFAT	
インターバルレック	○	-
クリップコンティニューアスレック	○	-
ピクチャーキャッシュユレック	○	-
スロー&クイックモーション	○	-
2スロット同時記録	○	-

○：対応
-：非対応

クリップの最大記録時間

記録フォーマット	連続撮影時間（メディア1枚当たり）	リレー記録の記録可能時間*
XAVC-L	約6時間	約13時間
DVCAM		

* メディア1枚あたり6時間未滿でリレー記録した場合の記録可能時間

出力のフォーマットと制限

ビデオフォーマットと出力信号

SDI OUT端子の出力フォーマット

記録フォーマット設定		SDI出力設定	出力信号・変換方式
Systemメニュー Rec FormatのFrequency	Systemメニュー Rec FormatのVideo Format	Videoメニュー Output FormatのSDI	出力信号
59.94	3840x2160P	1920x1080P (Level A)	1920x1080 59.94P Level-A
		1920x1080P (Level B)	1920x1080 59.94P Level-B
		1920x1080i	1920x1080 59.94i
	1920x1080P	1920x1080P (Level A)	1920x1080 59.94P Level-A
		1920x1080P (Level B)	1920x1080 59.94P Level-B
		1920x1080i	1920x1080 59.94i
		720x486i	720x486 59.94i
	1920x1080i	1920x1080i	1920x1080 59.94i
		720x486i	720x486 59.94i
	1280x720P	1280x720P	1280x720 59.94P
		720x486i	720x486 59.94i
	29.97	3840x2160P	1920x1080PsF
1920x1080P		1920x1080PsF	1920x1080 29.97PsF
		720x486i	720x486 59.94i (PsF)
1280x720P		1280x720P	1280x720 59.94P (2-2RP)
		720x486i	720x486 59.94i (PsF)
23.98		3840x2160P	1920x1080PsF
	1920x1080i (2-3PD)		1920x1080 59.94i (2-3PD)
	1920x1080P	1920x1080PsF	1920x1080 23.98PsF
		1920x1080i (2-3PD)	1920x1080 59.94i (2-3PD)
		720x486i (2-3PD)	720x486 59.94i (2-3PD)
	1280x720P	1280x720P (2-3PD)	1280x720 59.94P (2-3PD)
		720x486i (2-3PD)	720x486 59.94i (2-3PD)

記録フォーマット設定		SDI出力設定	出力信号・変換方式
Systemメニュー Rec FormatのFrequency	Systemメニュー Rec FormatのVideo Format	Videoメニュー Output FormatのSDI	出力信号
50	3840x2160P	1920x1080P (Level A)	1920x1080 50P Level-A
		1920x1080P (Level B)	1920x1080 50P Level-B
		1920x1080i	1920x1080 50i
	1920x1080P	1920x1080P (Level A)	1920x1080 50P Level-A
		1920x1080P (Level B)	1920x1080 50P Level-B
		1920x1080i	1920x1080 50i
		720x576i	720x576 50i
	1920x1080i	1920x1080i	1920x1080 50i
		720x576i	720x576 50i
	1280x720P	1280x720P	1280x720 50P
720x576i		720x576 50i	
720x576i	720x576i	720x576 50i	
25	3840x2160P	1920x1080PsF	1920x1080 25PsF
	1920x1080P	1920x1080PsF	1920x1080 25PsF
		720x576i	720x576 50i (PsF)
	1280x720P	1280x720P	1280x720 50P (2-2RP)
		720x576i	720x576 50i (PsF)

HDMI OUT端子の出力フォーマット

記録フォーマット設定		HDMI出力設定	出力信号・変換方式
Systemメニュー Rec FormatのFrequency	Systemメニュー Rec FormatのVideo Format	Videoメニュー Output FormatのHDMI	出力信号
59.94	3840x2160P	3840x2160P	3840x2160 59.94P
		1920x1080P	1920x1080 59.94P
		1920x1080i	1920x1080 59.94i
	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080 59.94P
		1920x1080i	1920x1080 59.94i
		720x480i	720x480 59.94i
	1920x1080i	1920x1080i	1920x1080 59.94i
		720x480i	720x480 59.94i
	1280x720P	1280x720P	1280x720 59.94P
		720x480i	720x480 59.94i
	720x486i	720x480i	720x480 59.94i
		720x480P	720x480 59.94P
29.97	3840x2160P	3840x2160P	3840x2160 29.97P
		1920x1080i	1920x1080 59.94i (PsF)
	1920x1080P	1920x1080i	1920x1080 59.94i (PsF)
		720x480i	720x480 59.94i (PsF)
	1280x720P	1280x720P	1280x720 59.94P (2-2RP)
720x480i	720x480i	720x480 59.94i (PsF)	

記録フォーマット設定		HDMI出力設定	出力信号・変換方式	
Systemメニュー Rec FormatのFrequency	Systemメニュー Rec FormatのVideo Format	Videoメニュー Output FormatのHDMI	出力信号	
23.98	3840x2160P	3840x2160P	3840x2160 23.98P	
		1920x1080P	1920x1080 23.98P	
		1920x1080i (2-3PD)	1920x1080 59.94i (2-3PD)	
	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080 23.98P	
		1920x1080i (2-3PD)	1920x1080 59.94i (2-3PD)	
		720x480i (2-3PD)	720x480 59.94i (2-3PD)	
	1280x720P	1280x720P (2-3PD)	1280x720 59.94P (2-3PD)	
		720x480i (2-3PD)	720x480 59.94i (2-3PD)	
	50	3840x2160P	3840x2160P	3840x2160 50P
1920x1080P			1920x1080 50P	
1920x1080i			1920x1080 50i	
1920x1080P		1920x1080P	1920x1080 50P	
		1920x1080i	1920x1080 50i	
		720x576i	720x576 50i	
1920x1080i		1920x1080i	1920x1080 50i	
		720x576i	720x576 50i	
1280x720P		1280x720P	1280x720 50P	
		720x576i	720x576 50i	
720x576i		720x576i	720x576 50i	
		720x576P	720x576 50P	
25		3840x2160P	3840x2160P	3840x2160 25P
			1920x1080i	1920x1080 50i (PsF)
	1920x1080P	1920x1080i	1920x1080 50i (PsF)	
		720x576i	720x576 50i (PsF)	
	1280x720P	1280x720P	1280x720 50P (2-2RP)	
		720x576i	720x576 50i (PsF)	

ご注意

- 再生クリップの画サイズが、VideoメニューのOutput FormatのSDI、HDMIの出力に設定されている画サイズよりも小さい場合、それぞれの端子からは映像信号が出力されません。

記録機能間の制約

Recordingメニュー	S&Q Motion	Interval Rec	Picture Cache Rec	Clip Continuous Rec	Simul Rec	Proxy Rec
S&Q Motion	-	×	×	×	×	×
Interval Rec	×	-	×	×	×	×
Picture Cache Rec	×	×	-	×	×	×
Clip Continuous Rec	×	×	×	-	×	○
Simul Rec	×	×	×	×	-	×
Proxy Rec	×	×	×	○	×	-

○：使用できる、×：使用できない

トラブル時の対処

電源

症状	原因	対策
電源が入らない。	バッテリーパックからの電源、DC IN電源のどちらも供給されていない。	バッテリーパックを取り付ける（16ページ）か、ACアダプターを使用してAC電源に接続する（17ページ）。
	バッテリーパックが完全に消耗している。	充電済みのバッテリーパックと交換する（16ページ）。
電源が途中で切れる。	バッテリーパックが消耗している。	充電済みのバッテリーパックと交換する（16ページ）。
バッテリーパックがすぐ消耗する。	温度が極端に低いところで使用している。	バッテリーパックの特性によるもので、故障ではありません。
	充電が不十分。	バッテリーパックをもう一度充電し直す（16ページ）。フル充電してもすぐに消耗する場合は、バッテリーパックの寿命です。新しいバッテリーパックに交換してください。

記録・再生

症状	原因	対策
録画ボタンを押しても記録が始まらない。	メモリーカードがプロテクトされている。	プロテクトを解除するか、またはプロテクトされていないメモリーカードに交換する。
	メモリーカードの容量がいっぱいになっている。	充分な空き容量のあるメモリーカードに交換する。
	修復が必要なメモリーカードが入っている。	メモリーカードを修復する（21ページ）。
音声記録できない。	録音レベルが最小になっている。	録音レベルを調節する（33ページ）。
記録した音声がひずんでいる。	音声レベルが高すぎる。	録音レベルを調節する（33ページ）。
雑音が多い。	音声レベルが低すぎる。	録音レベルを調節する（33ページ）。外部マイク選択時は、AudioメニューのAudio InputのINPUT MIC Referenceの設定値も調節する（82ページ）。
クリップを再生できない。	クリップが編集されている。	コンピューターでフォルダーやファイル名を変更したり、クリップを加工したりすると、再生できない場合があります。故障ではありません。
	クリップが他機で記録されている。	他機で記録したクリップは、再生できなかったり、正しいサイズで表示されなかったりすることがあります。故障ではありません。

外部機器

症状	対策
本機がコンピューターに認識されない。	コンピューターからUSBケーブルを抜き、もう一度しっかりと差し込む。 コンピューターからUSBケーブルを抜き、コンピューターを再起動してから正しい手順でもう一度コンピューターと本機をつなぐ。
クリップがコンピューターに取り込めない。	コンピューターからUSBケーブルを抜き、本機の電源を入れてから、もう一度つなぐ。 クリップをコンピューターに取り込むにはアプリケーションソフトウェアのダウンロードが必要です (64ページ)。

ワイヤレスLAN使用時

ご注意

- 本機とワイヤレスLANアクセスポイントまたは端末機器間の障害物や電波状況、壁の材質など、周囲の環境によって通信可能距離が短くなったり、接続できなくなったりすることがあります。本機の場所を移動するなど、本機とアクセスポイントまたは端末機器の距離を近づけて、接続/通信状態を確認してください。

症状	対策
端末機器から本機にアクセスできない	<ul style="list-style-type: none">ワイヤレスLANの接続(IPアドレスなど)を確認してくださいアクセスポイントのクライアント間の通信設定が無効になっている可能性があります。詳しくは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
ログインできない	登録したユーザー名、パスワードが正しいか確認してください。
Webリモコンが表示できない	IPアドレスを確認してください。

エラー/警告表示

本機では警告、注意、動作確認などが必要な状況では、ビューファインダー画面のメッセージ表示、記録/タリーランプの点滅、および警告音で対応します。

警告音は、内蔵スピーカーまたはヘッドホン端子に接続したヘッドホンに出力します。

エラー表示

次のような表示が出た場合は、本機は動作を停止します。

液晶画面/ビューファインダー警告表示	警告音	記録/タリーランプ	原因と対策
E+エラーコード	連続音	高速点滅	本体の異常の可能性があります。ビューファインダー画面上に●Recと表示されていても記録は止まっています。 電源を切り、接続している機器やケーブル類、メディアに異常がないか確認してください。これらに異常がないときは、再度電源を入れ、エラーが継続する場合はソニーのサービス窓口にご連絡ください。 (電源スイッチをSTANDBYにしても電源が切れない場合は、バッテリーパックやDC IN電源も外してください。) 本機の状態によっては、エラー表示や警告音が出ない場合があります。

警告表示

次のような表示が出た場合は、メッセージに従って対策してください。

液晶画面/ビューファインダー警告表示	警告音	記録/タリーランプ	原因と対策
Battery Near End	断続音	点滅	バッテリーパックの残量が少なくなっています。 早い機会に充電してください。
Battery End	連続音	高速点滅	バッテリーパックが消耗しました。記録はできません。 いったん操作を中止し、バッテリーパックを交換してください。
Temperature High	断続音	点滅	内部温度が上昇しました。 いったん電源を切り、温度が下がるまで使用を中止してください。
Voltage Low	断続音	点滅	DC IN電圧が低くなっています(段階1)。供給電源を確認してください。
Insufficient Voltage	連続音	高速点滅	DC IN電圧が低すぎます(段階2)。記録はできません。 他の電源に接続しなおしてください。

液晶画面/ビューファインダー警告表示	警告音	記録/タ リーラン プ	原因と対策
Media Near Full	断続音	点滅	メモリーカードの残量が少なくなっています。早い機会に交換してください。
Media Full	連続音	高速点滅	メモリーカードの残量がないため、記録、コピー、クリップ分割はできません。交換してください。
Clips Near Full	断続音	点滅	メモリーカードに記録できる残りのクリップ数が少なくなっています。早い機会に交換してください。
Clips Full	連続音	高速点滅	メモリーカードに記録できるクリップ数の上限に達しました。これ以上記録やコピーはできません。交換してください。
Last Clip Recording	断続音	点滅	記録中のクリップの記録を完了すると、記録可能なクリップ数の上限に達します。新しいメモリーカードをご用意ください。
Media(A) ¹⁾ Near Full	断続音	点滅	同時記録機能使用時
Media(A) ¹⁾ Full	連続音	高速点滅	同時記録機能使用時
Media(A) ¹⁾ Clips Near Full	断続音	点滅	同時記録機能使用時
Media(A) ¹⁾ Clips Full	連続音	高速点滅	同時記録機能使用時
Media(A) ¹⁾ Last Clip Rec	断続音	点滅	同時記録機能使用時

1) スロットBに入れたカードの場合は(B)

注意・動作確認表示

画面中央部分に次のような注意・動作確認表示が現れることがあります。この場合は次表に従って対処してください。

表示内容	原因と対策
Battery Error	バッテリーパックに異常が検出されました。
Please Change Battery	正常なバッテリーパックに交換してください。
Unknown Media(A) ¹⁾ Please Change	パーティションが切られているメモリーカードや、本機で扱えるクリップ数を超えて記録されたメモリーカードが挿入されました。 本機では使用できませんので、交換してください。
Cannot Use Media(A) ¹⁾ Unsupported File System	ファイルシステムの異なるカードまたはフォーマットされていないカードが挿入されました。 本機では使用できませんので、交換または本機でフォーマットしてください。
Media Error Media(A) ¹⁾ Needs to be Restored	メモリーカードに異常が発生し、修復が必要な状態になりました。 メモリーカードの修復を行ってください。
Media Error Cannot Record to Media(A) ¹⁾	メモリーカードが故障して、記録ができなくなりました。 再生は可能ですので、コピーをとるなどして、新しいメモリーカードに交換することをお勧めします。
Media Error Cannot Use Media(A) ¹⁾	メモリーカードが故障して記録も再生もできなくなりました。 本機では扱えませんので、他のカードに交換してください。

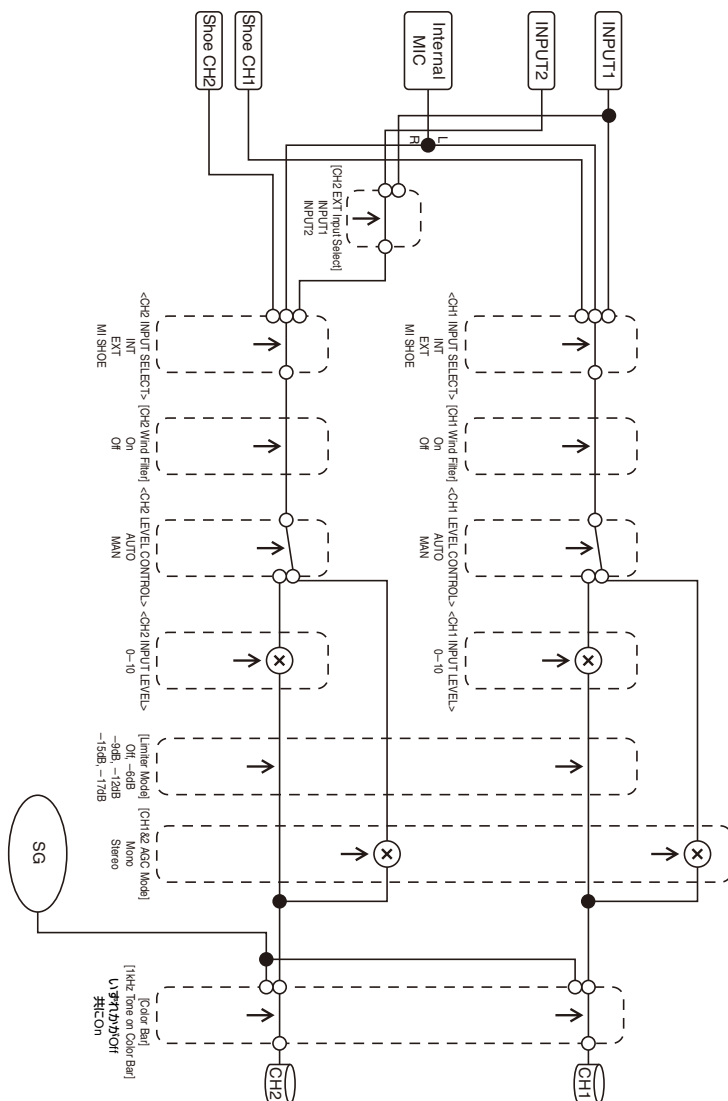
表示内容	原因と対策
Media(A) ¹⁾ Error Recording Halted Playback Halted	メモリーカードに異常が発生したため、記録または再生が停止しました。 頻繁に起きる場合には、メモリーカードを交換してください。
Media Reached Rewriting Limit Change Media(A) ¹⁾	メモリーカードの寿命がきました。 バックアップをとり、速やかに交換してください。継続して使用すると、正常に記録・再生できない可能性があります。 ◆詳しくは、メモリーカードの取扱説明書を参照してください。
Invalid setting value was reset: Media/Clip Naming/Camera Position Please save All File again	不正なALLファイルが呼び出されたため、Clip Namingの設定値をリセットしました。 希望の設定値に合わせて、再度ALLファイルの保存を実行してください。
The specified address is invalid.	指定したアドレスが間違っています。 正しく設定しているか確認してください。
Failed.	DHCP Onでアドレスが割り当てられない場合、本エラーが出る可能性があります。 DHCPサーバーの設定を確認してください。
<SSID>Not found.	指定した<SSID>のネットワーク（アクセスポイント）が見つかりません。 正しく設定しているか確認してください。
<SSID>Authentication Failed	指定した<SSID>のネットワーク（アクセスポイント）の接続認証に失敗しました。 パスワードなどを正しく設定しているか確認してください。

1)スロットBに入れたカードの場合は(B)

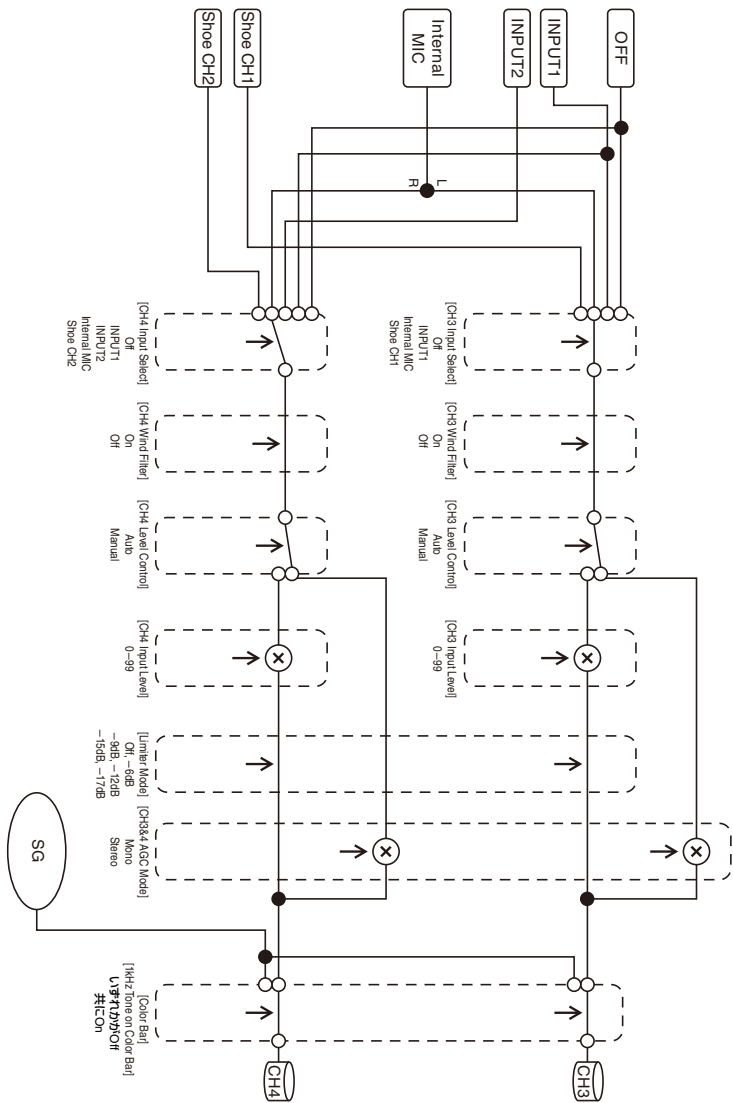
ブロックダイアグラム

「記録する音声を設定する」(31ページ)と「セットアップメニュー一覧」(72ページ)の関連項目をあわせてご覧ください。

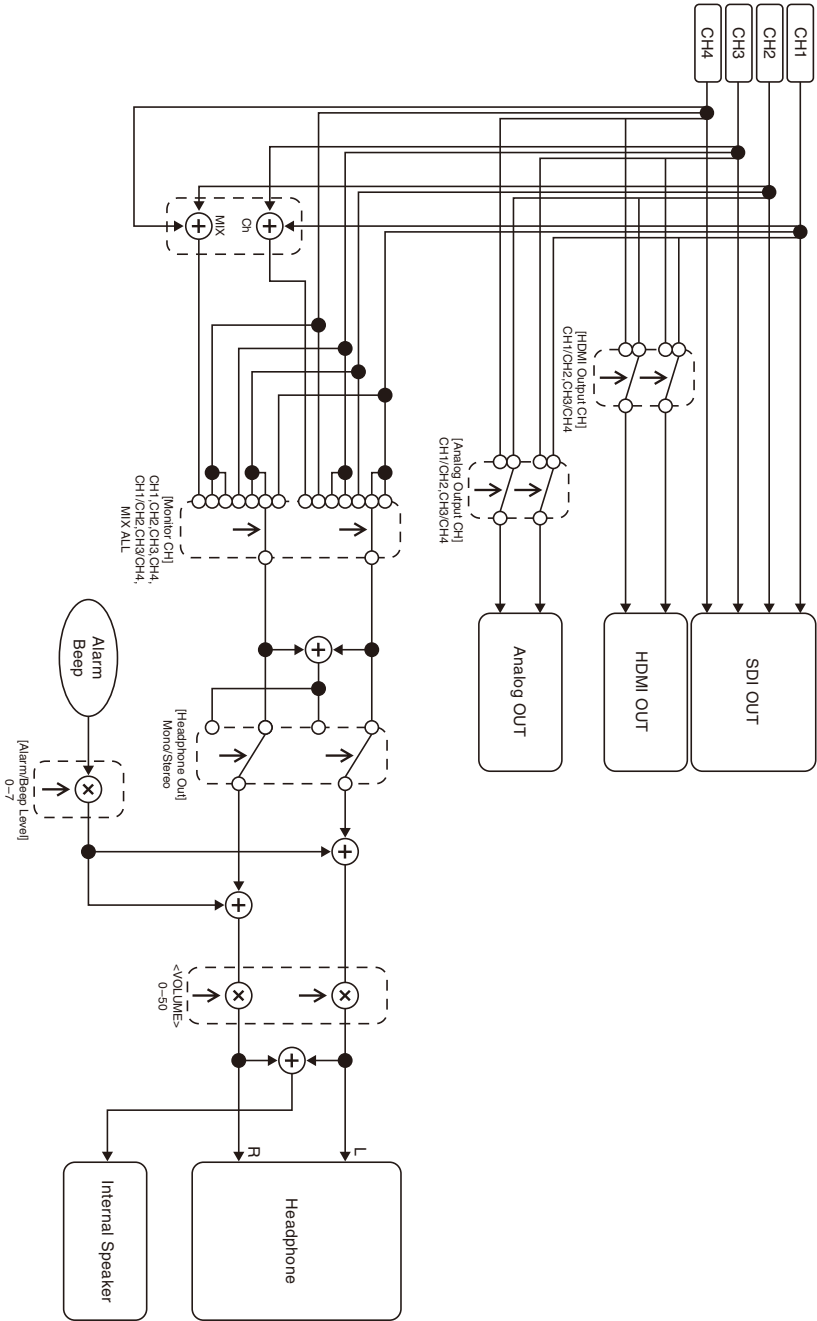
Audio Input (CH1&2)



Audio Input (CH3&4)



Audio Output



保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定の事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーのサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合、ご希望により有料修理させていただきます。

保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

主な仕様

一般仕様

質量

約2.3 kg (本体のみ)
約2.8 kg (レンズフード、アイカップ、バッテリーパックBP-U30、メモリーカード各1装着時)

外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)

190.0 mm × 202.0 mm × 419.7 mm
最大外形寸法。奥行きはレンズフード前面から大型アイカップまでの長さ。

電源電圧

DC 12 V (11 V ~ 16.5 V)

消費電力

約24W
記録時、液晶画面：Off、ビューファインダー：On、外部機器接続なし
約36W
記録時、液晶画面：On、ビューファインダー：On、HD SDI、HDMI、外部機器接続端子を使用
約36W
USBメディアへのコピー時

動作温度

0°C ~ +40°C

保存温度

-20°C ~ +60°C

連続動作時間

約3時間15分 (バッテリーパックBP-U90使用時)
約2時間10分 (バッテリーパックBP-U60使用時)
約1時間5分 (バッテリーパックBP-U30使用時)
(記録時、液晶画面：Off、ビューファインダー：On、外部機器接続なし)

記録フォーマット (ビデオ)

XAVC Long

XAVC-L QFHDモード：VBR、最大ビットレート150Mbps、MPEG-4 H.264/AVC

XAVC-L HD 50モード：VBR、最大ビットレート50Mbps、MPEG-4 H.264/AVC

XAVC-L HD 35モード：VBR、最大ビットレート35Mbps、MPEG-4 H.264/AVC

XAVC-L HD 25モード：VBR、最大ビットレート25Mbps、MPEG-4 H.264/AVC

DVCAM

CBR、25 Mbps

Proxy

AVC/H.264 Main Profile 4:2:0 Long GOP、VBR

1920x1080/9 Mbps、1280x720/9 Mbps、1280x720/6 Mbps、640x360/3 Mbps、480x270/1 Mbps、480x270/500 Kbps

記録フォーマット (オーディオ)

XAVC Long

XAVC-Lモード：LPCM 24ビット、48 kHz、4チャンネル

DVCAM

LPCM 16ビット、48 kHz、4チャンネル

Proxy

AAC-LC、128 kbps、2チャンネル

記録フレームレート

XAVC Long

XAVC-L QFHD 150モード：3840x2160/59.94P、50P、29.97P、23.98P、25P

XAVC-L HD 50モード：1920x1080/59.94P、50P、59.94i、50i、29.97P、23.98P、25P

1280x720/59.94P、50P

XAVC-L HD 35モード：1920x1080/59.94P、50P、59.94i、50i、29.97P、23.98P、25P

XAVC-L HD 25モード：1920x1080/59.94i、50i

DVCAM

720x480/59.94i、29.97PsF
720x576/50i、25PsF

記録・再生時間

XAVC Long

XAVC-L QFHD 150モード
約88分：128GBメモリーカード使用時

XAVC-L HD 50モード

約240分：128GBメモリーカード使用時使用時

XAVC-L HD 35モード

約325分：128GBメモリーカード使用時使用時

XAVC-L 25モード

約445分：128GBメモリーカード使用時使用時

DVCAM

約425分：128GBメモリーカード使用時使用時

ご注意

- 記録再生時間は、使用条件やメモリーの特性などにより、多少の誤差が生じる場合があります。

レンズ

レンズマウント

固定式

ズーム比

25倍

焦点距離

3.7 mm ~ 92.5 mm
(35 mm換算 28.8 mm ~ 720 mm)

フォーカス範囲

AF/MF/Full MF切り替え可能
800 mm ~ ∞ (マクロOFF)
10 mm ~ ∞ (マクロON、広角端)
800 mm ~ ∞ (マクロON、望遠端)

絞り

自動/手動切り替え可能
F1.6~F11およびC (クロース)

手ぶれ補正

ON/OFF可能、シフトレンズ方式

フィルター径

M82 mm、ピッチ0.75 mm

マクロ

ON/OFF可能

カメラ部

撮像素子

1/3型 ExmorR 3CMOSセンサー

有効画素数

3840 (H) × 2160 (V)

分光系

F1.6 プリズムシステム

内蔵フィルター

NDフィルター

CLEAR: クリア

1: 1/4ND

2: 1/16ND

3: 1/64ND

リニア可変ND (1/4ND~1/128ND相当)

感度 (2 000ルクス、89.9%反射)

F11 (標準、1920x1080/59.94p、高感度モード)

F12 (標準、1920x1080/50p、高感度モード)

最低被写体照度

0.01 lx (標準、1920x1080/59.94i) (F1.6、+30dB、高感度モード、64フレーム蓄積)

SN比

57 dB (Y) (標準)

水平解像度

2000 TV本以上 (3840x2160Pモード)

1000 TV本以上 (1920x1080Pモード)

シャッタースピード

64F~ 1/8000秒

スロー&クイックモーション

XAVC Long

2160P: 1~60フレーム

1080P: 1~60フレーム

720P: 1~60フレーム

ホワイトバランス

プリセットモード (3200K)、
メモリー Aモード、メモリー Bモード、
ATWモード

ゲイン

-3、0、3、6、9、12、18 dB、30dB
(Turbo Gain ON)、AGC

ガンマカーブ

切り替え可能

ワイヤレスLAN

対応規格

IEEE 802.11a/b/g/n/ac

使用周波数帯

2.4 GHz帯

5.2/5.3/5.6 GHz帯

セキュリティ

WEP/WPA-PSK/WPA2-PSK

NFCフォーラム Type 3 Tag準拠

入出力

オーディオ入力

XLR型3ピン (2)、凹型、LINE/MIC/

MIC+48V切り替え可能

LINE: +4dBu/0dBu/-3dBu(EBUL) /
10 kΩ

MIC: -80dBu ~ -30dBu / 3 kΩ

(基準レベル 0 dBu=0.775 Vrms)

オーディオ出力

マルチ/マイクロUSB

SDI出力

BNC型 (1)、3G/HD/SD切り替え可能

タイムコード入力

BNC型 (1)、TC OUT端子と切り替え可能

0.5 V ~ 18 Vp-p、3.3 kΩ

タイムコード出力

BNC型 (1)、TC IN端子と切り替え可能

1.0 Vp-p、75 Ω

USB端子

マルチ/マイクロUSB (1)

ホスト: USB 3.0/2.0 type A (1)、USB 2.0
type A (1) (バージョンアップにより
対応)

ヘッドホン出力

ステレオミニジャック (1)

-16dBu 16 Ω

スピーカー出力

モノラル

出力: 500 mW

DC入力

DC ジャック

HDMI出力

HDMIコネクタ (Type A)

リモート端子

ステレオミニミニジャック (φ2.5 mm)

有線LAN端子

RJ-45 (1)、1000BASE-T、100BASE-T、10BASE-T (バージョンアップにより対応)

表示部

ビューファインダー

画面サイズ：1.0 cm (0.39型)
有効画素数：約236万ドット

液晶画面

画面サイズ：8.8 cm (3.5型)
有効画素数：約156万ドット

内蔵マイク

内蔵マイク

無指向性ステレオエレクトレットコンデンサーマイク

メディアスロット部

タイプ

SD (2)、SD/MS (1)

付属品

USBケーブル (1)
レンズフード (1)
大型アイカップ (1)
CD-ROM 「Operating instructions」 (1)
ご使用になる前に (1)
保証書 (1)

ソフトウェアのダウンロードについて

本機をPCと接続して使用する際は、必要に応じてデバイスドライバーや各種プラグインソフトウェア、アプリケーションソフトウェアをソニープロフェッショナル/業務用製品サイトからダウンロードしてお使いください。

ソニープロフェッショナル/業務用製品サイト ホームページ：
アメリカ合衆国 <http://pro.sony.com>

カナダ <http://www.sonybiz.ca>
ラテンアメリカ <http://sonypro-latin.com>
ヨーロッパ、中東、アフリカ
<http://www.pro.sony.eu>
日本 <http://www.sonybsc.com>
アジア <http://pro.sony-asia.com>
韓国 <http://bp.sony.co.kr>
中国 <http://pro.sony.com.cn>

記録した素材は、情報が複数のファイル、複数のフォルダーにまたがって置かれていますが、専用アプリケーションソフトウェアでは、これらの情報やディレクトリー構造を、ユーザーが意識することなく、容易に扱えるようになっています。

ご注意

- Explorer (Windows環境) やFinder (Mac環境) を使用して、メモリーカード内のクリップのコピーなどを行うと、クリップが持つ情報を保持できなくなることがあります。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機内、記録メディア、外部のストレージ等に記録されたデータの損失、修復、複製の責任は負いかねます。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。

商標について

- “XDCAM”はソニー株式会社の商標です。
- “XAVC”および **XAVC** はソニー株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows MediaはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。
- Adobe、Adobe logo、Adobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他における登録商標または商標です。
- “Memory Stick”、“メモリースティック”、“メモリースティック デュオ”、“メモリースティック PRO デュオ”、“Catalyst Browse”、“Content Browser Mobile”、“Content Browser Mobile”ロゴはソニー株式会社の商標または登録商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- iOSは、米国シスコの商標もしくは登録商標です。
- Android、Google PlayはGoogle Inc.の登録商標または商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi PROTECTED SETUPはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- 「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- NマークはNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

ライセンスに関する注意

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO

LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

(i) 消費者が個人的又は他の報酬を受けていない使用目的で、MPEG-4 AVC規格に合致したビデオ信号（以下、AVC VIDEOといえます）にエンコードすること。

(ii) AVC VIDEO（消費者が個人的又は他の報酬を受けていない目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

GPL/LGPL 適用ソフトウェアの入手について

本製品はGPL/LGPL適用のソフトウェアを使用しており、お客様には、これらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせします。これらのソースコードはインターネットのサーバーからダウンロードすることが可能です。以下のURLにアクセスすれば、具体的なダウンロードの方法がわかるようになっていきます。

<http://www.sony.net/Products/Linux/common/search.html>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容（英文）に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。本機とパソコンをマストレージ接続し、「PMHOME」 - 「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

索引

あ行

アイリスリング	27
アクセスポイントモード	13, 49, 93
アサイナブルボタン	37
液晶画面	11
エッセンスマーク	61
エラー表示	111
音声	26
オートアイリス	27
オートゲインコントロール	28, 75
オートシャッター	28, 75
オートホワイトバランス	30

か行

海外で使う	99
外部音声	31
外部モニター	63
顔検出 AF	11, 35
ガンマ表示アシスト	12, 42
ガンマ補正	78
記録可能時間	14, 21, 105
記録 / タリーランプ	7, 9, 111
クリップ	24, 57, 58, 64
クリップ名	24
警告表示	111
ゲイン	28
結露	100
広角	24
コンセント	17
コーデック	27

さ行

サムネイル画面	56
システム周波数	12, 27
自動追尾ホワイトバランス	29
出力信号	106
ショルダーストラップ	9
シーンファイル	12, 42, 92
ステーションモード	13, 50
ズーム	24
ズームリング	25
ズームレバー	24

セットアップメニュー	67, 68, 72
ソフトウェア	64, 120

た行

タイムコード	33, 59
タイムデータ	33
チャージャー	16
注意・動作確認表示	112
デジタルエクステンダー	12
手ぶれ補正	33
時計	18

な行

内蔵充電式電池	101
内蔵マイク	7, 31, 82
ノンリニア編集	64

は行

バッテリーについて	99
バッテリーパック	16
バリアブルモード	28
ハンドルズーム	24
ハンドルズームレバー	24
日付 / 時刻	18
ビデオフォーマット	106
ビューファインダー	11
視度調整つまみ	19
ピント拡大	26
フォーカスリング	25
フォーマット	27, 40
フォーマット (初期化)	
記録メディア	20
UTILITY SD/MS スロット	43, 46
プリセットモード	28, 29
フルオートモード	23
プロキシー記録	47
ヘッドホン端子	26
望遠	24
ホワイトバランス	29

ま行

マクロモード	26
マニュアルアイリス	27
マルチ / マイクロ USB 端子	8, 63, 64
メモリーカード	20
メモリーカードスロット	9, 20

メモリー A モード.....	29
メモリー B モード.....	29
モニター音量.....	26

や行

ユーザービット.....	34
ユーザーファイル.....	42, 92

ら行

リレー記録.....	23
レンズ.....	101
レンズカバー付きフード.....	18
録音レベル.....	33
録画ボタン.....	23

A

AC アダプター.....	17
AF モード.....	25
AGC.....	28, 33, 75
ALL File.....	92
All Reset.....	98
ALL ファイル.....	42, 92
Aperture.....	81
Assignable Button.....	37, 96
ATW.....	29
Audio Input.....	82
AUDIO INPUT1 端子.....	31
AUDIO INPUT2 端子.....	31
Audio Output.....	83
Audio メニュー.....	82
Auto Black Balance.....	76
Auto Exposure.....	74

B

Battery Alarm.....	97
Black.....	78

C

Camera メニュー.....	73
Change Thumbnail View.....	90
Clip.....	91
Clip Continuous Rec.....	89
Clock Set.....	97
Color Bars.....	75
Content Browser Mobile.....	48
Customize View.....	90

D

Delete Clip.....	90
Detail(QFHD).....	79
Detail (HD mode).....	80
Detail (SD Mode).....	80
Display Clip Properties.....	59, 90
Display On/Off.....	86
Down Converter.....	84

F

Face Detection AF.....	11, 35
File メニュー.....	92
Flicker Reduce.....	75
FOCUS スイッチ.....	25
Format Media.....	90
Full MF モード.....	25

G

Gain.....	73
GAIN スイッチ.....	28
Gamma.....	78
GPS.....	45, 97, 103

H

Handle Zoom.....	75
HDD.....	65
HDMI OUT 端子.....	63, 107
HDMI TC Out.....	88
HDR.....	42
HLG.....	42
Hours Meter.....	97

I

INPUT1 スイッチ.....	31
INPUT2 スイッチ.....	31
IRIS スイッチ.....	27

K

Knee.....	79
-----------	----

L

LAN.....	48
Language.....	97
LCD Setting.....	84
LCD/VF メニュー.....	84

Lock / Unlock Clip..... 90

M

Maintenance..... 81

Marker..... 84

Matrix..... 81

Media Full..... 21

Media Near Full..... 21

Media メニュー..... 90

MENU ボタン..... 68

MF モード..... 25

N

ND Filter..... 73

ND フィルター..... 28

Network メニュー..... 93

NFC..... 6, 49

O

Output Display..... 83

Output Format..... 83

Output On/Off..... 83

P

Paint メニュー..... 76

Peaking..... 84

Proxy Recording Mode..... 89

PUSH (レンズフード取り外し) ボタン
..... 18

R

Rec Format..... 95

Recording メニュー..... 88

S

SD カード..... 42, 46

SD メモリーカード..... 43, 46

SDHC メモリーカード..... 43, 46

SDI OUT 端子..... 63, 106

SDXC メモリーカード..... 20, 43, 46

SEL/SET ダイヤル..... 68

Shutter..... 74

Simul Rec..... 89

Skin Detail..... 81

SLOT SELECT ボタン..... 20

System メニュー..... 95

S&Q Motion..... 88

T

TC/UB メニュー..... 87

Thumbnail メニュー..... 90

Time Zone..... 18

Timecode..... 87

U

Update Media..... 90

USB ケーブル..... 64

USB メディア..... 65, 91

USB ワイヤレス LAN モジュール..... 48

User メニュー..... 67, 71, 72

Users Bit..... 88

UTC..... 18

UTILITY SD/MS スロット..... 8, 42, 46

V

Version..... 98

VF Setting..... 84

Video Light Set..... 76

Video メニュー..... 83

VOLUME ボタン..... 26

W

WB SET ボタン..... 29

Web リモコン..... 54

White..... 77

White Clip..... 79

White Switch..... 77

WHT BAL スイッチ..... 30

WPS..... 49, 50

Z

Zebra..... 85